

自動車運送事業用 自動車事故統計年報

平成 19 年 12 月



国土交通省自動車交通局

目 次

自動車事故報告規則	1
-----------	---

第1編 自動車事故の概要

第1部 交通事故の現状	11
1. 交通事故発生状況	11
(1) 概 要	11
(2) 車種別事故発生状況	13
第2部 事業用自動車の重大事故	14
1. 概 要	14
(1) 重大事故発生状況の推移	15
(2) 事業用自動車台数及び走行キロ当たりの重大事故	16
(ア) 事業用自動車1,000台当たり重大事故件数等の推移	16
(イ) 事業用自動車1億走行キロ当たり重大事故件数等の推移	17
2. 業態別の重大事故発生状況	18
(1) 事業種別別重大事故件数	18
(2) 業態別重大事故件数の推移	19
(3) 業態別事業用自動車1億走行キロ当たり重大事故件数の推移	20
(4) 業態別死傷者内訳	21
(ア) 業態別重大事故100件当たり死者数及び重傷者数	22
(イ) 業態別重大事故100件当たり死者数の推移	22
3. 事故種別別の重大事故発生状況	23
4. 事故原因	25
(1) 事故原因の大別	25
(2) 運転者の健康状態	27
(3) 車両故障に起因する重大事故	29
(4) 事故種別別重大事故発生状況	35
(ア) 転覆、転落事故	35
(イ) 火災事故	37
(ウ) 踏切事故	38

(エ) 衝突事故	39
(オ) 死傷事故	41
(カ) 車内事故	42
5. 事故発生運転者	43
(1) 事故発生運転者の年齢	43
(2) 事故発生運転者の経験年数	44
(3) 事故発生運転者の勤務状況	45
(ア) 事故発生以前1ヶ月間の休日日数	45
(イ) 事故発生までの乗務距離	46
(ウ) 休日から事故までの勤務日数	47
(エ) 休日から事故日までの乗務距離の合計	48
6. 危険物等積載車両の重大事故	49
(1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移	49
(2) 積載物品別重大事故	50
(3) 事故種類別重大事故	50
7. 高速道路等における重大事故発生状況	51
(1) 業態別重大事故件数	52
(2) 事故種類別重大事故発生状況	52
(3) 業態別死傷状況	54
(4) 乗務員に起因する重大事故発生状況	56
(ア) 業態別発生状況	56
(イ) 事業の種類別発生状況	57
(ウ) 事故種類別発生状況	60
8. 平成18年中の事業用自動車の主な重大事故、事件	64
(1) 旅客	64
(2) 貨物	66

第2編 事業用自動車の重大事故統計

第1部 事業用自動車の重大事故	70
1. 事故種別、業態別重大事故発生状況の推移	70
2. 重大事故の原因大別構成の推移	72
3. 業態別重大事故発生状況等の推移	72
4. 業態別原因別重大事故発生状況	74
5. 事故種別、事業種別、重大事故発生状況	76
6. 事故種別、事業種別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）	78
7. 事故種類の細目別、業態別重大事故件数	80
（1）死傷事故（車両の故障に起因するものを除く）	80
（2）転落事故（車両の故障に起因するものを除く）	80
（3）踏切事故（乗務員に起因するもの）	80
（4）衝突事故（乗務員に起因するもの）	81
（5）バス等の車内事故	81
第2部 高速道路等における重大事故	82
1. 高速自動車国道における事故種別、事業種別、重大事故発生状況	82
2. 高速自動車国道における事故種別、事業種別、重大事故発生状況 （乗務員に起因するもの）	84
3. 自動車専用道路等における事故種別、事業種別、重大事故発生状況	86
4. 自動車専用道路等における事故種別、事業種別、重大事故発生状況 （乗務員に起因するもの）	88
第3部 危険物等積載車両の重大事故	90
積載危険物等別、事故原因別、事故種別、重大事故発生状況	90
第4部 重大事故に係る諸統計	94
1. 車両故障に係る事故件数等	94
（1）車両故障箇所	94
（2）損害状況	94
2. 重大事故の発生件数の推移	96
3. 重大事故の原因大別構成の推移	98

第3編 その他統計資料

第1部 交通事故等の推移	101
1. 交通事故及び自動車事故の推移	101
2. 車両数当たりの事故件数	102
(1) 1万台あたりの全事故件数推移	102
(2) 100万台あたりの死亡事故件数推移	103
3. 走行距離当たりの事故件数	104
(1) 1億キロあたりの全事故件数推移	104
(2) 100億キロあたりの死亡事故件数推移	105
4. 法令違反別の事故件数	106
第2部 当事者別事故件数	107
1. 第1当事者別交通事故件数	107
2. 第1当事者別死亡事故件数	108
第3部 運行管理者	109
1. 運行管理者数及び運行管理者の研修受講者数	109
2. 運行管理者数の推移	111

まえがき

平成18年に発生した全国の交通事故による死者数は、警察庁発表で6,352人となり、6年連続で減少しました。また、同発表による全交通事故の発生件数についても減少しており、6年ぶりに90万件を下回り886,864件となりました。この結果は、これまでの取組によって得られた成果であり、今後も継続していくことが求められます。

一方、事業用自動車の事故件数については、若干の減少傾向は見られるものの、依然、高止まりの傾向にあり、厳しい状況が続いています。輸送の安全の確保を使命とする自動車運送事業においては、事故件数並びに死傷者数を減少させるため、より踏み込んだ対策が必要となっています。

本書は、平成18年に発生した事業用自動車による重大事故であって、自動車事故報告規則に基づく報告があったものについてとりまとめたものです。重大事故の防止には、発生した事故の状況を正しく把握するとともに、その事故の背景にある要因を的確に分析する必要があります。自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを認識し、発生した事故の分析結果を踏まえた適切な措置を講じるとともに、同種の事故を防止するため、積極的に取組まなければなりません。

本書もその意味において、今後の事故防止対策に活用され、自動車運送事業における輸送の安全の確保が図られるよう切望するものです。

平成19年12月

自動車事故報告規則
(昭和26年運輸省令第104号)

(この省令の適用)

第1条 自動車の事故に関する報告については、この省令の定めるところによる。

(定義)

第2条 この省令で「事故」とは、次の各号のいずれかに該当する自動車の事故をいう。

- (1) 自動車が転覆し、転落し、火災（積載物品の火災を含む。）を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、若しくは接触したもの
- (2) 死者又は重傷者（自動車損害賠償保障法施行令（昭和30年政令第286号）第5条第2号又は第3号に掲げる傷害を受けた者をいう。）を生じたもの
- (3) 自動車の積載された次に掲げるものの全部若しくは一部が飛散し、又は漏えいしたもの
 - イ 消防法（昭和23年法律第186号）第2条第7項に規定する危険物
 - ロ 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）第2条第1項に規定する火薬類
 - ハ 高压ガス保安法（昭和26年法律第204号）第2条に規定する高压ガス
 - ニ 原子力基本法（昭和30年法律第186号）第3条第2項に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - ホ 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和32年法律第167号）第2条第2項に規定する放射線同位元素及びそれによって汚染された物
 - ヘ シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令（昭和30年政令第261号）別表第2に掲げる毒物又は劇物
 - ト 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）第47条第1項第3号に規定する品名の可燃物
- (4) 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する操作装置の不適切な操作により、旅客に自動車損害賠償保障法施行令第5条第4号に掲げる傷害が生じたもの
- (5) 運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続することができなくなったもの
- (6) 自動車の装置（道路運送車両法（昭和26年法律第185号）第41条各号に掲げる装置をいう。）の故障により、自動車が運行できなくなったもの
- (7) 前各号に掲げるもののほか、自動車事故の発生の防止を図るために国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの

(報告書の提出)

第3条 旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者（貨物軽自動車運送事業者を除く。以下同じ。）、特定第二種貨物利用運送事業者及び自家用有償旅客運送者並びに道路運送車両法第50条に規定する整備管理者を選任しなければならない自家用自動車の使用者は、その使用する自動車（自家用自動車（自家用有償旅客運送の用に供するものを除く。）にあつては、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。）について前条各号の事故があつた場合には、30日以内に、当該事故ごとに自動車事故報告書（別記様式による。以下「報告書」という。）

3 通を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長（以下「運輸監理部長又は運輸支局長」という。）を経由して、国土交通大臣に提出しなければならない。

2 前条第6号に掲げる事故の場合には、報告書に次に掲げる事項を記載した書面及び故障の状況を示す略図又は写真を添付しなければならない。

- (1) 当該自動車の自動車検査証の有効期間
- (2) 当該自動車の使用開始後の総走行距離
- (3) 最近における当該自動車についての大規模な改造の内容、施行期日及び施行工場名
- (4) 故障した部品及び当該部品の故障した部位の名称（前後左右の別がある場合は、前進方向に向かつて前後左右の別を明記すること。）
- (5) 当該部品を取りつけてから事故発生までの当該自動車の走行距離
- (6) 当該部品を含む装置の整備及び改造の状況
- (7) 当該部品の製作者（製作者不明の場合は販売者）の氏名又は名称及び住所

3 運輸監理部長又は運輸支局長は、報告書を受け付けたときは、遅滞なく、地方運輸局長を経由して、国土交通大臣に進達しなければならない。

（速報）

第4条 旅客自動車運送事業者、貨物自動車運送事業者、特定第二種貨物利用運送事業者及び自家用有償旅客運送者並びに前条の自家用自動車の使用者は、その使用する自動車（自家用自動車（自家用有償旅客運送の用に供するものを除く。）にあつては、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。）につき、第2条第1号に該当する事故であり、かつ、同条第2号に該当する事故若しくは同条第3号に該当する事故があつたとき又は国土交通大臣の指示があつたときは、第3条第1項の規定によるほか、電話、電報その他適当な方法により、24時間以内に、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

2 前条第3項の規定は、前項の規定により運輸監理部長又は運輸支局長が速報を受けた場合について準用する。

（事故警報）

第5条 国土交通大臣又は地方運輸局長は、報告書又は速報に基づき必要があると認めるときは、事故防止対策を定め、自動車使用者、自動車分解整備事業者その他の関係者にこれを周知させなければならない。

自動車損害賠償保障法施行令
(昭和30年政令第286号)

(保険会社の仮渡金の金額)

第5条 法第17条第1項の仮渡金の金額は、死亡した者又は傷害を受けた者1人につき、次のとおりとする。

- | | |
|-----------------------------------------------------------|-------|
| (1) 死亡した者 | 290万円 |
| (2) 次の傷害を受けた者 | 40万円 |
| イ 脊柱の骨折で脊髄を損傷したと認められる症状を有するもの | |
| ロ 上腕又は前腕の骨折で合併症を有するもの | |
| ハ 大腿又は下腿の骨折 | |
| ニ 内臓の破裂で腹膜炎を併発したもの | |
| ホ 14日以上病院に入院することを要する傷害で、医師の治療を要する期間が30日以上のもの | |
| (3) 次の傷害(前号イからホまでに掲げる傷害を除く。)を受けた者 | 20万円 |
| イ 脊柱の骨折 | |
| ロ 上腕又は前腕の骨折 | |
| ハ 内臓の破裂 | |
| ニ 病院に入院することを要する傷害で、医師の治療を要する期間が30日以上のもの | |
| ホ 14日以上病院に入院することを要する傷害 | |
| (4) 11日以上医師の治療を要する傷害(第2号イからホまでおよび前号イからホまでに掲げる傷害を除く。)を受けた者 | 5万円 |

自動車事故報告書等の取扱要領

(平成元年3月29日付け、地車第44号、地備第53号)

- 1 自動車事故報告規則(昭和26年運輸省令第104号。以下「規則」という。)第2条第6号に規定する「自動車の装置の故障により、自動車が運行できなくなったもの」とは次に掲げるものをいう。
 - イ. 装置の不具合により自動車の運行を中止したものであって、運行を再開することができなかったもの
 - ロ. 装置の不具合により自動車の運行を中止したものであって、乗務員以外の者の修理等により運行を再開したもの

- 2 次の各号に掲げるものは、規則第2条第7号の「国土交通大臣が特に必要と認めて報告を指示したもの」の例とする。
 - イ. 20人以上の軽傷者を生じたもの
 - ロ. 鉄道の橋脚、架線等を損傷し、鉄道の運行を3時間以上停止させたもの

- ハ. 高速自動車国道又は指定自動車専用道路等を3時間以上通行止めにしたもの
- ニ. 10台以上の多重衝突を生じたもの
- ホ. 飲酒、酒気帯び、無免許、無資格、覚せい剤等薬物の乱用、居眠り等悪質な法令違反により事故を生じたもの
- ヘ. 車輪の脱落、トレーラの離脱等、他の交通に対して危害を及ぼすおそれがある故障を生じたもの（1に該当するものを除く。）

自動車事故報告書の記入等の取扱いについて
(平成元年3月29日付け、地車第45号、地備第58号)

第1 報告書の記入

報告書の記入は、次に掲げる取扱いによること。

1 事故の種類

(1) 区分欄

- (ア) 2種類以上の事故を併発した場合は、最も大きな被害を発生した事故を当該事故の種類とすること。
- (イ) 自動車又は原動機付自転車と衝突又は接触して当該車両に乗っている者を死傷させた場合は「衝突」とし、自転車に乗っている者を死傷させた場合は「死傷」とすること。
- (ウ) 走行中の車両への飛び乗り又は飛び降り等によって死傷した場合は「死傷」とすること。ただし、乗務員の不注意（扉の開口走行等）によって乗客等が当該車両より転落して死傷した場合は、「車内」とすること。
- (エ) 家屋その他の物件と衝突して付近にいた人を死傷させた場合は「衝突」とすること。

(2) 衝突等の状態欄

- (ア) 自動車が相手方と対面して接近し、衝突又は接触した場合は「正面衝突」とすること。
- (イ) 自動車が相手方と対面方向又は同方向以外の方向に進行（一方が停止している場合を含む。以下同じ。）して衝突又は接触した場合は「側面衝突」とすること。
- (ウ) 自動車が相手方と同方向に進行していて衝突又は接触した場合で次の「接触」以外の場合は「追突」とすること。
- (エ) 自動車が相手方と並進中又は後続車が先行者を追い抜き、もしくは並進しようとして接触した場合は「接触」とすること。
- (オ) 自動車が家屋、その他の物と衝突した場合は「物件衝突」とすること。

2 当該自動車の概要

- (1) 「車名」、「型式」、「車体の形状」及び「初度登録年又は初度検査年」は、けん引車が被けん引車を連結した状態で事故を引き起こした場合には、それぞれの車両について記載すること。
- (2) 「有償貸渡し（レンタカー）」は、道路運送法（昭和26年法律第183号。以

下「法」という。)第80条第1項の規定により受けた許可に係る自家用自動車とすること。

(3)「有償旅客運送」は、法第79条の規定により受けた登録に係る自家用有償旅客運送自動車とすること。

(4)「積載危険物等の品名」は、規則別様式(注)(10)各号のそれぞれの法令に定められた名称とすること。

3 道路等の状況

「警戒標識」は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府・建設省令第3号)第1条第2号に定めるものとし、同標識が設置されており、当該警戒標識によって運転上注意の必要があると認められる箇所において当該事故が発生した場合に「有」とし、それ以外の場合は「無」とすること。

4 損害の程度

「損害の程度」は、当該事故があったときの医師の診断結果に基づき記入することを原則とするが、死亡については、当該事故の発生後24時間以内に死亡したものとすること。

5 当時の状況

(1) 当該自動車の事故時の走行等の態様欄

(ア)「追越」は、自動車が進路を変え前車の側方を通過してその前方にでるまでとすること。

(イ)「左(右)折」は、直進の状態からハンドルを左(右)に切り、さらに直進の状態に戻るまでとすること。

(ウ)「その他」は、蛇行、割り込み等とすること。

(2) 事故発生地点欄

(ア) 事故発生地点の区分は、当該事故が発生したときに、当該自動車の大部分が位置していた場所によるものとすること。

(イ) 交差点、バス停留所、トンネル等において、当該事故が発生した場合は、車道、路側帯等と重複することがあるが、その場合には、上記(ア)に係わらず該当する両方を○で囲むこと。

(ウ)「歩道」は、歩行者の通行の用に供するため縁石線又は柵その他これに類する工作物によって区画された道路の部分とすること。

(エ)「路側帯」は、歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路端寄りに設けられた道路標識によって区画された帯状の道路の部分とすること。

(オ)「路肩」は、道路の主要部分を保護するため車道、歩道等に接続して設けられた部分であって「路側帯」以外のものとすること。

(カ)「交差点」は、2以上の道路(歩道を除く。)の交わる部分(車両停止線のある場合にあつては、車両停止線を対向車線に延長した線によって囲まれた道路の部分)

とすること。

(キ)「バス停留所」は、乗合バス停留所の前後20mの道路の部分とすること。

6 乗務員

(1)「経験年数」は、当該自動車を運転することができる資格を得たときからの運転経験の期間とすること。

(2)「本務・臨時の別」は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とすること。

(3)「乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離」は、当日の最初の乗務から事故発生までの乗務時間及び乗務キロ数のそれぞれの総和とすること。ただし、乗務が2日以上にわたって継続して行われた場合は、当該乗務の開始から事故発生までの乗務時間及び乗務キロ数とすること。この場合において、乗務員がその途中で8時間以上事業用自動車を離れた場合は、そこで乗務が終了したものとす

る。

(4)「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗している

と否とにかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は「有」とし、それ以外は「無」とすること。なお、交替運転者が運転を交替した後に事故を惹起した場合には、当該交替運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記載すること。

(5)「過去3年間の事故の状況」及び「過去3年間の道路交通法の違反の状況」は、事業用自動車の乗務時のものを記載すること。

7 再発防止対策

事故の原因が明らかになってから講ずることとしている場合には、「原因究明結果待ち」を記入するとともに、緊急的に講じた対策についても記入すること。

自動車事故報告書 国土交通大臣 殿 自動車の使用者の氏名又は名称 住 所 電話番号 年 月 日 提出			
☆発生日時	年 月 日 時 分	☆路線名 又は 道路名	
天 候	1 晴れ 2 曇 3 雨 4 雪 5 霧 6 その他		
☆発生場所	都道 区市 区町 番地 府県 郡 村		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号 又は車両番号	
☆当時の状況			
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）			
☆当時の処置			
☆事故の原因			
☆再発防止策 対 策			
※備 考			

（日本工業規格A列4番）

事故の種類	区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 健康起因	11 車両故障	12 その他	☆ 危険認知時の速度	km/h					
	☆ 発生順													☆ 危険認知時の距離	m					
	☆ 転落の状態	落差		m		水深		m						☆ スリップ距離	m					
	☆ 衝突等の状態	1 正面衝突		2 側面衝突		3 追突								当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進(加速)	2 直進(減速)	3 直進(定速)			
	☆ 車名	☆ 型式	☆ 車体の形状		☆ 初度登録年又は初度検査年										4 後退	5 追越	6 右折			
	事業用	1 乗合旅客		2 貸切旅客		3 追突								7 左折	8 駐車	9 停車	10 転回	11 合流	12 その他	
	家用	1 有償貸渡し(レンタカー)		2 有償旅客運送		3 その他										1 車道	2 歩道	3 横断歩道		
	種別	1 普通		2 小型		3 その他										4 路側帯	5 路肩			
	☆ 乗車定員	人		☆ 当時の乗車人員		人										6 交差点	7 バス停留所			
	☆ 最大積載量	kg		☆ 当時の積載量		kg										8 トンネル	9 その他			
	☆ 許可等の必要性	制限外許可		1 有		2 無														
	☆ 許可等の取得状況	特殊車両通行許可		1 有		2 無														
当該自動車の概要	☆ 乗車定員	人		☆ 当時の乗車人員		人														
	☆ 最大積載量	kg		☆ 当時の積載量		kg														
	☆ 許可等の必要性	制限外許可		1 有		2 無														
	☆ 許可等の取得状況	特殊車両通行許可		1 有		2 無														
	貨物の内容	1 土砂等		2 長大物品等		3 コンテナ														
	積載危険物等	運搬の有無		1 有		2 無														
		種類		1 危険物		2 火薬類		3 高压ガス												
		☆ 品名及び積載量又は放射能の量		品名		() kg、1														
		イエコカードの携行状況		1 有		2 無														
	道路等の状況	種類	1 道路(イ高速自動車国道 ロ自動車専用道路等ハその他)		2 その他の場所															
		☆ 道路の幅員	m																	
		こう配	1 平たん		2 上り		3 下り													
道路の形態		1 直線		2 右曲り		3 左曲り														
路面の状態		1 乾		2 湿		3 積雪		4 氷結												
警戒標識の設置		1 有		☆ 当該道路の制限速度		km/h														
踏切の状態		1 遮断機付き		2 警報機付き		3 その他														
☆ 当時の運行計画		(発地・経由地・着地)																		
☆ 営業所及び運行等の状況		安全性優良事業所の認定(貨物のみ)		1 有		2 無														
運送形態		1 下請運送		2 その他																
☆ 荷送人の氏名又は名称及び住所																				
☆ 荷受人の氏名又は名称及び住所																				
乗運者	☆ 氏名	令		才																
	☆ 経年数	年		月																
	自動車運転者	本務・臨時の別		1 本務		2 臨時														
		☆ 事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数				日														
		☆ 乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離				時間		km												
		☆ 最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計				日		km												
	損害の程度	1 死亡		2 重傷		3 軽傷														
	シートベルトの着用状況	1 着用		2 非着用		3 非装備														
	☆ 交替運転者の配	1 有		2 無																
	☆ 過去3年間の事故の状況	(過去3年間の事故件数)		件		日														
	☆ 過去3年間の道路交通法の違反の状況	(過去3年間の違反件数)		件		日														
	☆ 過去3年間の適性診断の受診状況	1 有		2 無																
☆ 最近の健康診断の受診年月日	(最近の受診年月日)		年		月		日													
乗車掌	本務・臨時の別		1 本務		2 臨時															
	損害の程度		1 死亡		2 重傷		3 軽傷													
	シートベルトの着用状況		1 着用		2 非着用		3 非装備													
	☆ 運行管理者		氏名																	
	☆ 運行管理者資格者証番号																			
	☆ 損害の程度		◆ 死亡		人(うち乗客)		人													
			◆ 重傷		人(うち乗客)		人													
			軽傷		人(うち乗客)		人													
	☆ 事業者番号																			
	☆ 再発防止対策																			

(注)

- (1) ☆印欄は、具体的に記入すること。ただし、不明の場合は該当欄に「不明」と記入し、記入の要のない場合は該当欄に斜線を引くこと。
なお、欄内に記入し得ないときは、別紙に記入し、これを添付すること。
- (2) ※印欄は、記入しないこと。
- (3) ☆印欄及び※印欄以外の欄は、該当する事項を○で囲むこと。
- (4) ◆印欄は、事故が第2条第6号のみに該当する場合には、記入を要しない。
- (5) 時刻の記入は、24時間制によること。
- (6) 「区分」の記入は、次の区分によること。
 - 1 転覆 当該自動車は道路上において路面と35度以上傾斜したとき。
 - 2 転落 当該自動車が道路外に転落した場合で、その落差が0.5メートル以上のとき。
 - 3 路外逸脱 当該自動車の車輪が道路(車道と歩道の区分がある場合は、車道)外に逸脱した場合で、「転落」以外のとき。
 - 4 火災 当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。
 - 5 踏切 当該自動車が踏切において、鉄道車両と衝突し、又は接触したとき。
 - 6 衝突 当該自動車が鉄道車両、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、荷牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。
 - 7 死傷 死傷者を生じたとき(9に該当する場合を除く。)
 - 8 危険物等 第2条第3号に該当する事故
 - 9 車内 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客(乗降する際の旅客を含む。)を死傷させたとき。
 - 10 健康起因 第2条第5号に該当する事故
 - 11 車両故障 第2条第6号に該当する事故
 - 12 その他 1から11までに該当しないとき。
- (7) 2種類以上の事故が生じたときには、「発生の順」の欄に発生の順に番号を記入すること。
- (8) 「転落の状態」の欄の「落差」は、路面から落下地点までの垂直距離とする。
ただし、水中に転落した場合で水深を記入する必要がある場合には、路面から水面までの垂直距離とする。
- (9) 「車体の形状」の欄は、道路運送車両法第58条の自動車検査証に記載されている車体の形状を記入すること。
- (10) 「積載危険物等」とは、次に掲げるものであって事故当時に当該自動車に積載していたものをいう。
 - 1 危険物 消防法第2条第7項に規定する危険物
 - 2 火薬類 火薬類取締法第2条第1項に規定する火薬類
 - 3 高圧ガス 高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガス
 - 4 核 原子力基本法第3条第2号に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - 5 R I 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第2条第2項に規定する放射性同位元素及びそれによって汚染された物
 - 6 毒劇物 シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令別表第二に掲げる毒物又は劇物
 - 7 可燃物 道路運送車両の保安基準第47条第1項第3号に規定する品名の可燃物
- (11) 「許可等の必要性」及び「許可等の取得状況」の欄は、当該自動車の運行について次の許可等の必要性の有無及びその取得状況に該当するものを○で囲むこと。
 - 1 制限外許可 道路交通法(昭和35年法律第105号)第57条の規定による許可
 - 2 特殊車両通行許可 道路法(昭和27年法律第180号)第47条の2の規定による許可
 - 3 保安基準の緩和 道路運送車両の保安基準第55条の規定による基準の緩和であって、道路運送車両の保安基準第2条第1項、第4条及び第4条の2に係るもの
- (12) 「イエローカード」とは、当該積載危険物等の取扱方法を記載した書類をいう。
- (13) 「種類」の欄の「ロ 自動車専用道路等」は、道路法第48条の2第1項又は第2項の規定による指定を受けた道路及び道路運送法による自動車道とし、「2 その他の場所」は、構内、営業所等一般交通の用に供しない場所とする。
- (14) 「道路の幅員」は、路肩部分を含む道路(車道と歩道の区別がある場合は、車道)の総幅員とする。
- (15) 「道路の形態」の欄の「交差」は、当該自動車前方30メートル以内に交差点があった場合とする。
- (16) 「運行計画」には、運行管理者が与えた指示を含むものとする。
- (17) 「安全性優良事業所の認定」とは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関が、輸送の安全の確保に関する取組が優良であると認められる貨物自動車運送事業者の営業所に対して行う認定をいう。
- (18) 「下請運送」とは、貨物自動車運送事業者からの運送の依頼により行う貨物運送をいう。
- (19) 「荷送人の氏名又は名称及び住所」の欄は、事故を引き起こした当該運送事業者と運送契約を締結した荷送人のほか、事故の際に運送していた貨物に関して当該荷送人と運送契約を締結した者等の当該貨物の運送に関して運送契約を締結した全ての者を記載すること。
- (20) 「運送形態」の欄の「2その他」に該当し、かつ、当該運送が特別積合せ運送である場合には「荷送人の氏名又は名称及び住所」及び「荷受人の氏名又は名称及び住所」の欄は、記入を要しない。
- (21) 「過去3年間の事故の状況」の欄は、当該運転者が引き起こした道路交通法第72条第1項の交通事故に関して記入する。
- (22) 「過去3年間の適性診断の受診状況」の欄は、当該運転者の過去3年間の運転適性診断の受診の有無について、該当する事項を○で囲むこと。また、「適性診断受診場所」は、「最近の受診年月日」に受診した受診場所(又は受診機関)を具体的に記入すること。
- (23) 「最近の健康診断の受診年月日」の欄は、第2条第5号に該当する事故を引き起こした当該運転者が受診した労働安全衛生法第66条に規定する健康診断の最近の受診年月日を記入すること。
- (24) 「運行管理者」は、事故について最も責任のあると考えられる運行管理者のことである。
- (25) 「統括運行管理者」とは、旅客自動車運送事業運輸規則第48条の2第1項又は貨物自動車運送事業輸送安全規則第21条第1項に規定する業務を統括する運行管理者をいう。

第 1 編 自動車事故の概要

第 1 部 交 通 事 故 の 現 状

第 2 部 事 業 用 自 動 車 の 重 大 事 故

※ 本統計には、事業用自動車が第二当事者となった事故（相手方の過失が大きい事故）による報告も含まれています。

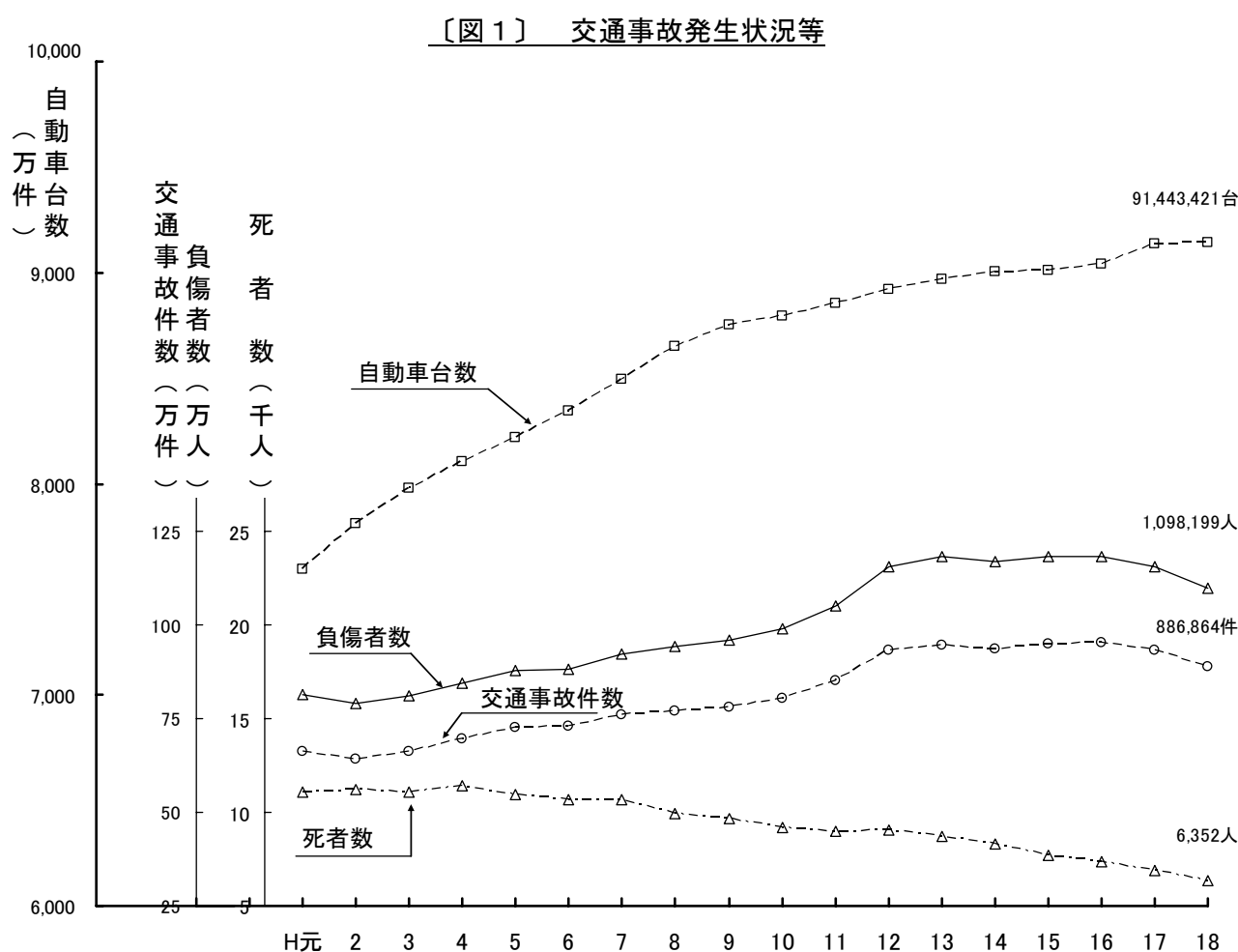
第1部 交通事故の現状

1. 交通事故発生状況

(1) 概要

平成18年中に全国の道路上で発生した交通事故は886,864件で、前年に比べ46,964件(-5.0%)減少している。また、交通事故による死者数は、519人(-7.6%)減少し6,352人、負傷者数は、58,434人(-5.1%)減少し、1,098,199人となっている。

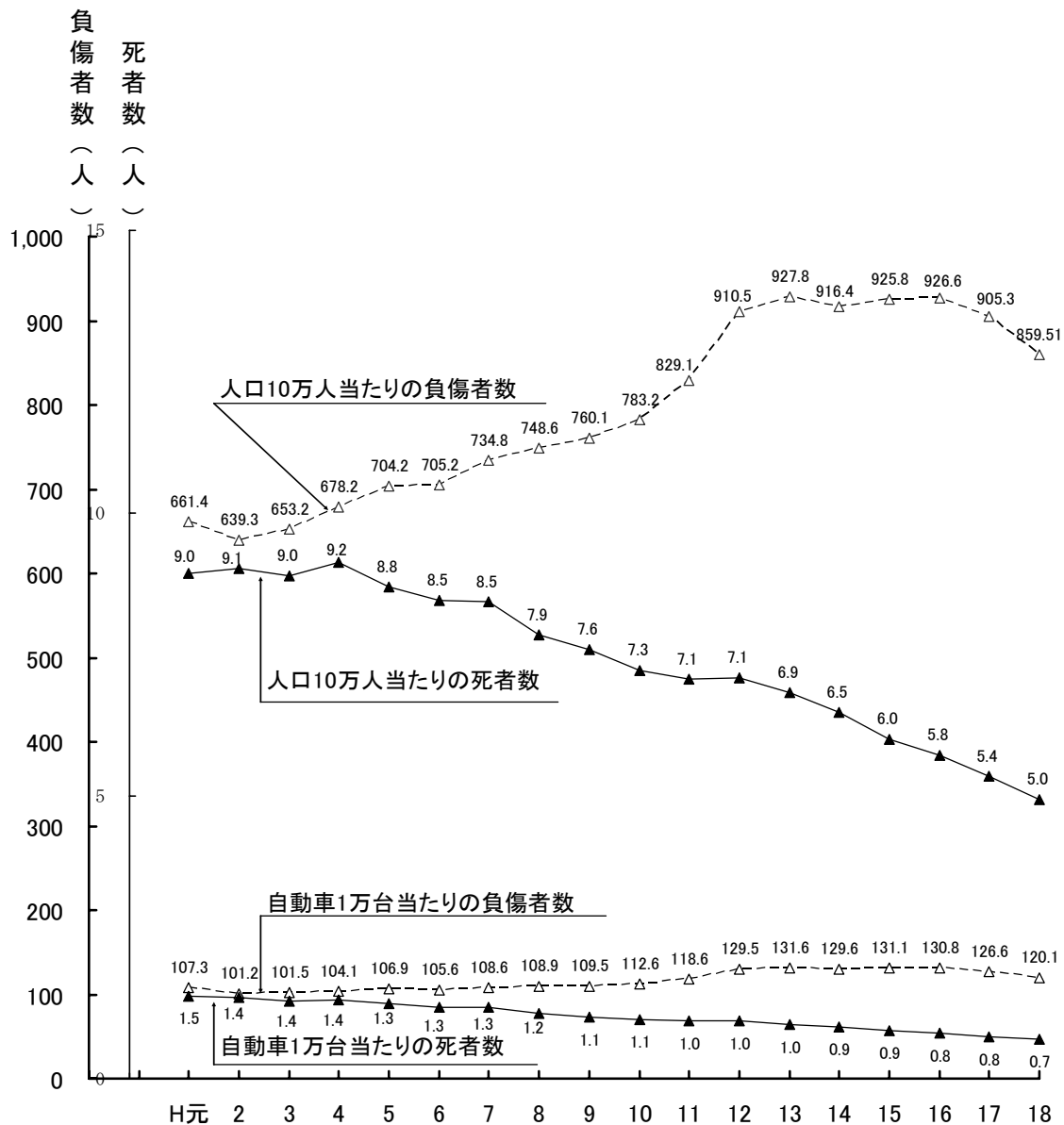
一方、自動車台数は図1に示すとおり増加を続け、平成18年12月末には91,443,421台に達し、前年同期に比べ60,356台(+0.07%)増加している。



- (注) 1. 交通事故件数及び死傷者数は警察庁資料による。ただし人身事故のみである。
 2. 自動車台数は、各年12月末の自動車(第1種原動機付自転車、第2種原動機付自転車及び小型特殊自動車にあっては各年4月1日)の数値である。

また、交通事故による死傷率をみると図2に示すとおり、人口10万人当たりの死者数は5.0人と減少しており、負傷者数は859.5人で前年に比べて45.8人（-5.1%）減少している。また、自動車1万台当たりの死者数は横ばいで、負傷者数は前年に比べて6.5人（-5.1%）減少している。

〔図2〕 交通事故による死傷率の推移



- (注) 1. 死傷者は警察庁資料による。
 2. 自動車台数は、各年12月末の自動車（第1種原動機付自転車、第2種原動機付自転車及び小型特殊自動車にあっては各年4月1日）の数値である。

(2) 車種別事故発生状況

平成 18 年中に発生した交通事故件数を車種別にみると表 1 に示すとおりであり、乗用が全体の半数以上を占めているが、事業用自動車に限定すると、乗用、貨物がともに 4 割を超えており、自家用を含めた全体の交通事故件数とは異なる傾向を示している。また、自動車台数 1,000 台当たりの事故発生件数についても事業用は異なる傾向を示しており、乗用の件数が他を圧倒して多くなっている。

〔表 1〕 車種別事故発生状況

	事故発生状況		自動車台数 (18年12月末)	自動車台数 1,000台当たりの 事故発生件数
	事故件数	構成比(%)		
バス	4,756(+76)	0.5%	231,681	20.5
うち事業用	3,897(+64)	6.0%	106,688	36.5
乗用	462,120(-33,224)	52.1%	42,413,400	10.9
うち事業用	26,704(-1,090)	41.1%	273,593	97.6
貨物	98,297(-7,131)	11.1%	7,049,452	13.9
うち事業用	30,311(-1,677)	46.6%	1,128,540	26.9
軽貨物	69,122(-3,962)	7.8%	9,603,692	7.2
うち事業用	4,629(-165)	7.1%	—	—
軽乗用	149,639(+4,307)	16.9%	15,108,217	9.9
小型・軽二輪	12,846(-800)	1.4%	3,438,810	3.7
特殊	751(+15)	0.1%	2,593,798	0.3
原付 (含むミニカー)	41,379(-3,935)	4.9%	9,723,939	4.3
自動車等計	838,910(-44,654)	94.6%	90,162,989	9.3
うち事業用	65,003(-2,868)	100.0%	1,508,821	43.1
自転車・歩行者ほか	47,954(-2,310)	5.4%	—	—
合計	886,864(-46,964)	100.0%	—	—

(注) 1. 事故発生状況は警察庁資料による。

2. () 内の数値は前年と比較した増減数である。

3. 自動車台数は、特種用途車の台数(1,280,432)を除いた数値であり、特殊及び原付については、平成18年4月1日現在の数値である。

第2部 事業用自動車の重大事故

1. 概要

平成18年中に自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）に基づき報告があった事業用自動車の重大事故の件数及び死傷状況等は、表1-1に示すとおりであり、事故件数は、5,735件で、これらによる人身被害は死者数1,169人、負傷者4,472人で、前年と比較して死者数が113人減少、重傷者については54人減少している。

また、事故件数5,735件のうち、乗務員に起因する事故と推測されるものは2,410件であり、前年と比較して100件増加している。

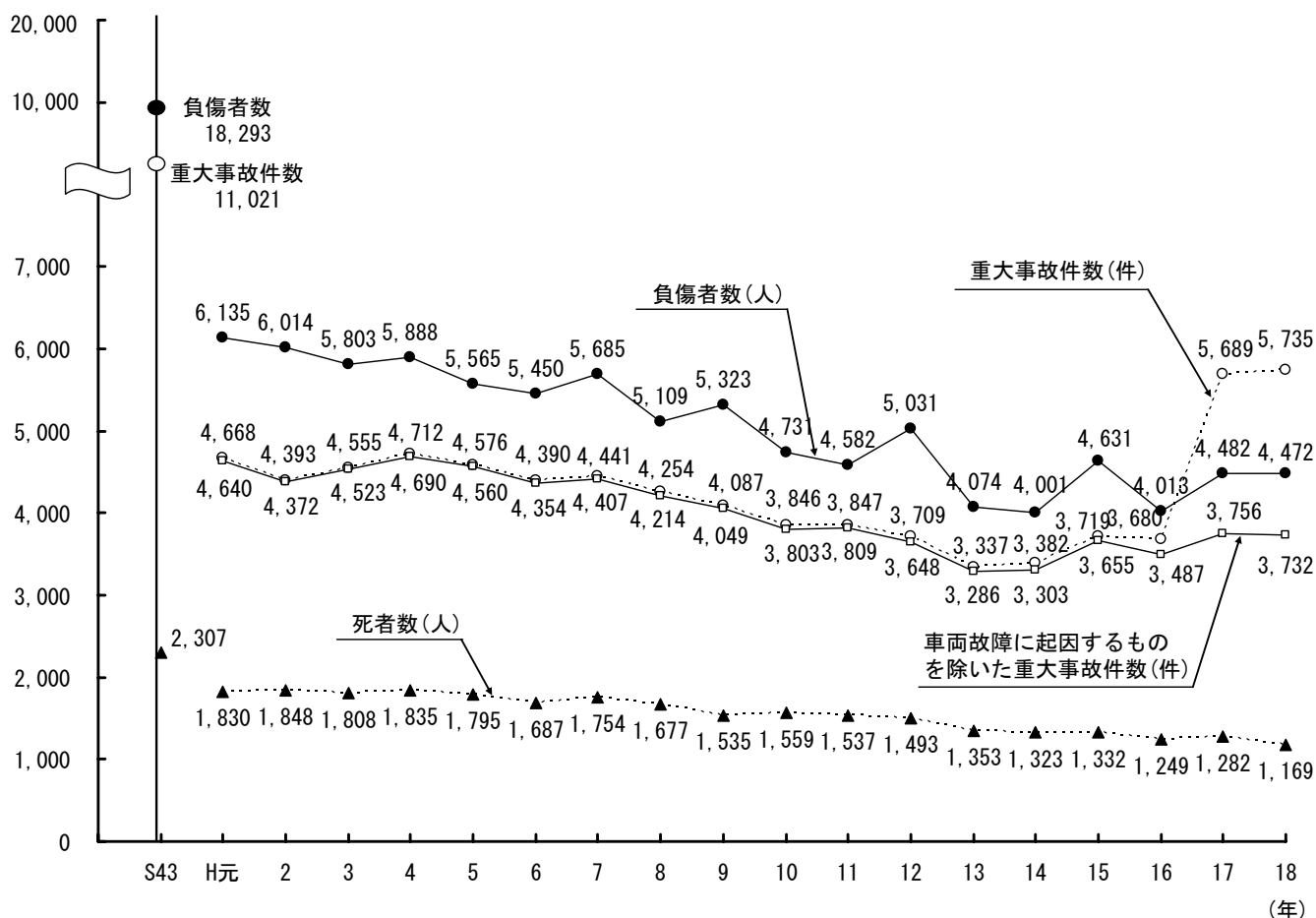
〔表1-1〕 18年中の重大事故発生状況

項 目		内 訳	全 報 告 件 数	対前年増減
件 数 (件)			5,735	+ 46
うち乗務員に起因する事故件数 (件)			2,410	+ 100
死傷状況等	死 者 数 (人)		1,169	- 113
	重 傷 者 数 (人)		2,142	- 54
	軽 傷 者 数 (人)		2,330	+ 44

(1) 重大事故発生状況の推移

事業用自動車の重大事故発生状況の推移は、図1-1に示すとおりであり、前年と比較して重大事故件数は増加し、死者数及び負傷者数は減少している。

〔図1-1〕 事業用自動車の重大事故発生状況等の推移



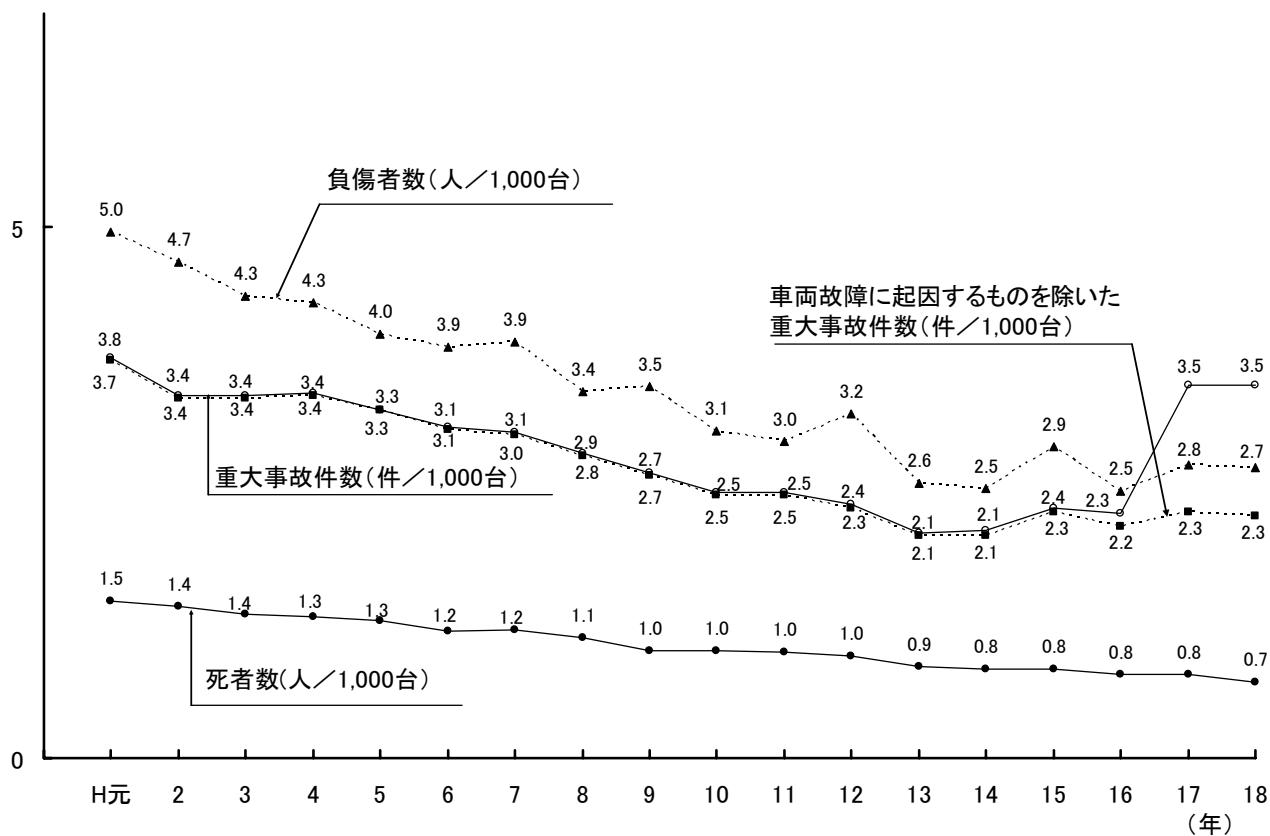
- (注) 1. 事業用自動車台数は、国土交通省自動車交通局調べで各年6月末の自動車(被けん引車を除く。)台数である。
2. 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(2) 事業用自動車台数及び走行キロ当たりの重大事故

(ア) 事業用自動車 1,000 台当たり重大事故件数等の推移

事業用自動車の重大事故発生状況を事業用自動車 1,000 台当たりで見ると、図 1-2 に示すとおりである。

〔図 1-2〕 事業用自動車 1,000 台当たり重大事故件数等の推移

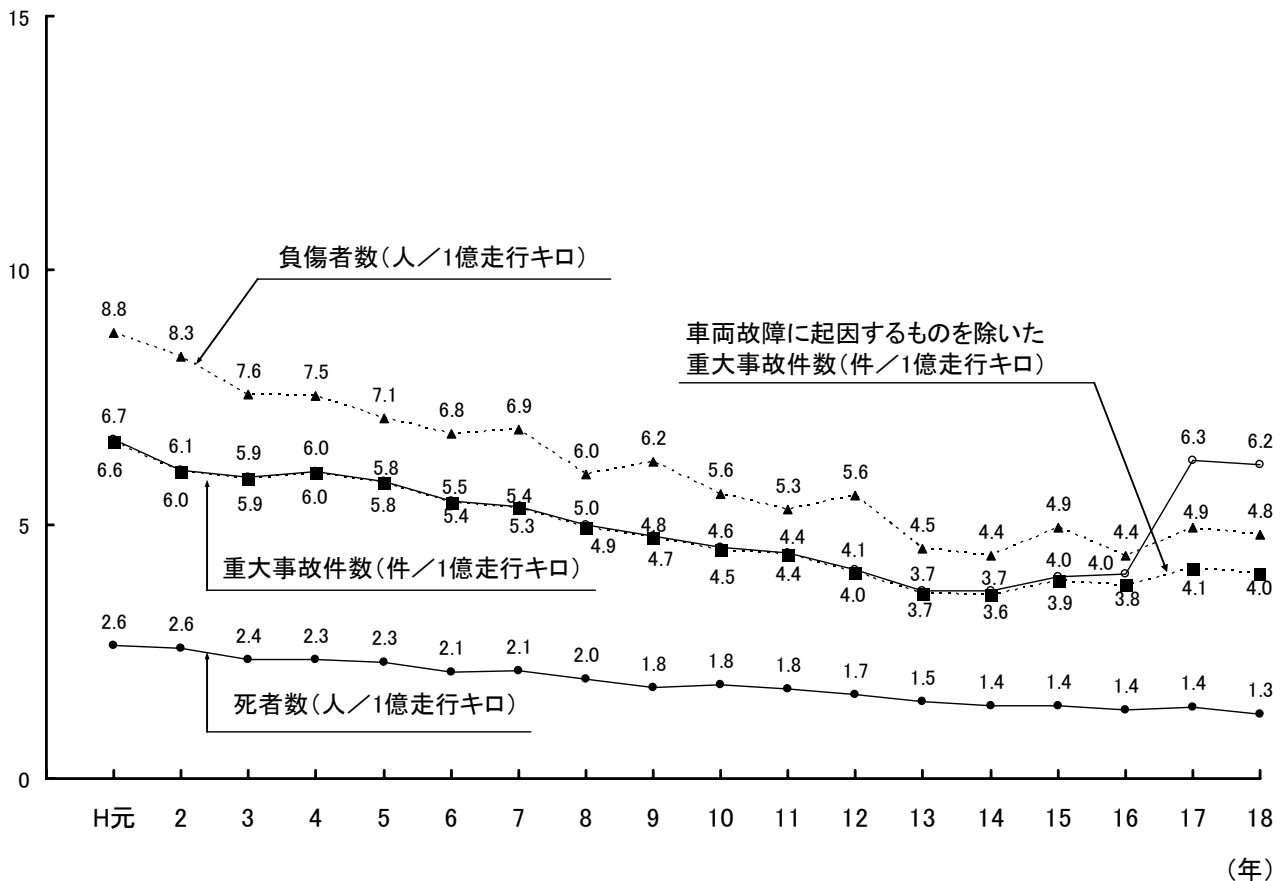


(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(イ) 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移

事業用自動車の重大事故発生状況について、事業用自動車 1 億走行キロ当たりでみると、図 1-3 に示すとおりであり、前年と比較して、重大事故件数、負傷者数、死者数ともに減少している。

〔図 1-3〕 事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数等の推移



(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

2. 業態別の重大事故発生状況

平成 18 年中における事業用自動車の重大事故発生状況を業態別にみると、表 2 - 1 に示すとおりであり、バスが 2,488 件（前年比 + 3.3%）、ハイ・タクが 759 件（前年比 + 0.3%）及びトラックが 2,528 件（前年比 - 1.4%）となっている。

〔表 2 - 1〕 業態別の重大事故発生状況

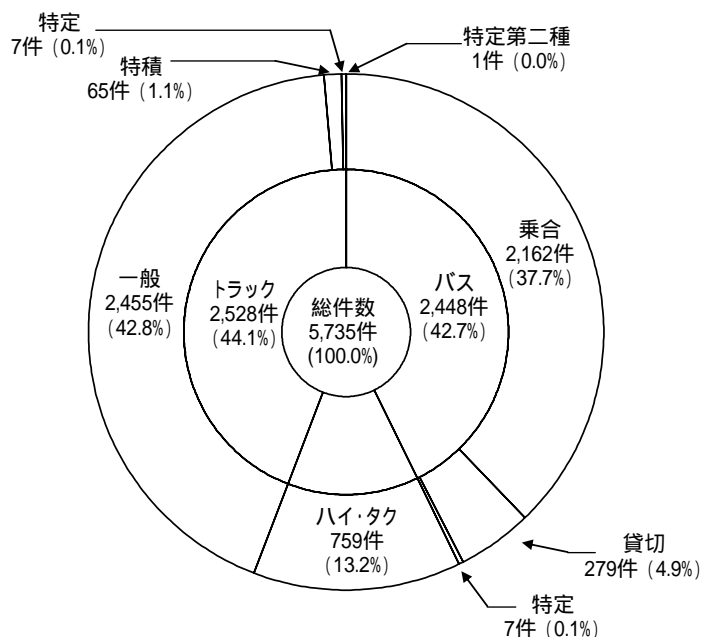
項目	内 訳	バス			ハイ・タク	トラック	合計
		乗合	貸切	特定			
件 数 (件)		2,162	279	7	759	2,528	5,735
乗務員に起因する事故件数 (件)		408	54	1	514	1,433	2,410
死傷状況等	死者数 (人)	39 (1)	25 (1)	1 (0)	110 (7)	994	1,178 (9)
	重傷者数 (人)	343 (155)	50 (15)	2 (1)	609 (65)	1,138	2,378 (236)
	軽傷者数 (人)	624 (541)	338 (313)	0 (0)	259 (116)	1,109	3,300 (970)
	計 (人)	1,006 (697)	413 (329)	3 (1)	978 (118)	3,241	6,856 (1,215)

（注）死傷状況等における（ ）内数値は、乗客が死傷した人数を示す。

（1）事業種類別重大事故件数

平成 18 年中の事業種類別の重大事故件数は図 2 - 1 に示すとおりであり、トラックのうちの一般が 2,455 件で全体の 42.8% を占め、次いでバスの乗合が 2,162 件（37.7%）、ハイ・タクが 759 件（13.2%）の順となっている。

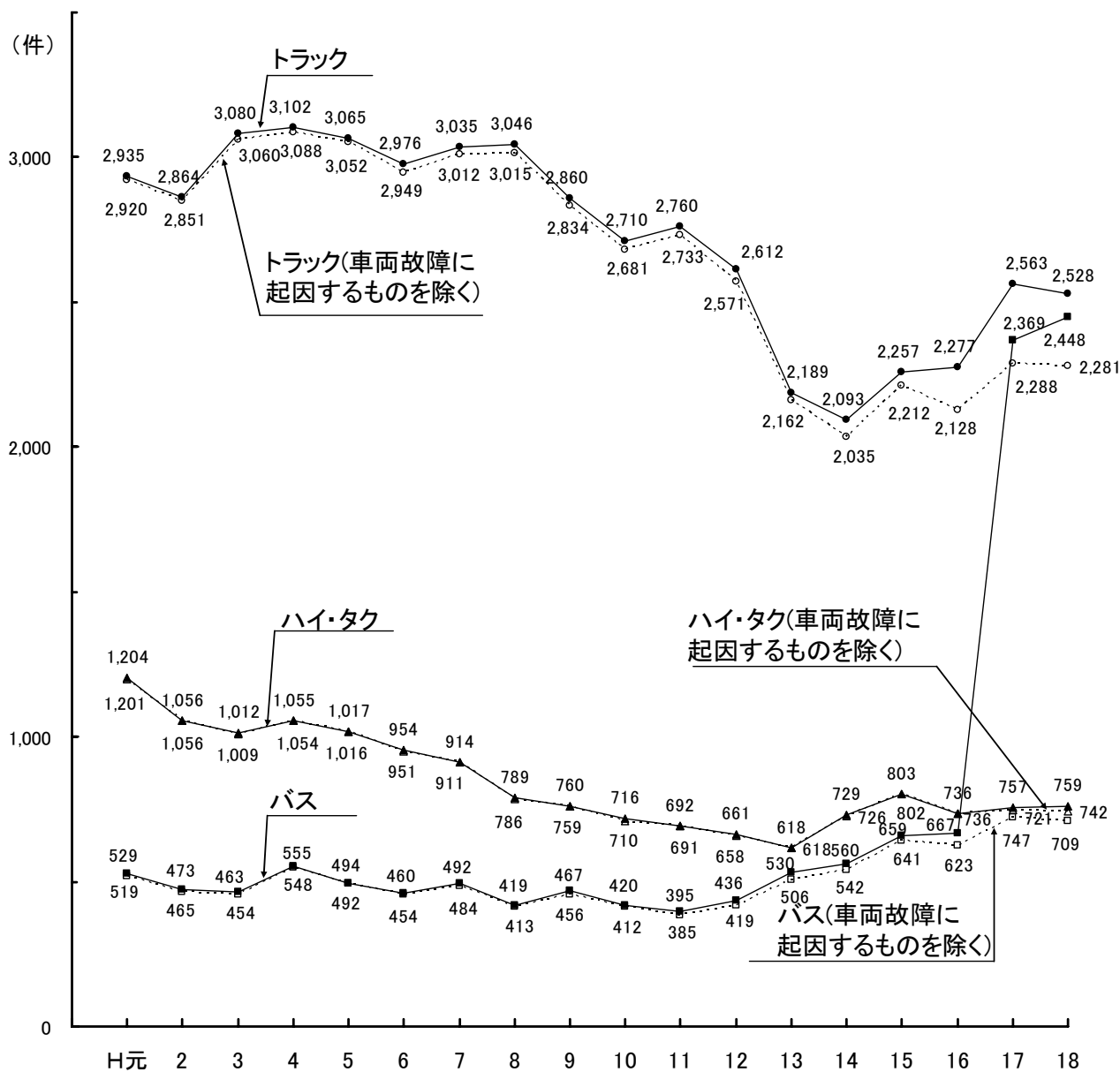
〔図 2 - 1〕 事業種類別重大事故件数



(2) 業態別重大事故件数の推移

業態別重大事故件数の推移をみると、図2-2に示すとおりであり、バス、ハイ・タクで若干の増加がみられ、トラックでは減少している。

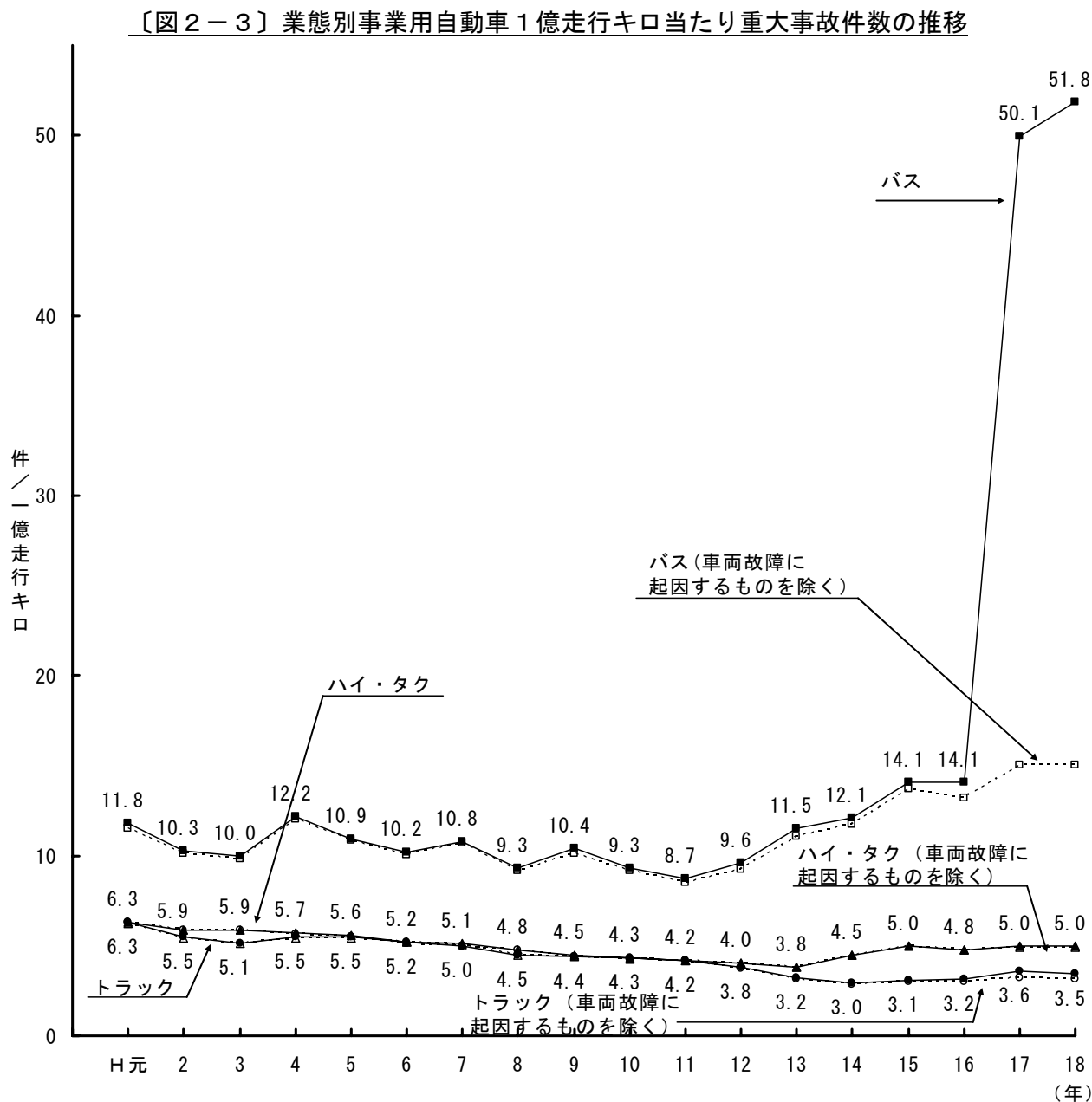
〔図2-2〕業態別重大事故件数の推移



(注) 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(3) 業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たり重大事故件数の推移

業態別事業用自動車 1 億走行キロ当たりの重大事故件数の推移をみると、図 2-3 に示すとおりであり、前年と比較してバスで増加、ハイ・タクで横ばい、トラックについては減少している。



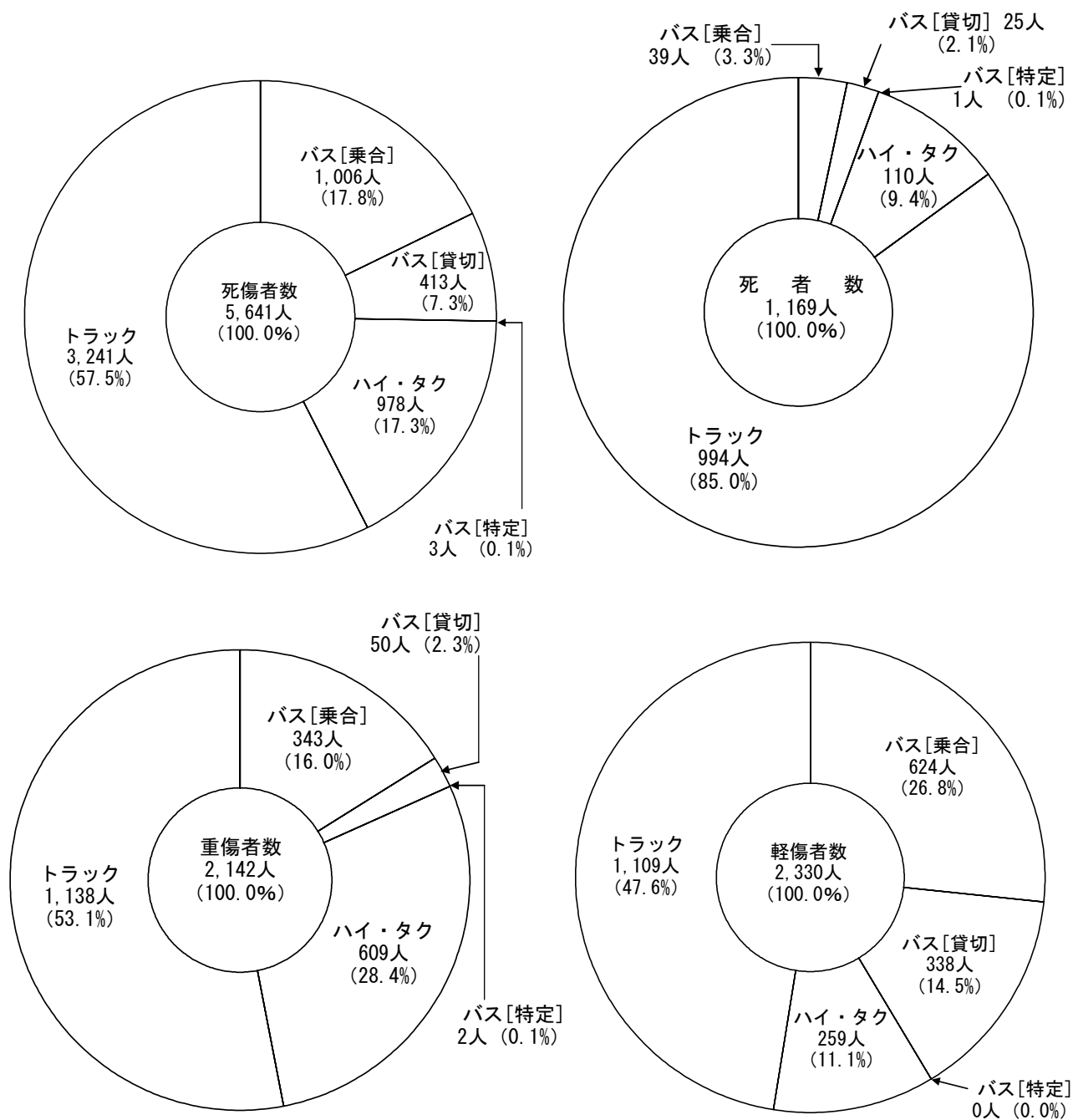
(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

(4) 業態別死傷者内訳

業態別に死傷者の発生状況を見ると、図2-4に示すとおりであり、トラックが3,241人(57.5%)、バスが1,422人(25.2%)、ハイ・タクが978人(17.3%)となっている。

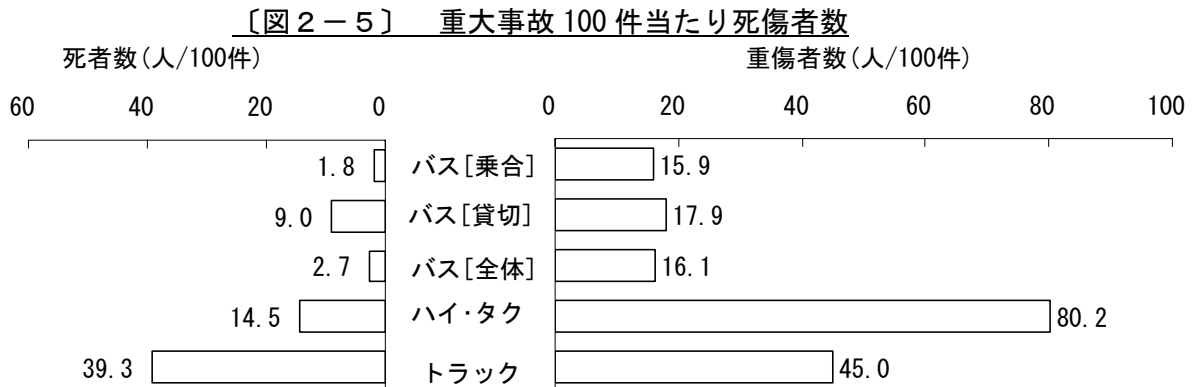
また、トラックは死者数994人、重傷者数1,138人及び軽傷者数1,109人でいずれも最上位を占めている。

〔図2-4〕 業態別死傷者内訳



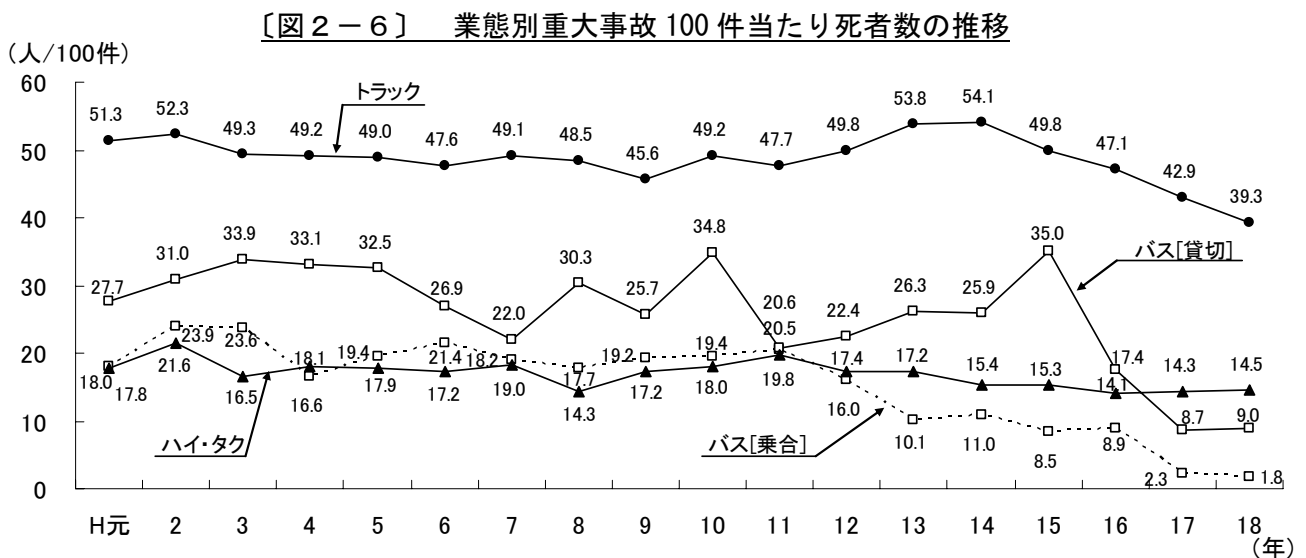
(ア) 業態別重大事故 100 件当たり死者数及び重傷者数

業態別重大事故 100 件当たり死者数及び重傷者数は、図 2-5 に示すとおりであり、死者数はトラックが 39.3 人（前年比-3.6 人）、次いでハイ・タクが 14.5 人（前年比+0.2 人）、バスが 2.7 人（前年比-0.5 人）となっている。また、重傷者ではハイ・タクが 80.2 人（前年比-4.3 人）、次いでトラック 45.0 人（前年比+1.6 人）、バスが 16.1 人（前年比-2.6 人）となっている。



(イ) 業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移

業態別重大事故 100 件当たり死者数の推移は、図 2-6 に示すとおりであり、前年と比較してハイ・タクで若干の増加が見られるものの、トラック・バスともに減少している。

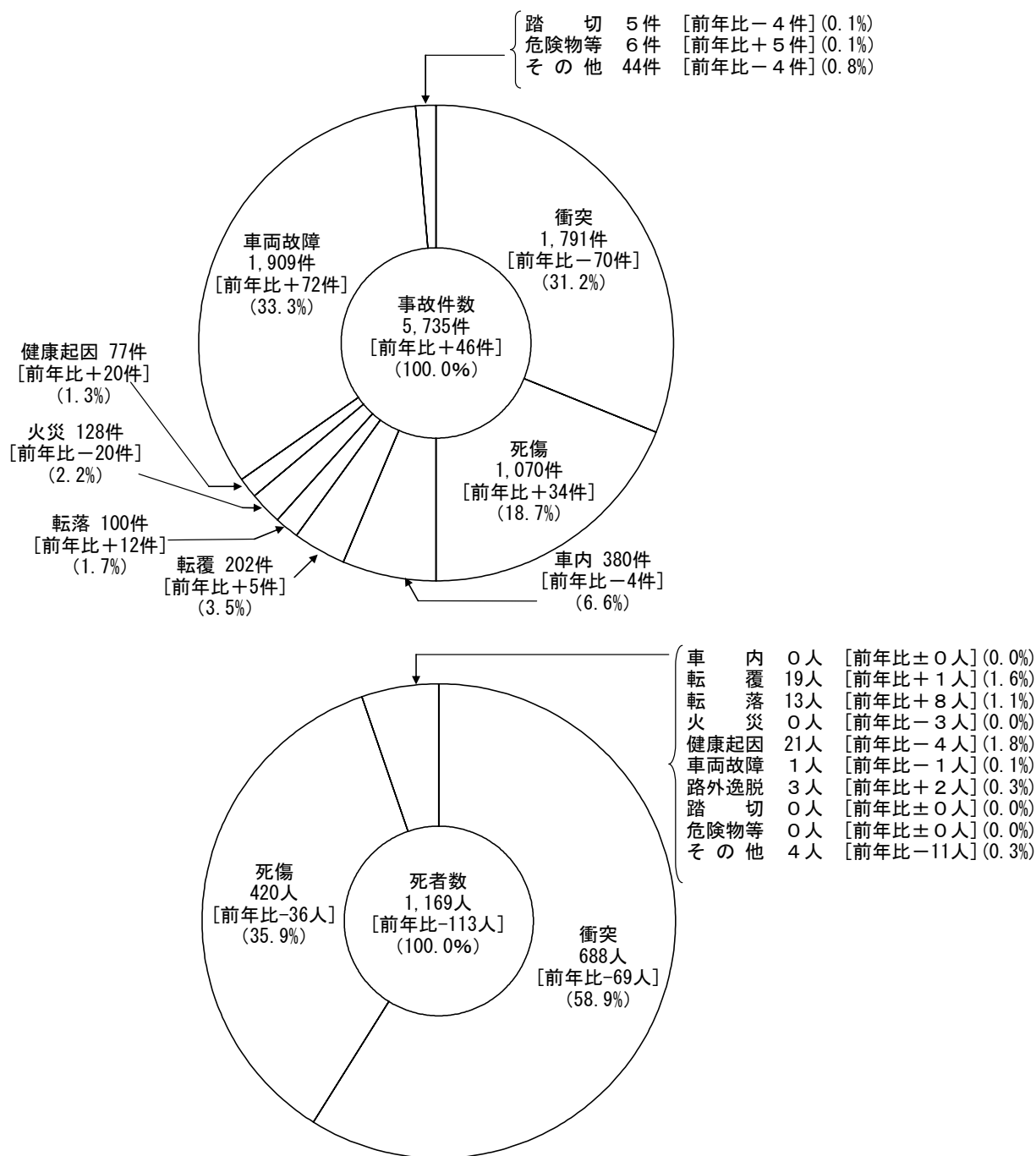


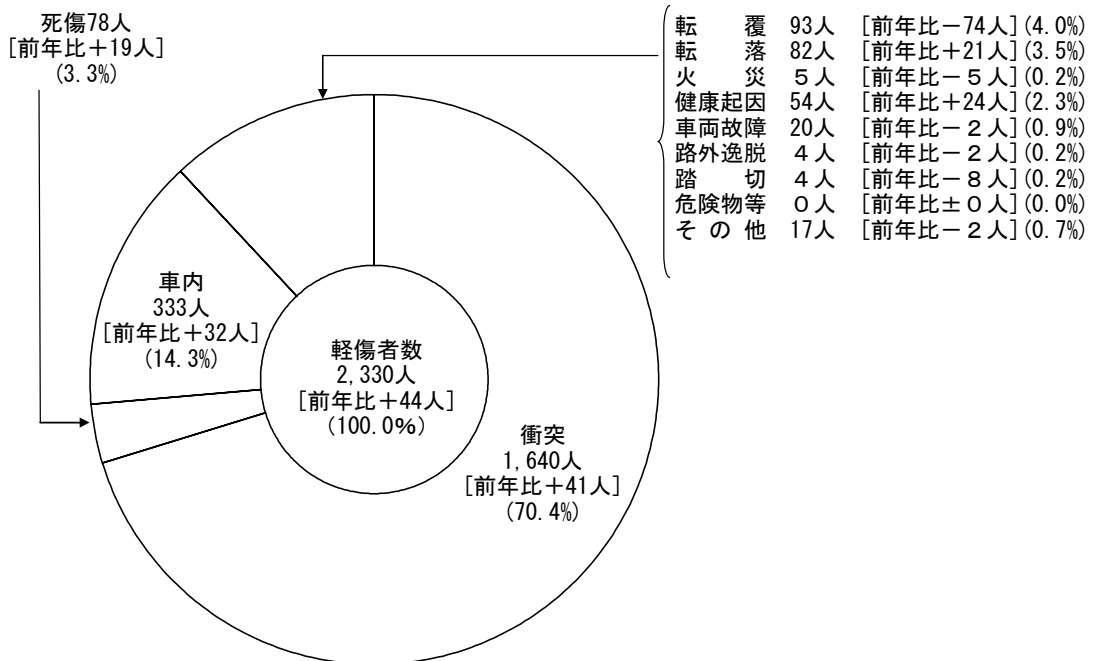
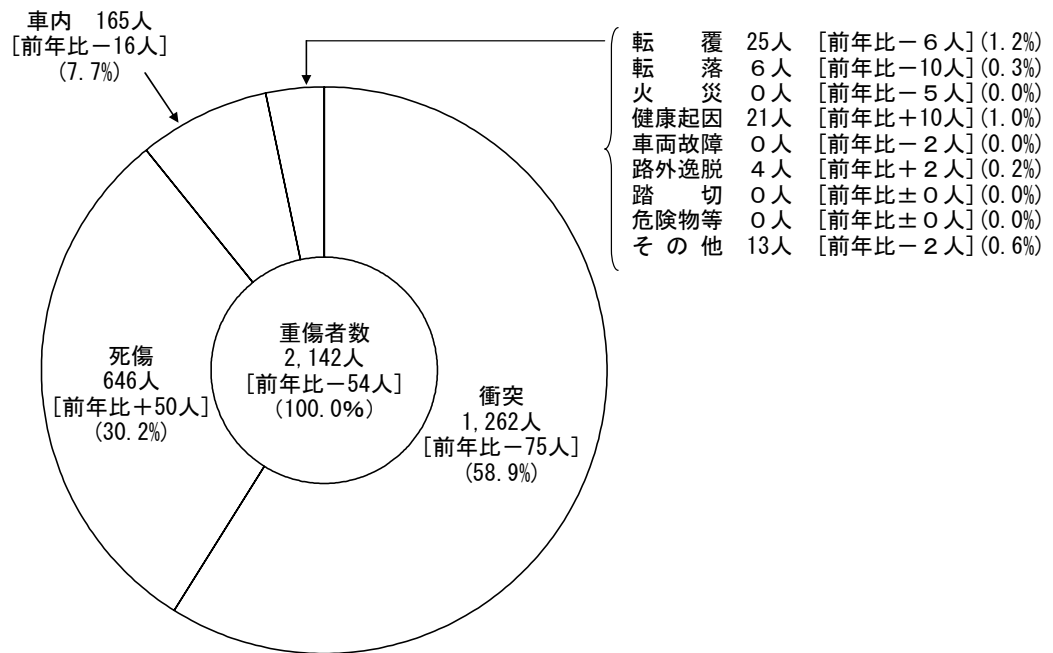
(注) 平成 17 年 2 月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの（車両故障）に係る報告対象が拡大されている。

3. 事故種類別の重大事故発生状況

平成 18 年中の重大事故発生状況を事故種類別にみると、図 3-1 に示すように、車両故障が全体の 33.3%と最も多く、次いで衝突事故、死傷事故の順となっている。また、死者数にあつては、衝突が 688 人 (58.9%)、死傷が 420 人 (35.9%) で、合計すると 1,108 人になり、全体の 94.8%と大部分を占めている。

〔図 3-1〕 事故種類別の重大事故発生状況





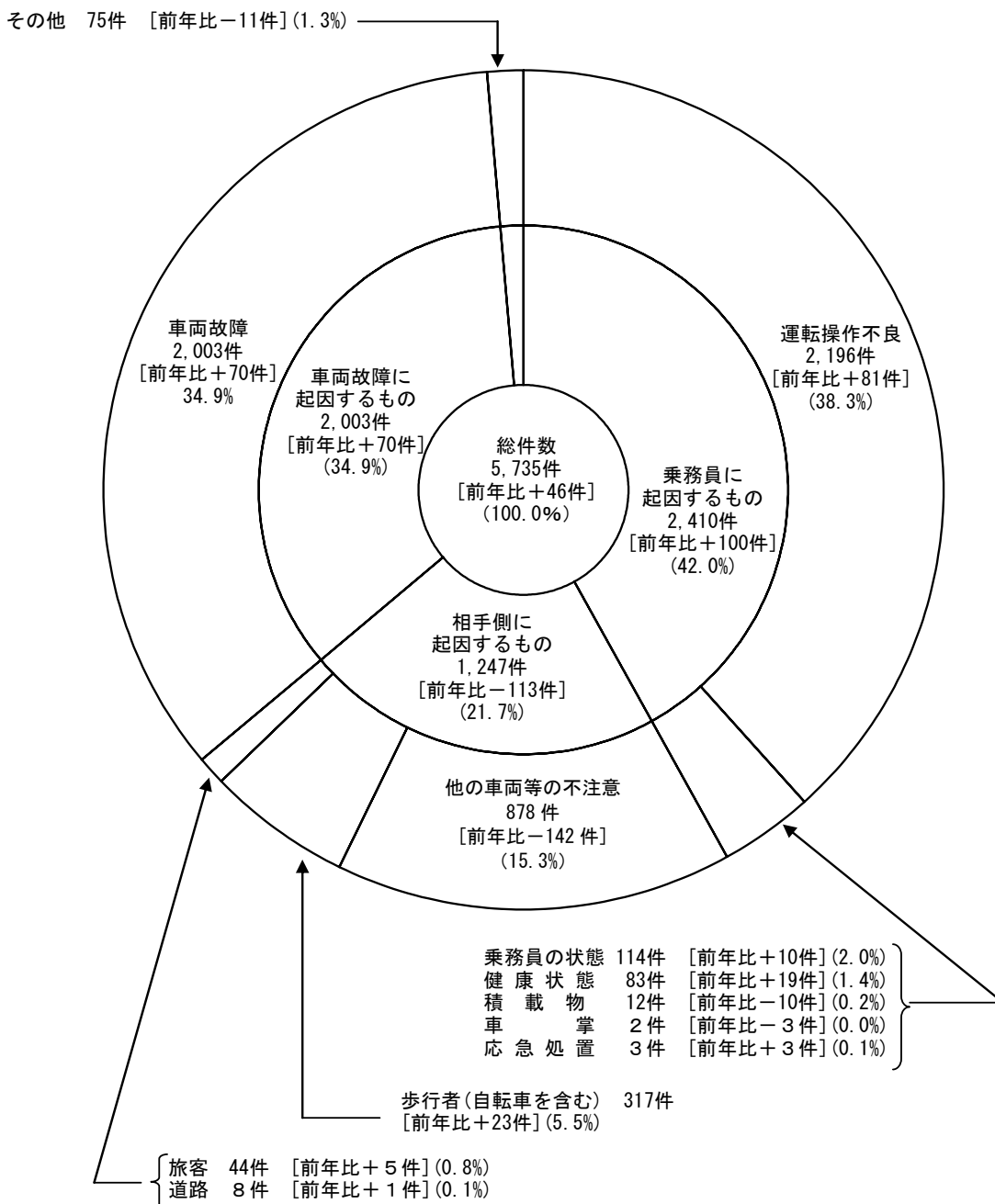
4. 事故原因

(1) 事故原因の大別

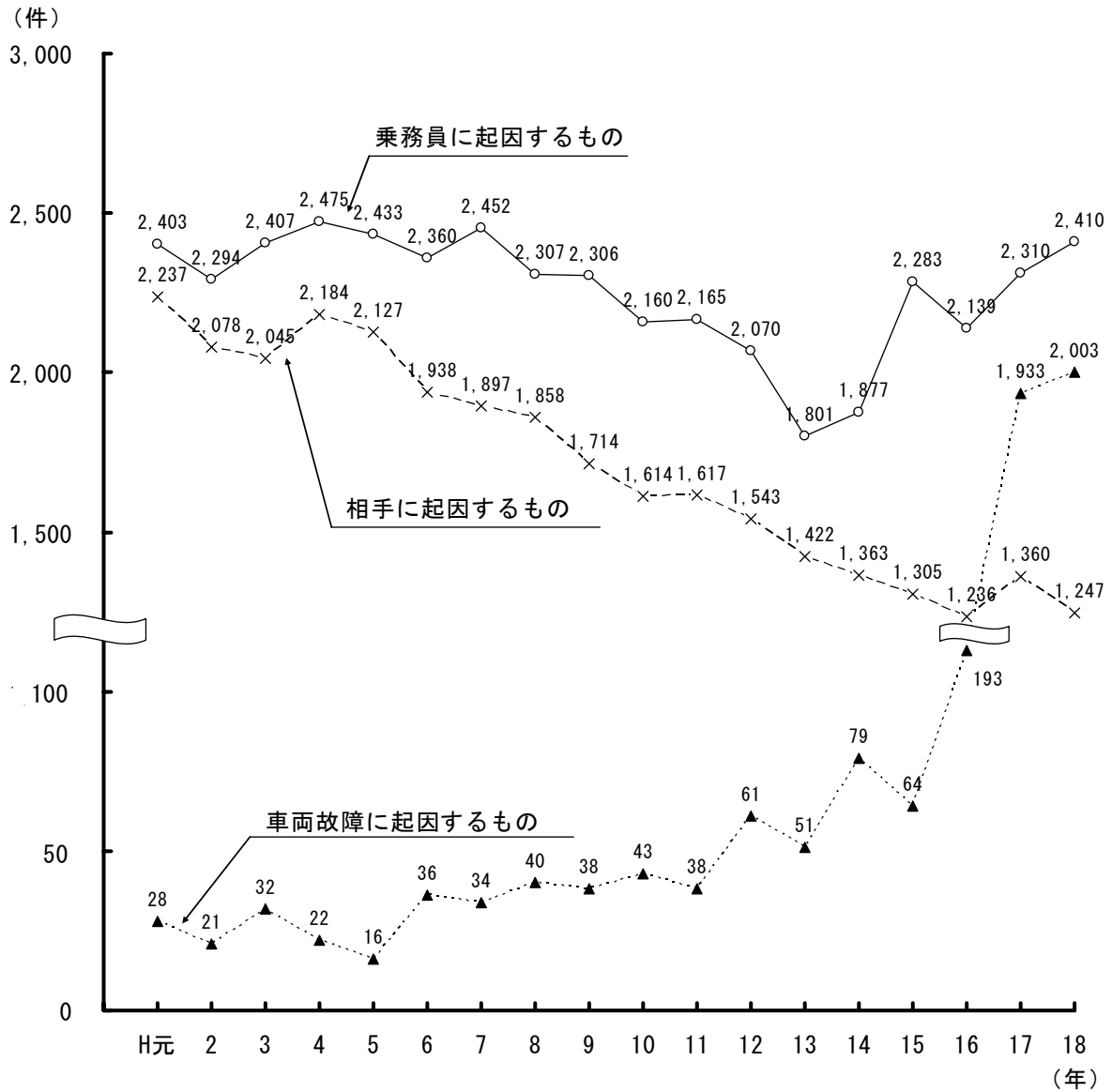
平成18年中の重大事故の発生状況を原因別にみると、図4-1に示すとおりであり、乗務員に起因するものが2,410件(42.0%)で、その多くを占めている。また、乗務員に起因するものの内訳をみると、運転操作不良が2,196件(38.3%)となっており、大部分が運転者の不適切な運転操作によるものと推測できる。

また、原因別重大事故の発生件数の推移は、図4-2に示すとおりである。

〔図4-1〕 原因別重大事故発生状況



〔図4-2〕 原因別重大事故発生件数の推移

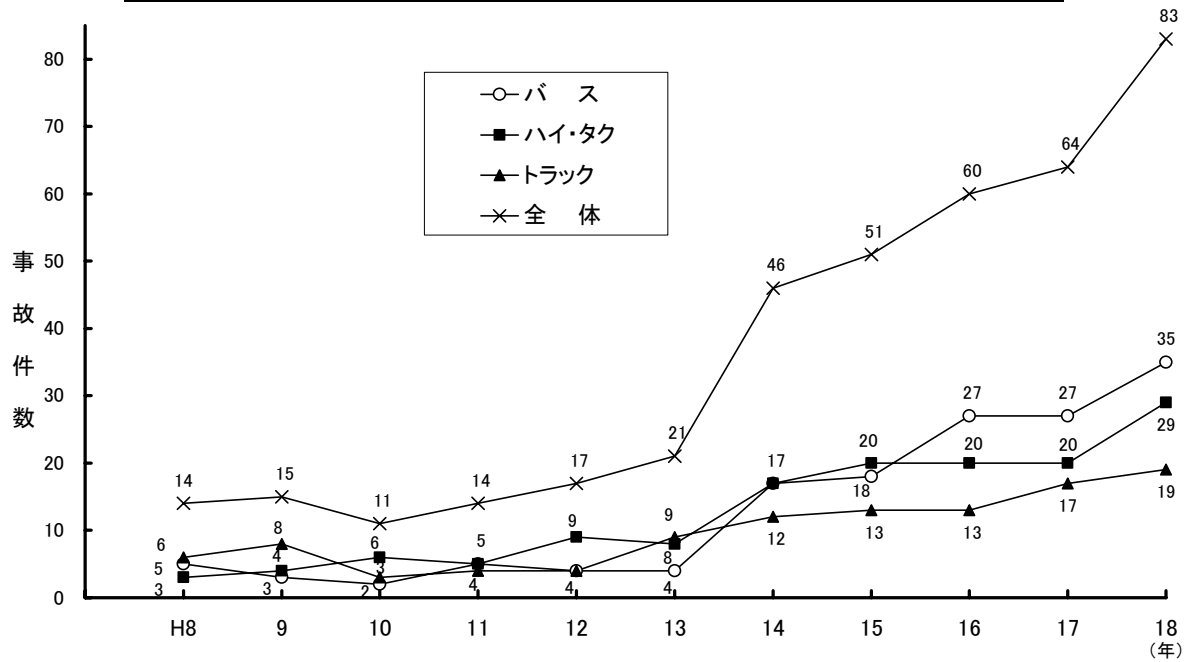


(注) 平成17年2月に事故報告規則が改正され、自動車の装置の故障により運行できなくなったもの(車両故障)に係る報告対象が拡大されている。

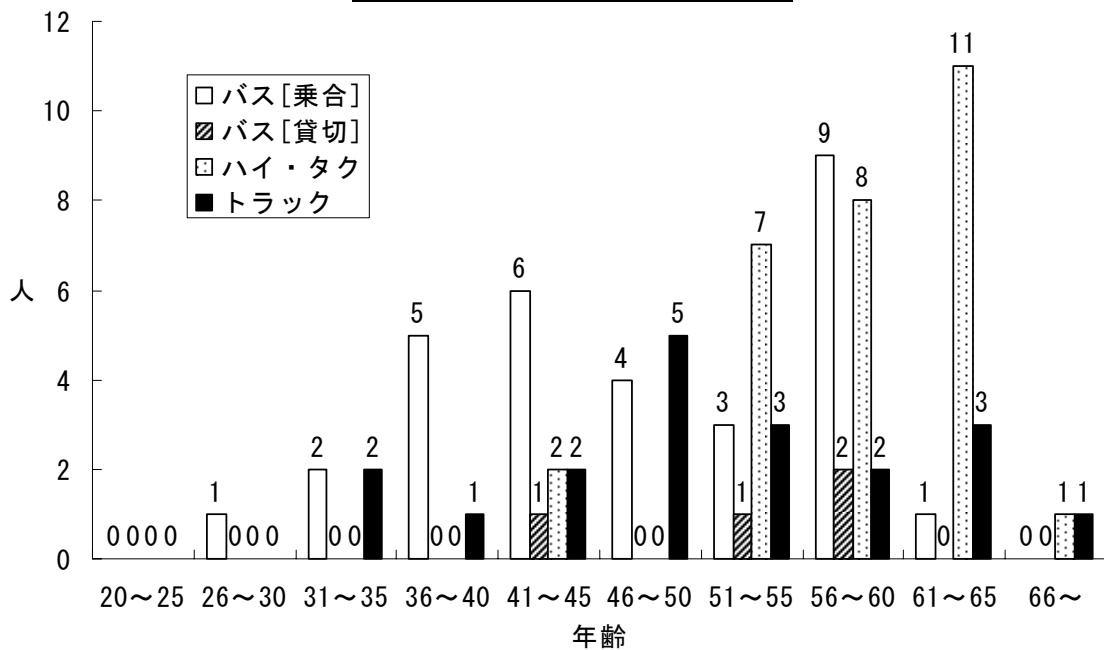
(2) 運転者の健康状態

運転者の健康状態に起因する事故の発生状況の推移及び運転者の年齢分布（平成 18 年中）は、図 4-3 及び図 4-4 に示すとおりである。また、病名別の運転者数は表 4-1 に示すとおりである。

〔図 4-3〕 運転者の健康状態に起因する重大事故の発生状況の推移



〔図 4-4〕 運転者の年齢分布



[表4 - 1] 病名別の運転者数

業態 病名	運転者数					死亡運転者数				
	バス [乗合]	バス [貸切]	ハイ ・ タク	トラ ック	合計	バス [乗合]	バス [貸切]	ハイ ・ タク	トラ ック	合計
くも膜下出血	0	2	5	3	10	0	0	4	2	6
脳 血 栓	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0
脳 (その他)	3	0	5	6	14	0	0	0	2	2
心 筋 梗 塞	2	0	5	2	9	1	0	2	2	5
心臓 (その他)	1	0	5	1	7	1	0	5	1	7
失 神	4	0	2	3	9	0	0	0	0	0
そ の 他	20	2	6	4	32	0	0	3	1	4
計	31	4	29	19	83	2	0	14	8	24

(3) 車両故障に起因する重大事故

車両故障による重大事故の発生状況は、表4-2に示すとおりであり、平成18年中においては2,003件で、全重大事故件数の34.9%となっている。また、死傷状況等は表4-3に、業態別・装置別件数は表4-4に、業態別・事故種類別件数は表4-5及び図4-5に示すとおりである。

[表4-2] 車両故障事故件数の推移

年	総事故件数 (A)	車両故障事故件数 (B)	B/A × 100 (%)
元	4,668	28	0.6
2	4,393	21	0.5
3	4,555	32	0.7
4	4,712	22	0.5
5	4,576	16	0.3
6	4,390	36	0.8
7	4,441	34	0.8
8	4,254	40	0.9
9	4,087	38	0.9
10	3,846	43	1.1
11	3,847	38	1.0
12	3,709	61	1.6
13	3,337	51	1.5
14	3,382	79	2.3
15	3,719	64	1.7
16	3,680	193	5.2
17	5,689	1,933	34.0
18	5,735	2,003	34.9

[表4-3] 車両故障に起因する重大事故発生状況

項 目		内 訳			合計
		バス	ハイ・タク	トラック	
件	数 (件)	1,739	17	247	2,003
死傷状況等	死者数 (人)	0	0	3	3
	重傷者数 (人)	0	0	2	2
	軽傷者数 (人)	6	0	18	24

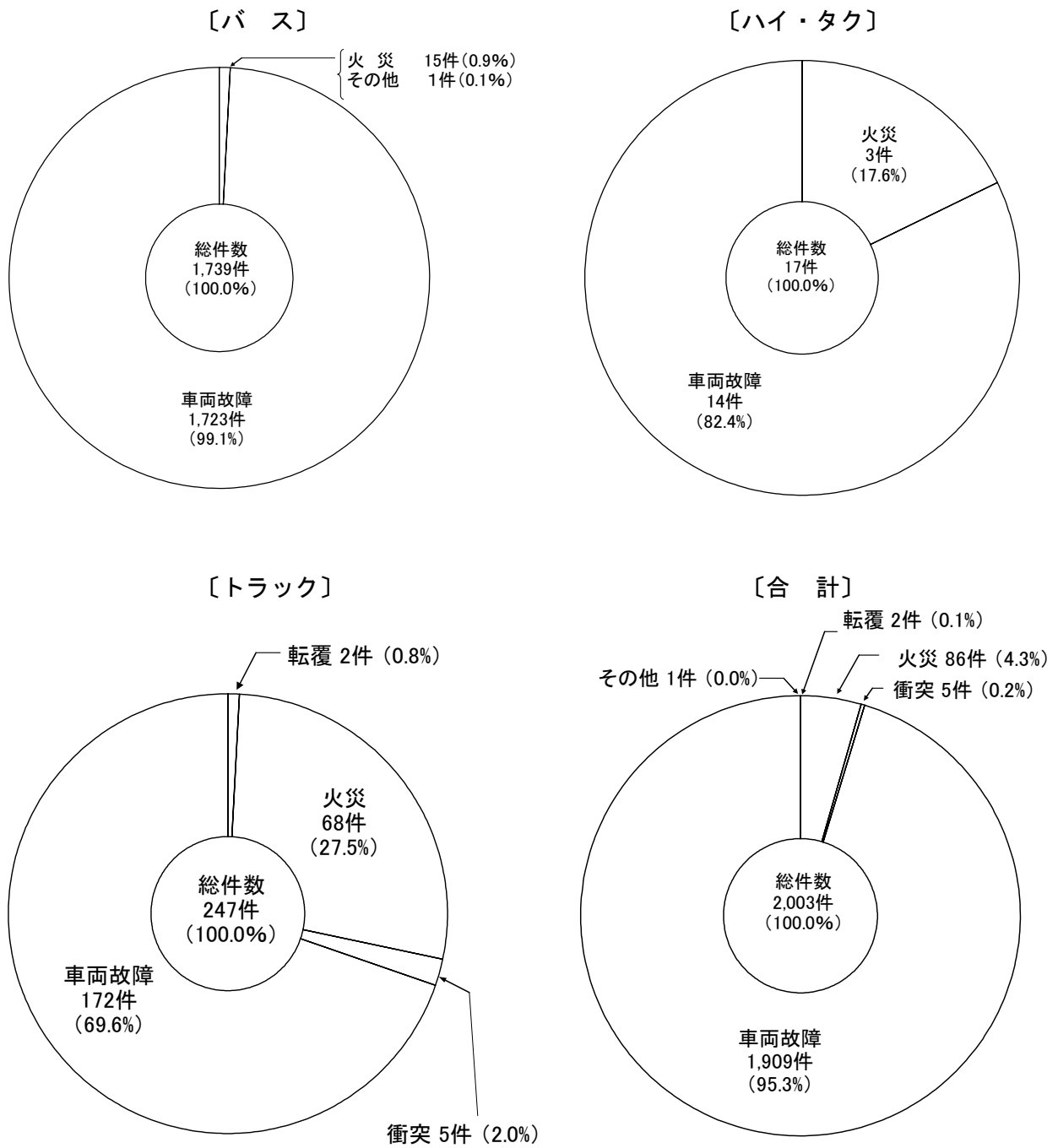
〔表４－４〕 車両故障事故の業態別・装置別件数

装 置 \ 業 態	バス	ハイ・タク	トラック	合計
原 動 機	361	6	40	407
速 度 抑 制 装 置	2	0	1	3
動 力 伝 達 装 置	353	2	28	383
車 輪 (タ イ ヤ 除 く)	6	1	44	51
タ イ ヤ	61	0	24	85
車 軸	8	0	22	30
操 縦 装 置	42	1	4	47
制 動 装 置	101	0	36	137
緩 衝 装 置	40	0	10	50
燃 料 装 置	79	2	5	86
電 気 装 置	401	2	14	417
車 枠 及 び 車 体	17	0	1	18
連 結 装 置	0	0	0	0
乗 車 装 置	29	0	0	29
物 品 積 載 装 置	0	0	1	1
窓 ガ ラ ス	0	0	0	0
騒 音 防 止 装 置	4	0	1	5
ばい煙等の発散防止装置	5	0	1	6
灯火装置及び指示装置	8	0	1	9
反 射 器	0	0	0	0
警 音 器	2	0	0	2
視野を確保する装置	19	0	0	19
計 器	12	0	0	12
消 火 器	0	0	0	0
内圧容器及びその付属装置	47	0	1	48
運 行 記 録 計	1	0	0	1
そ の 他	141	3	13	157
合 計	1,739	17	247	2,003

[表 4-5] 車両故障事故の業態別・事故種類別件数

事故種類 \ 業 態	バス	ハイ・タク	トラック	合計
転 覆	0	0	2	2
転 落	0	0	0	0
路 外 逸 脱	0	0	0	0
火 災	15	3	68	86
踏 切	0	0	0	0
衝 突	0	0	5	5
車 内	0	0	0	0
死 傷	0	0	0	0
車 両 故 障	1,723	14	172	1,909
そ の 他	1	0	0	1
合 計	1,739	17	247	2,003

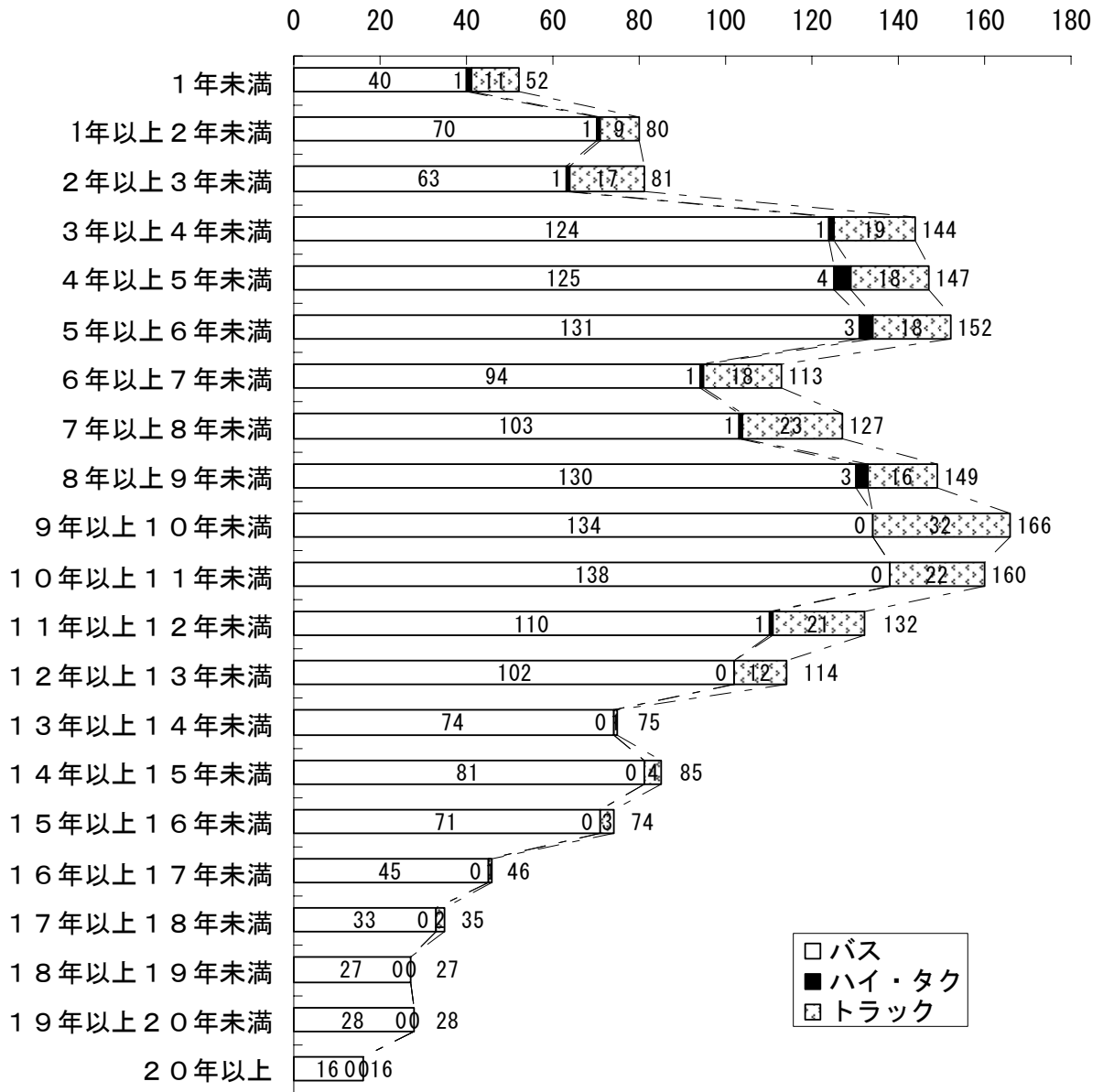
〔図4-5〕 車両故障事故の業態別・事故種類別件数



[表4-6] 初度登録年から車両故障発生までの期間別報告件数

年数	バス	ハイ・タク	トラック	合計
1年未満	40	1	11	52
1年以上2年未満	70	1	9	80
2年以上3年未満	63	1	17	81
3年以上4年未満	124	1	19	144
4年以上5年未満	125	4	18	147
5年以上6年未満	131	3	18	152
6年以上7年未満	94	1	18	113
7年以上8年未満	103	1	23	127
8年以上9年未満	130	3	16	149
9年以上10年未満	134	0	32	166
10年以上11年未満	138	0	22	160
11年以上12年未満	110	1	21	132
12年以上13年未満	102	0	12	114
13年以上14年未満	74	0	1	75
14年以上15年未満	81	0	4	85
15年以上16年未満	71	0	3	74
16年以上17年未満	45	0	1	46
17年以上18年未満	33	0	2	35
18年以上19年未満	27	0	0	27
19年以上20年未満	28	0	0	28
20年以上	16	0	0	16
合計	1,739	17	247	2,003

〔図4-6〕 初度登録年から車両故障発生までの期間別報告件数



(4) 事故種類別重大事故発生状況

(ア) 転覆、転落事故

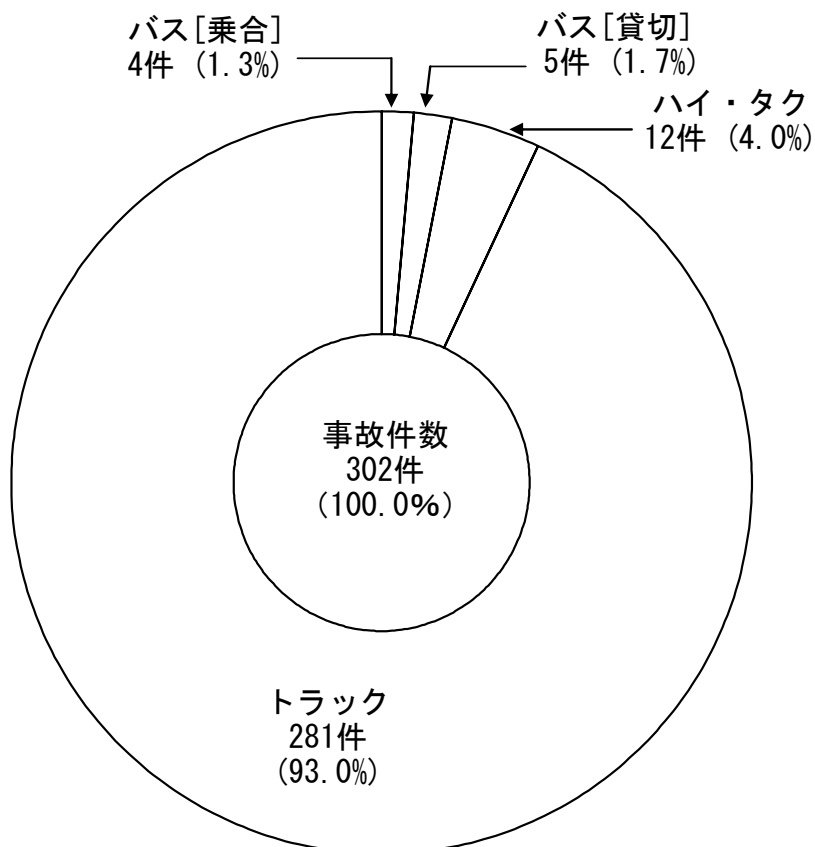
平成 18 年中の転覆、転落の事故発生状況は、表 4-7 に示すとおりであり、事故件数が 302 件、死者数が 32 人及び負傷者数が 206 人となっている。

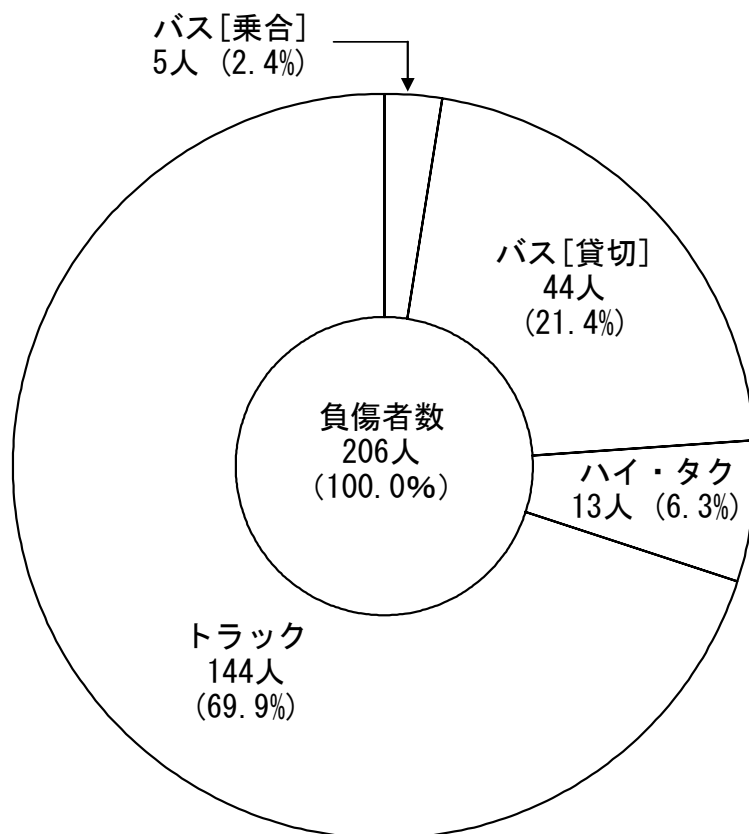
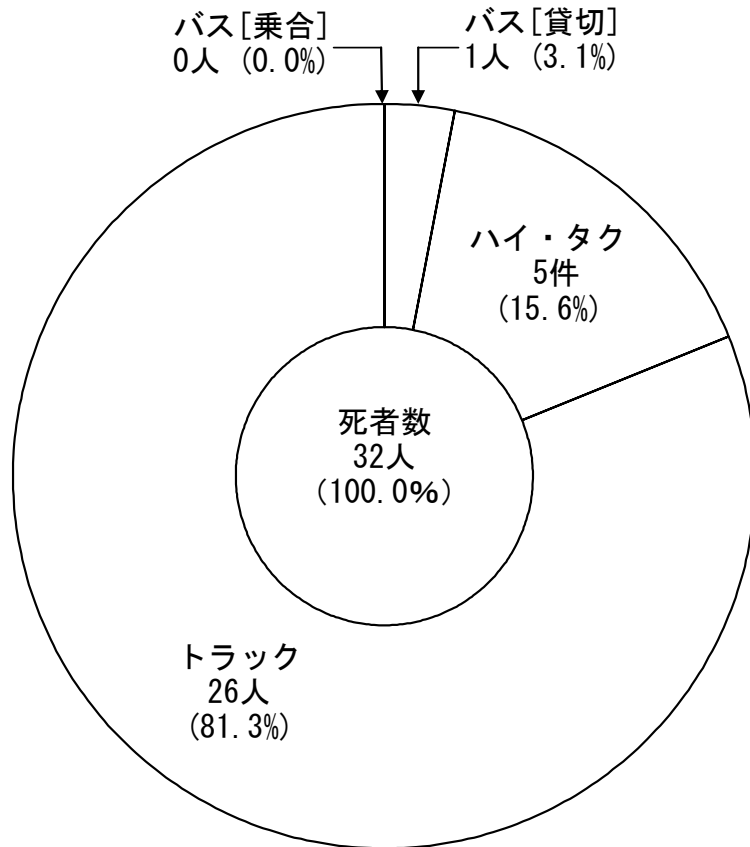
〔表 4-7〕 業態別転覆、転落事故発生状況

事故状況		事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
バス	乗合	4(+2)	0(-3)	5(-33)
	貸切	5(±0)	1(+1)	44(+19)
ハイ・タク		12(-9)	5(+5)	13(-13)
トラック		281(+24)	26(+6)	144(-42)
計		302(+17)	32(+9)	206(-69)

※ () 内は前年比を示す

〔図 4-7〕 事業種類別転覆、転落事故発生状況



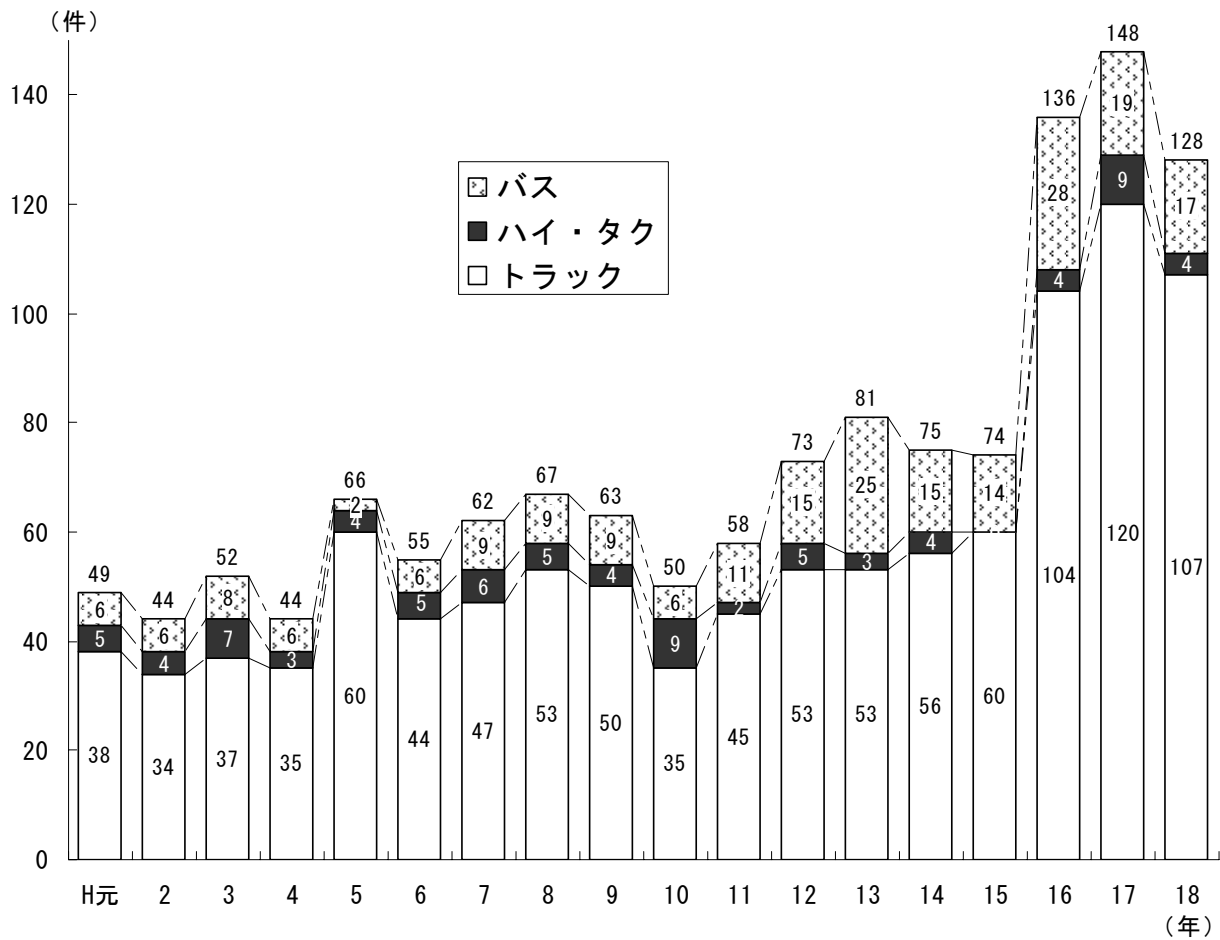


(イ) 火災事故

平成 18 年中の火災事故件数は図 4-8 に示すとおりであり、全業態で 128 件発生しており、その殆どがトラックとなっている。

また、発生原因別の推移は表 4-8 に示すとおりである。

〔図 4-8〕 業態別火災事故発生件数の推移



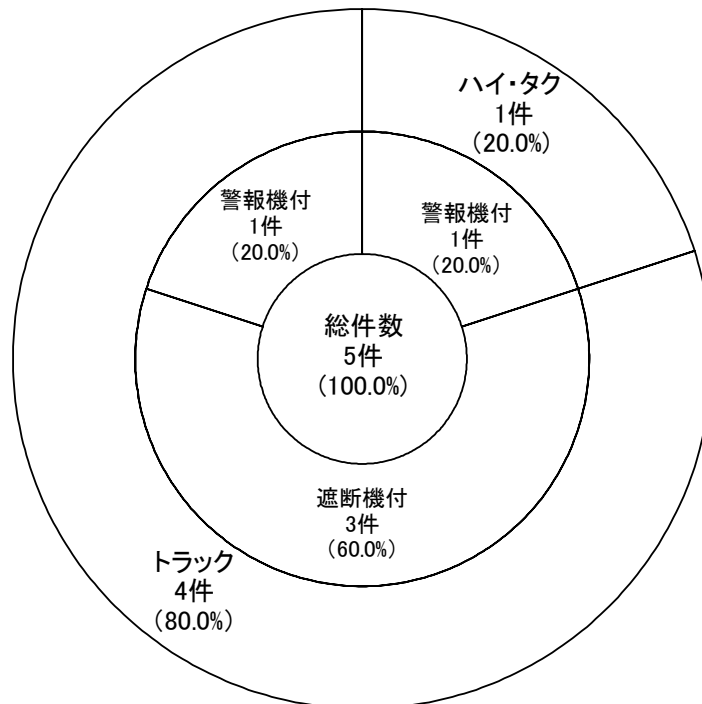
〔表4-8〕 業態別火災事故発生件数の推移

年 原因 業態	8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18	
	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他	車 両	そ の 他
バス	6	3	8	1	5	1	8	3	12	3	22	3	11	4	4	10	19	9	13	6	15	2
ハイ・タク	3	2	0	4	6	3	0	2	3	2	0	3	2	2	0	0	1	3	5	4	3	1
トラック	27	26	21	29	18	17	22	23	30	23	16	37	28	28	23	37	59	33	73	47	68	39
計	36	31	29	34	29	21	30	28	45	28	38	43	41	34	27	47	79	45	91	57	86	42

(ウ) 踏切事故

平成18年中の踏切事故件数は図4-9に示すとおり5件発生しており、うち4件がトラックによるものである。

〔図4-9〕 踏切種類別、業態別踏切事故発生状況



(エ) 衝突事故

平成 18 年中の衝突事故件数は表 4-9 に示すとおりであり全業態で 1,791 件発生し、全重大事故件数の 31.2% で最も多く、その業態別内訳は、トラックが 1,292 件で 72.1% を占めている。

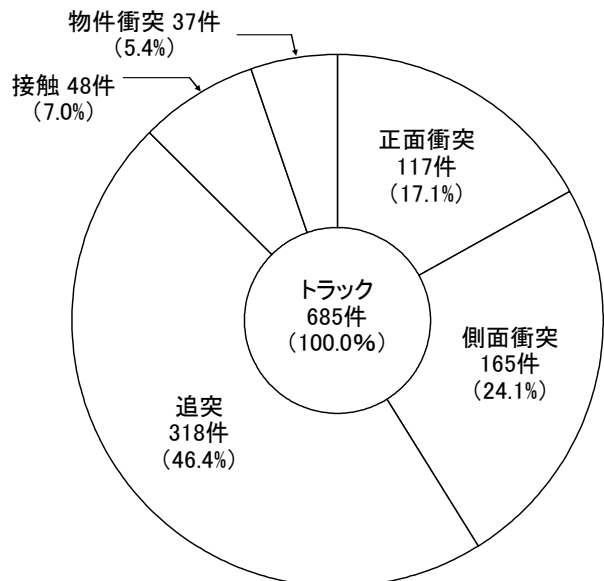
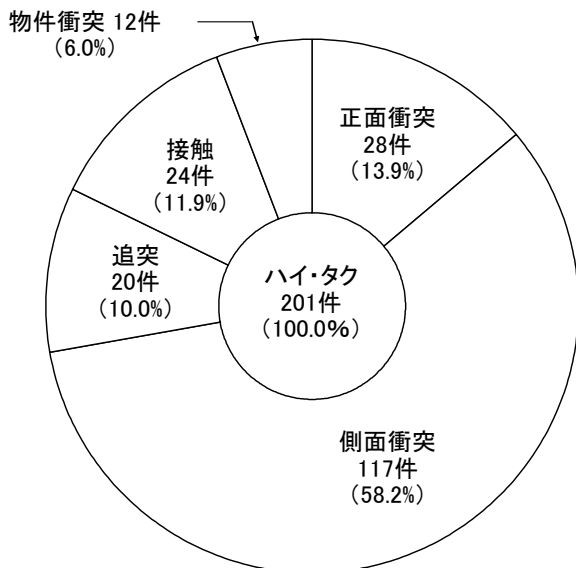
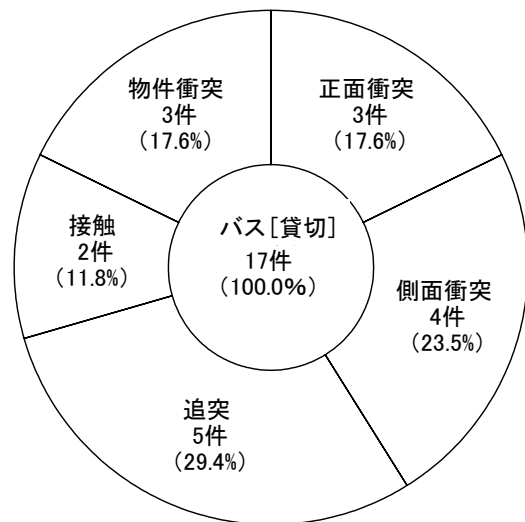
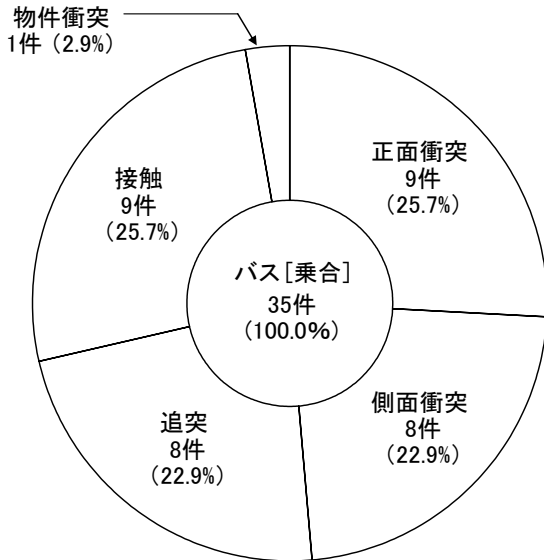
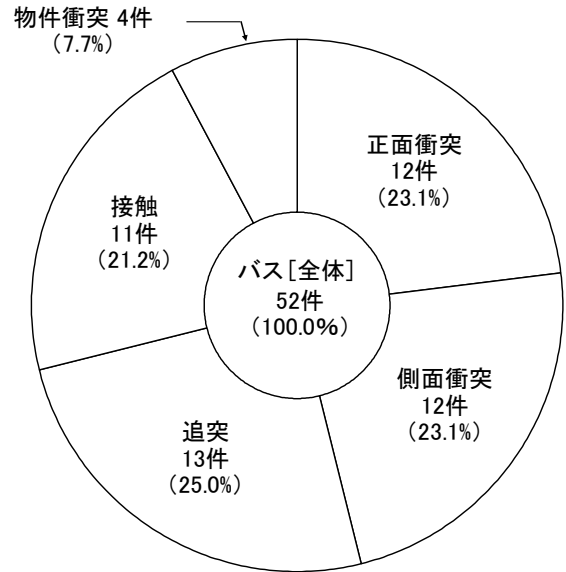
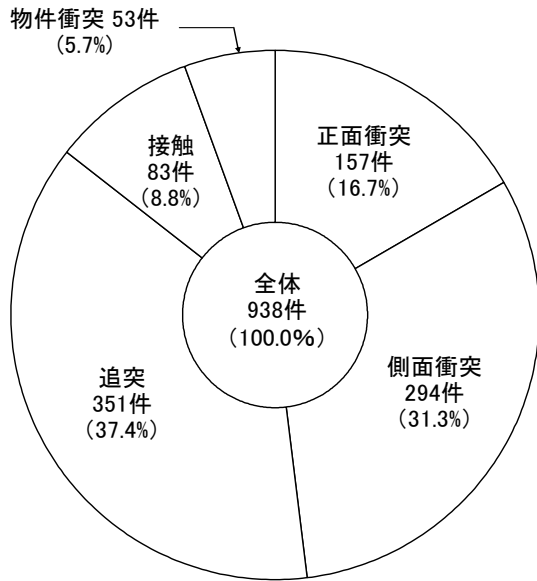
乗務員に起因する衝突事故 938 件について、業態別に衝突の状態別の発生状況を見ると、図 4-10 のとおりであり、バスにおいては、乗合が正面衝突と接触が同数で物件衝突を除いた 4 種類の事故がほぼ均等に分散している。一方貸切は、差はわずかながら追突が最も多く、次いで側面衝突の順となっており走行形態の違いが現れている。また、トラックにおいては、追突による事故が、ハイ・タクにおいては側面衝突による事故が他を圧倒して多く、それぞれ特有の傾向を示している。

[表 4-9] 業態別衝突事故件数

業態別		件数	構成比 (%)
バス	乗 合	121 (-11)	6.8
	貸 切	43 (-23)	2.4
	特 定	1 (-2)	0.1
ハイ・タク		334 (-22)	18.6
トラック		1,292 (-18)	72.1
計		1,791 (-76)	100.0

※ () 内は前年比を示す

〔図4-10〕 業態別、衝突の状態別衝突事故発生状況（乗務員に起因するもの）



(オ) 死傷事故

平成 18 年中の死傷事故件数は 1,070 件で全重大事故件数の 18.7%となっており、これは車両故障、衝突に次いで 3 番目に多い件数である。業態別の発生件数は、表 4-10 のとおり、バス 127 件、ハイ・タク 339 件、トラック 604 件となっている。

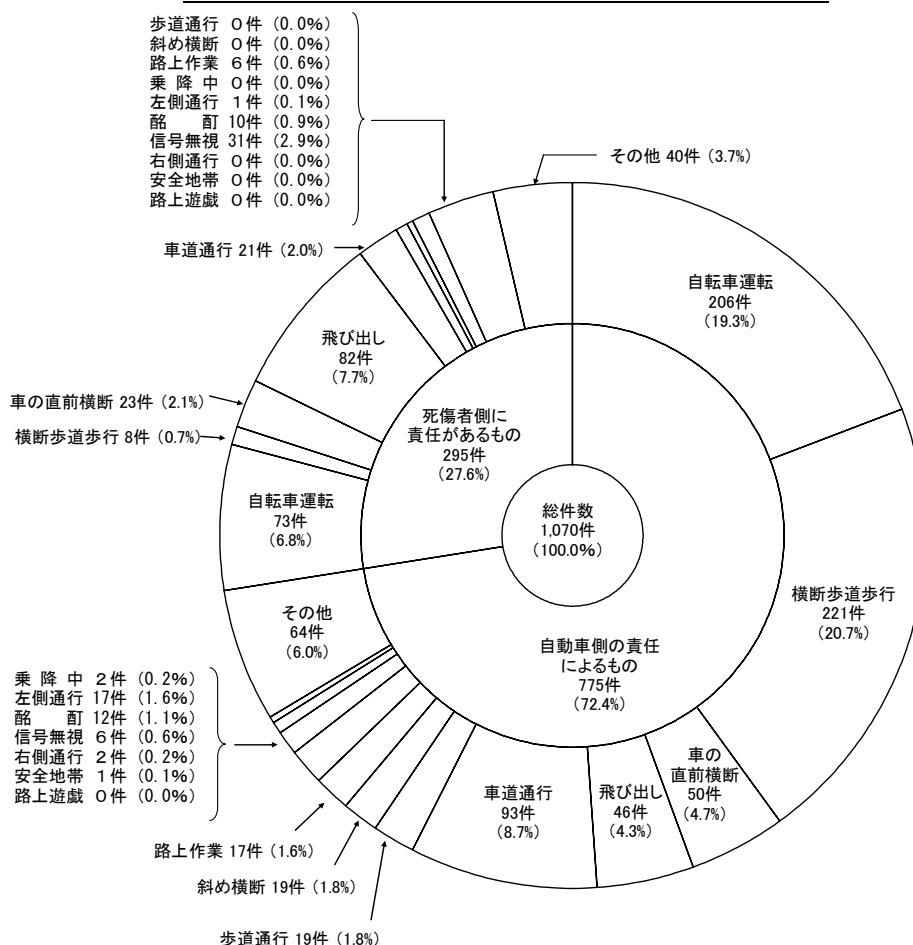
その発生状況は図 4-11 のとおりであり、自動車側の責任による事故が全体の 72.4%あり、このうち、死傷者側が横断歩道歩行中の場合が最も多く、次に自転車運転中、車道通行中の順となっている。

〔表 4-10〕 業態別死傷事故件数

業態別		件数	構成比 (%)
バス	乗 合	105 (+9)	9.8
	貸 切	21 (+1)	2.0
	特 定	1 (+1)	0.1
ハイ・タク		339 (+20)	31.7
トラック		604 (+3)	56.4
計		1,070 (+34)	100.0

※ () 内は前年比を示す

〔図 4-11〕 死傷事故当時の死傷者側の状態

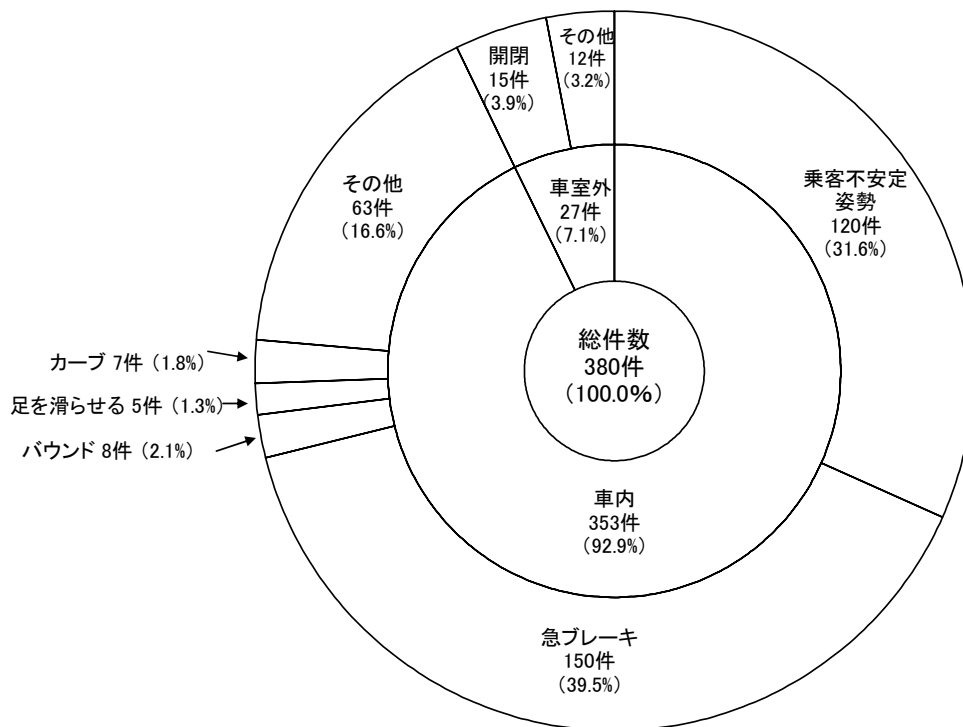


(カ) 車内事故

平成 18 年中の車内事故件数は、バス及びハイ・タクで 380 件発生しており、全重大事故件数の 6.6%となっている。

また、車内事故（乗降中の乗客を含む。）の原因別発生状況は、図 4-12 のとおりであり、そのうち 353 件（92.9%）は車内で生じたものである。また、原因についてみると急ブレーキが 150 件（39.5%）で最も多く、次いで乗客の不安定姿勢が 120 件（31.6%）の順となっている。

〔図 4-12〕 バス及びハイ・タクの車内事故の原因別重大事故発生状況

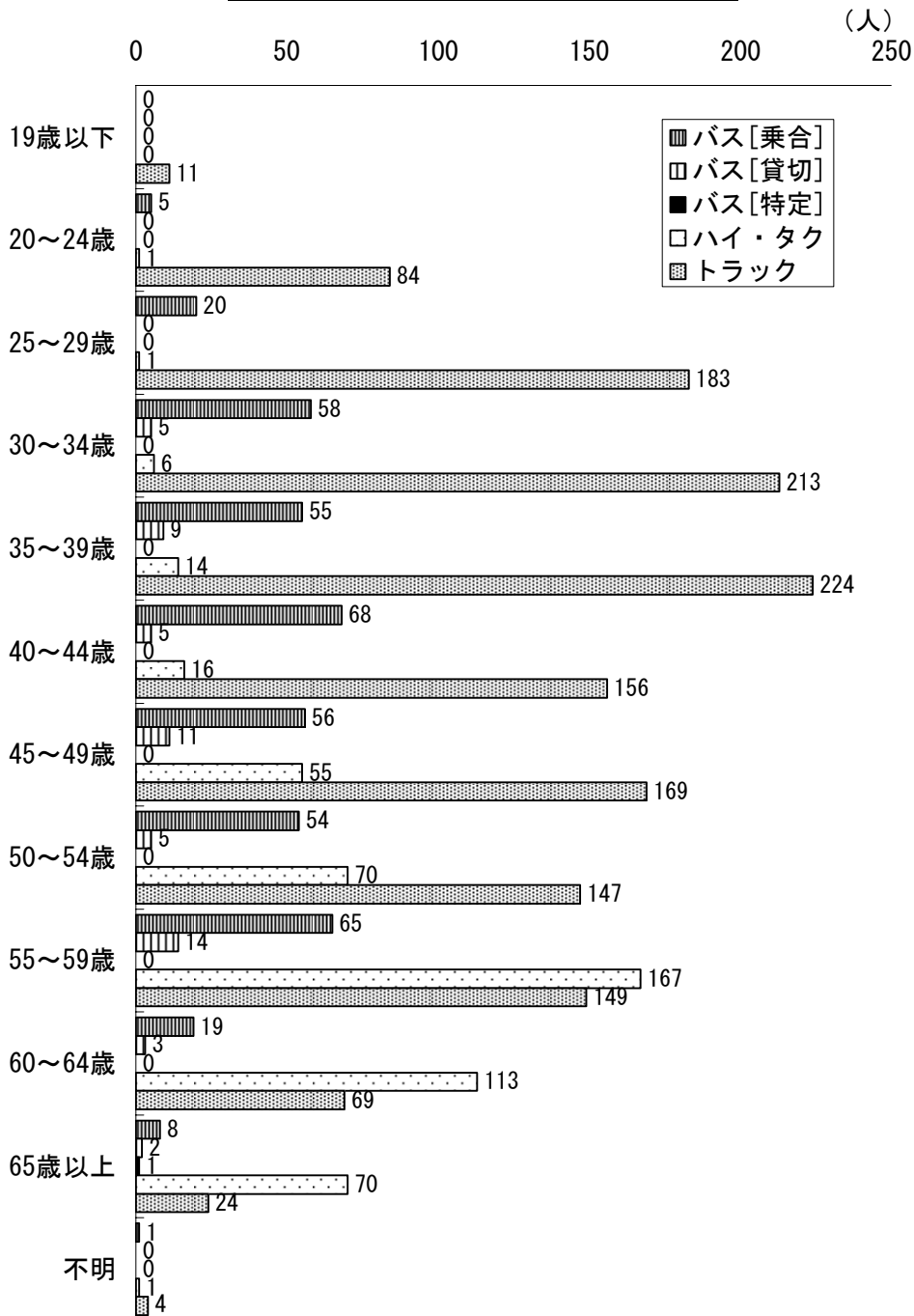


5. 事故発生運転者

(1) 事故発生運転者の年齢

事故発生運転者の年齢分布（平成 18 年中）は、図 5-1 に示すとおりであり、バスは 30～50 歳代に広く分布しているのに対し、ハイ・タクは 50 歳代後半から 60 歳代に多く、トラックは 20 歳代後半から 30 歳代の事故発生者が多いといった、業態別の特徴が見受けられる。

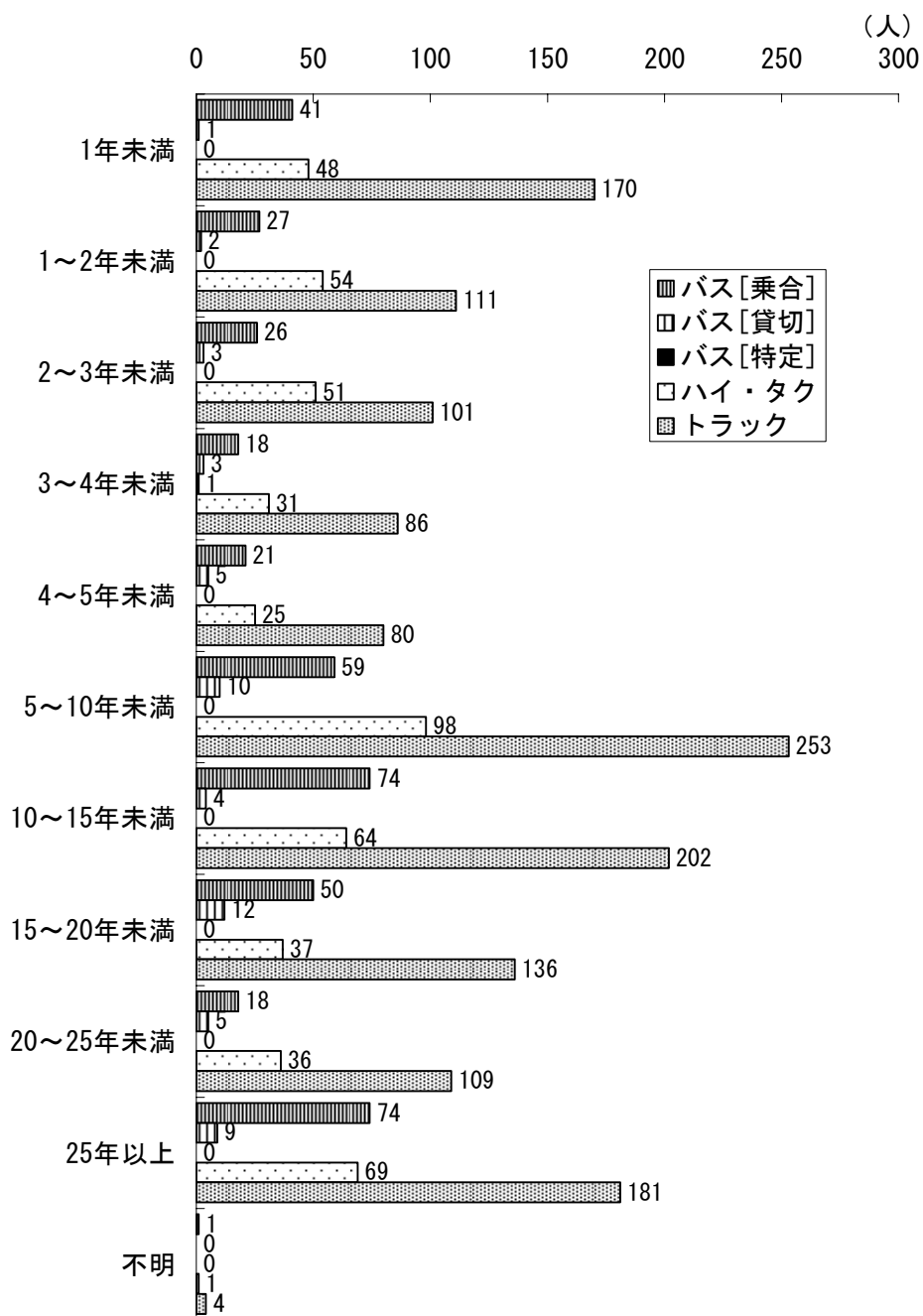
〔図 5-1〕 事故発生運転者の年齢分布



(2) 事故発生運転者の経験年数

事故発生運転者の経験年数分布は、図5-2に示すとおりであり、バス、トラックについては1年未満の運転者数が最も多く、経験年数が増えるごとに減る傾向にあるが、ハイ・タクについては経験年数3年未満がそれぞれほぼ同数であり、バス、トラックとは若干異なる傾向を示している。

〔図5-2〕 事故発生運転者の経験年数分布

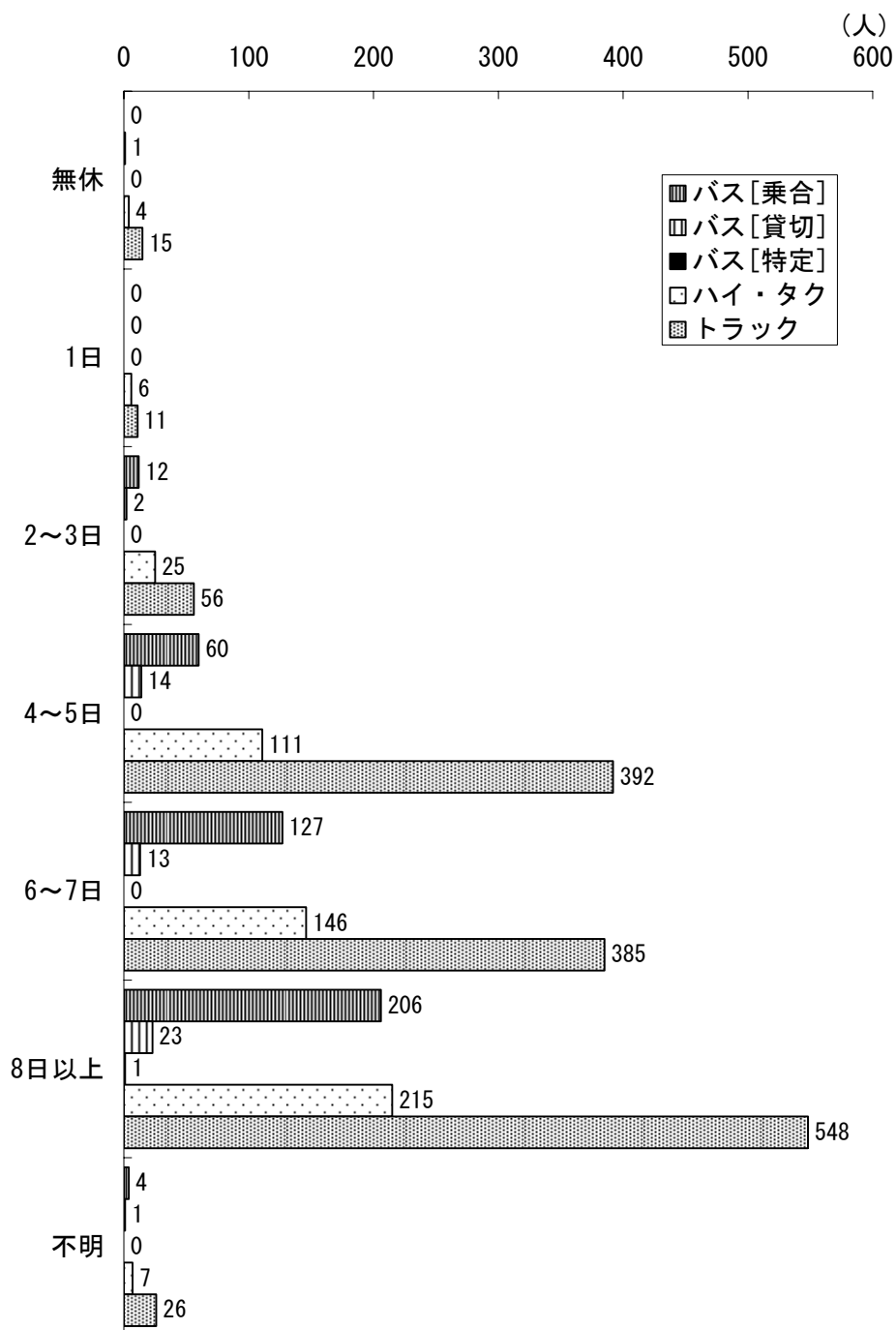


(3) 事故発生運転者の勤務状況

(ア) 事故発生以前1ヶ月間の休日日数

運転者の事故発生以前1ヶ月間の休日日数は、図5-3に示すとおりであり、いずれの業態も4日以上が圧倒的に多い。

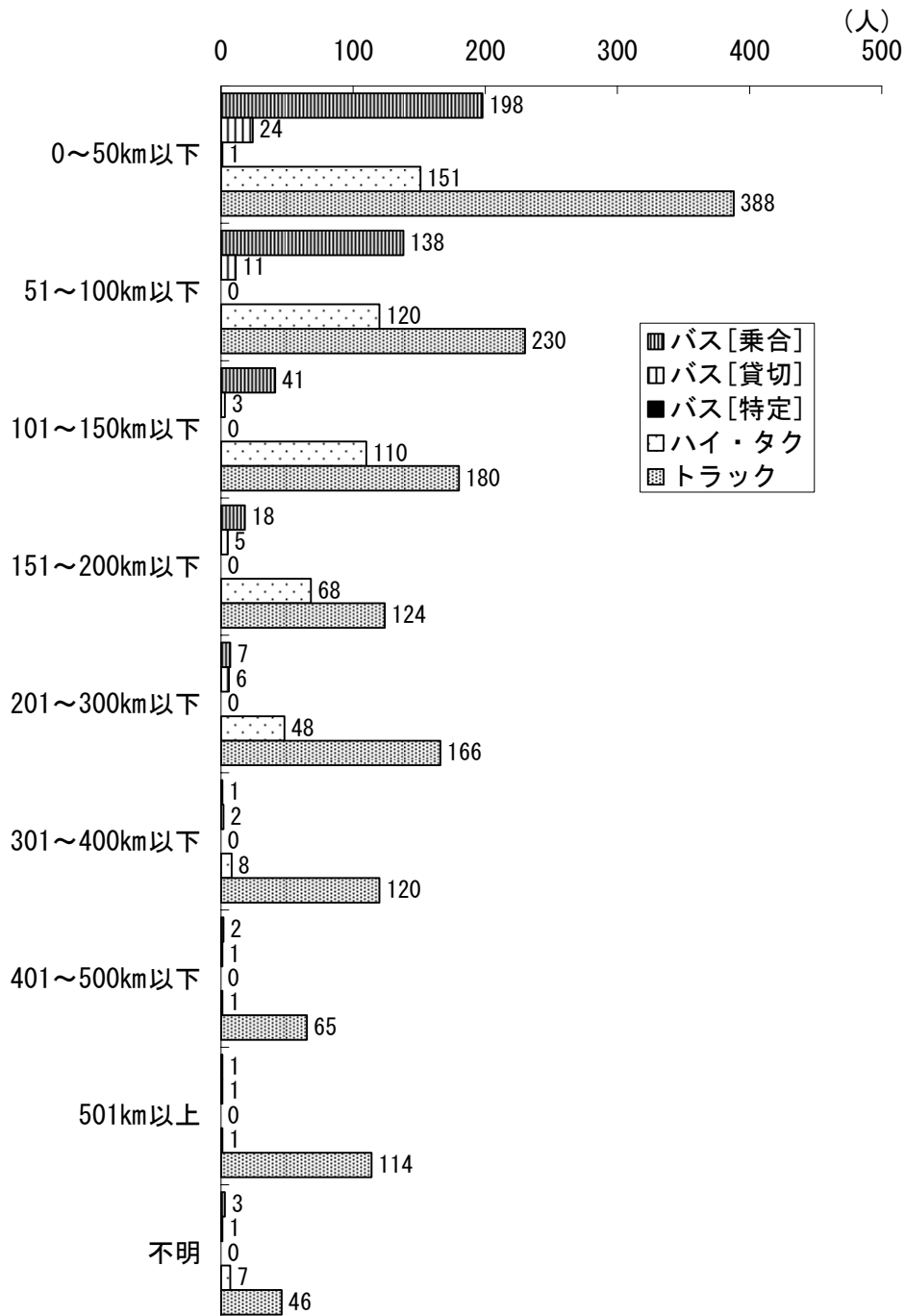
〔図5-3〕 事故発生以前1ヶ月間の休日日数の分布



(イ) 事故発生までの乗務距離

運転者の事故発生までの乗務距離は、図5-4に示すとおりであり、バス、ハイ・タクは比較的短距離が多いが、トラックは短距離から長距離まで幅広く分布している。

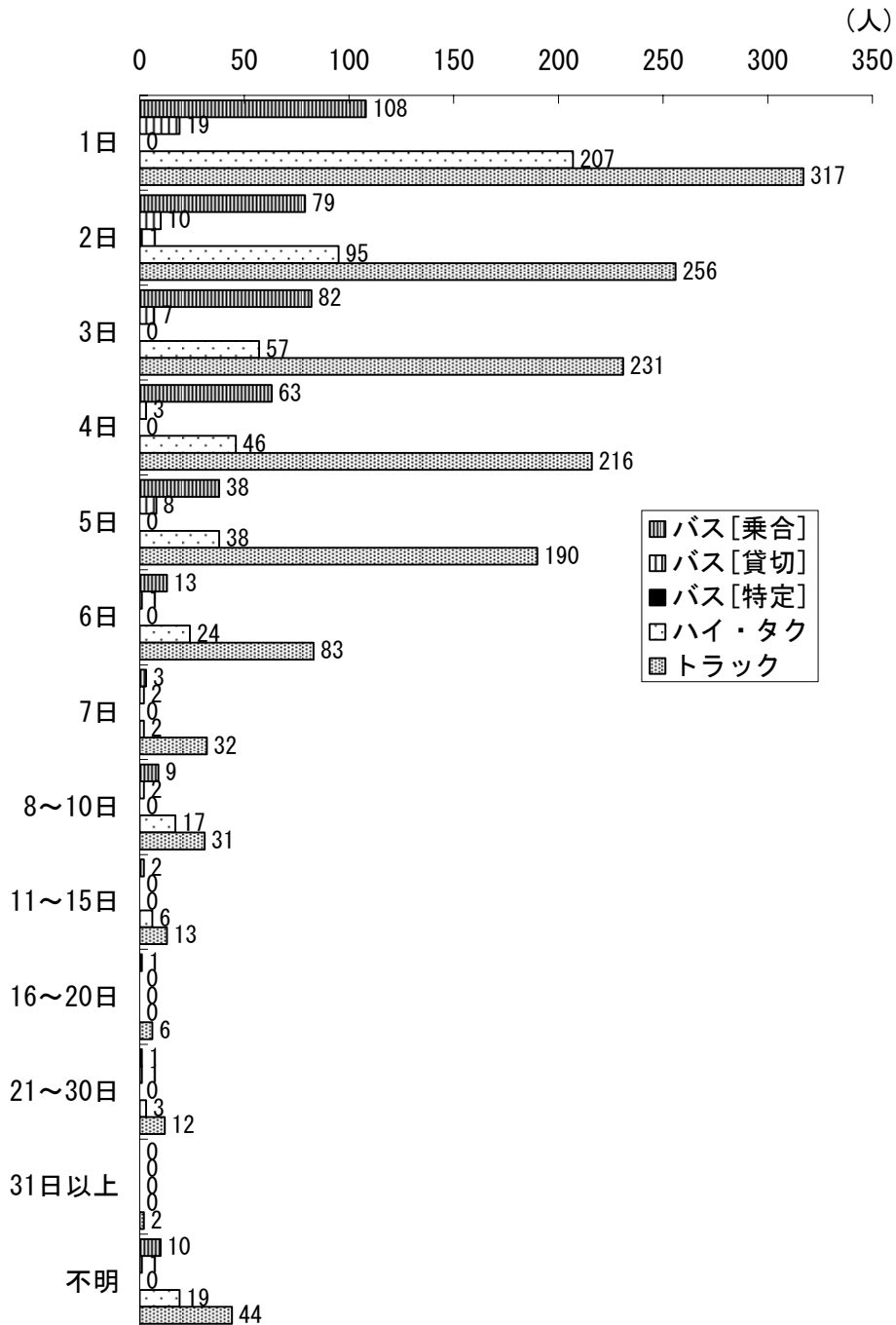
〔図5-4〕 事故発生までの乗務距離の分布



(ウ) 休日から事故までの勤務日数

運転者の休日から事故までの勤務日数は、図5-5に示すとおりであり、いずれの業態も休日後1日目に事故を起こす運転者が最も多く、以降減少する傾向にある。

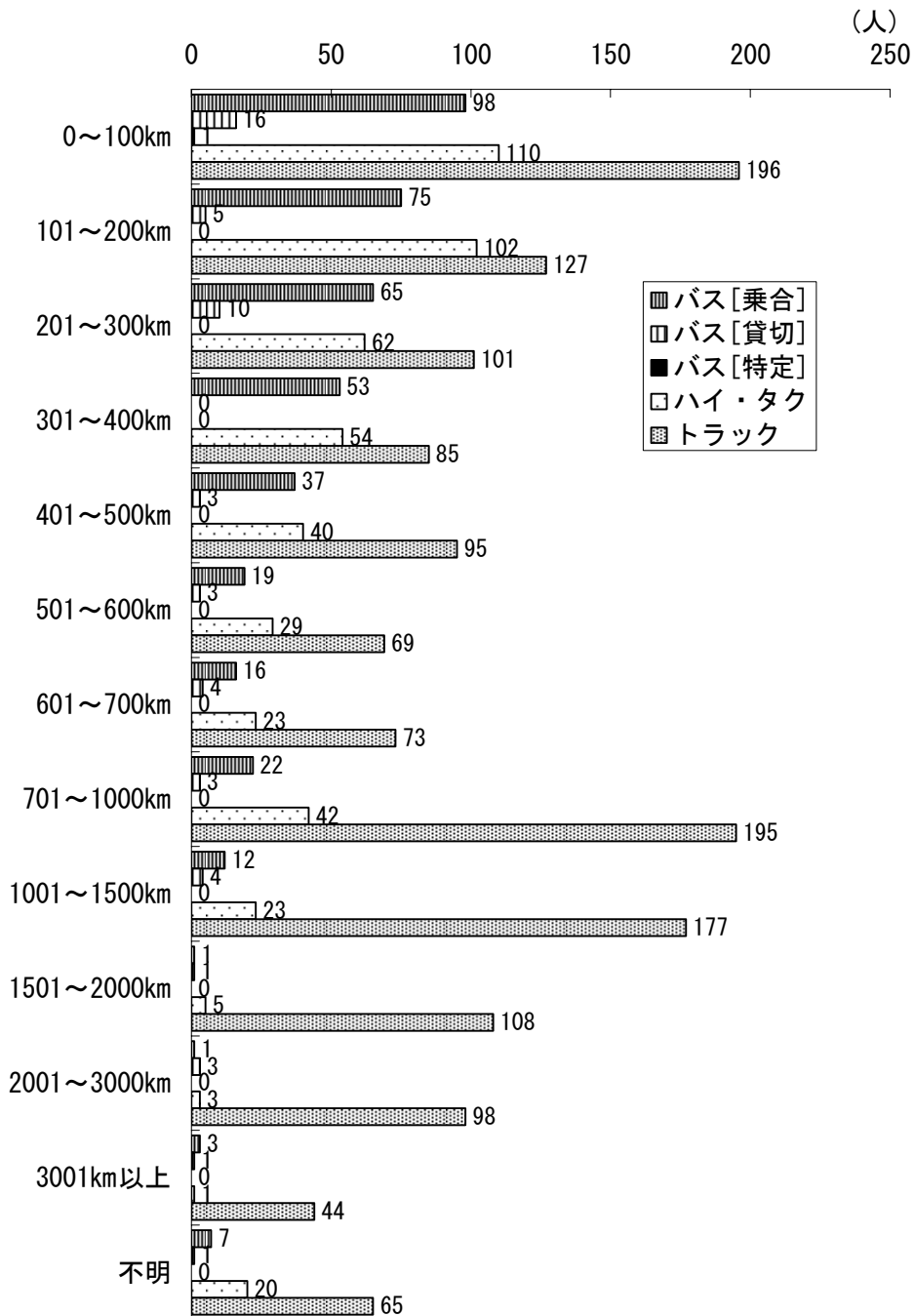
〔図5-5〕 休日から事故までの勤務日数の分布



(エ) 休日から事故日までの乗務距離の合計

運転者の休日から事故日までの乗務距離の合計は、図5-6に示すとおりであり、バス、ハイ・タクは比較的短距離が多いが、トラックは短距離から長距離まで幅広く分布している。

〔図5-6〕 休日から事故日までの乗務距離の合計の分布

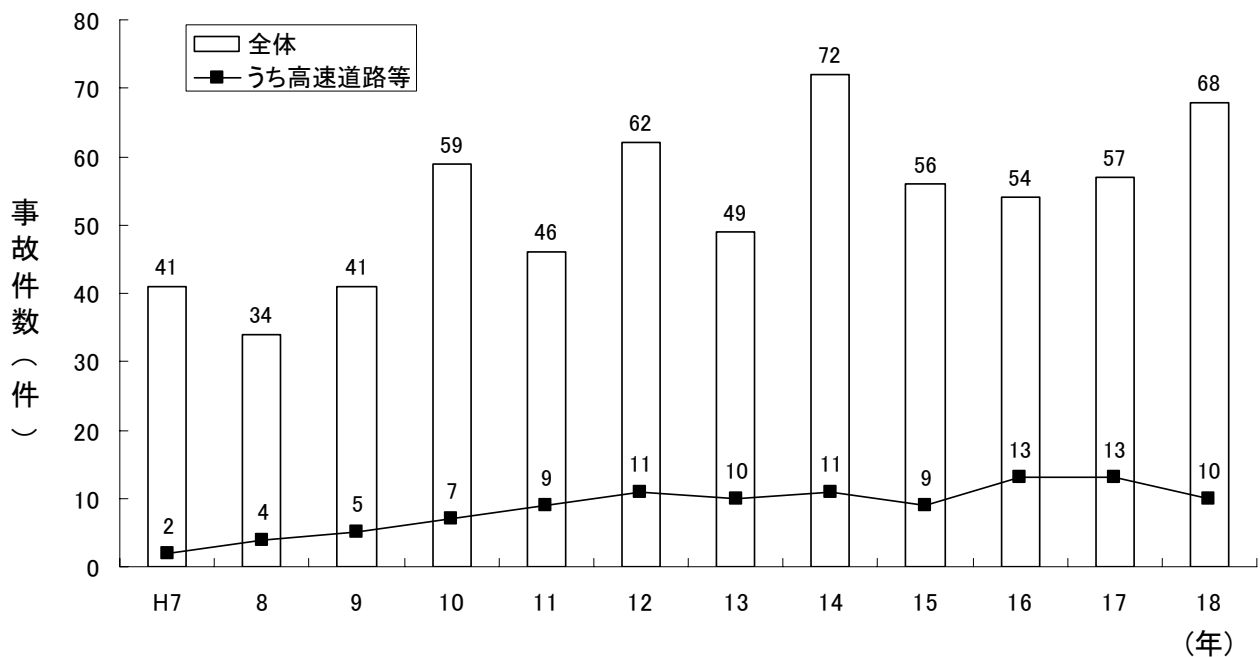


6. 危険物等積載車両の重大事故

(1) 危険物等積載車両の重大事故発生状況の推移

事業用自動車の危険物運搬車両の重大事故発生状況の推移は図6-1に示すとおりであり、平成18年中の事業用自動車の重大事故のうち危険物等積載車両によるものは68件で、重大事故件数の1.2%を占めている。また、このうち高速道路等においては10件で、高速道路等における重大事故件数の1.2%を占めている。

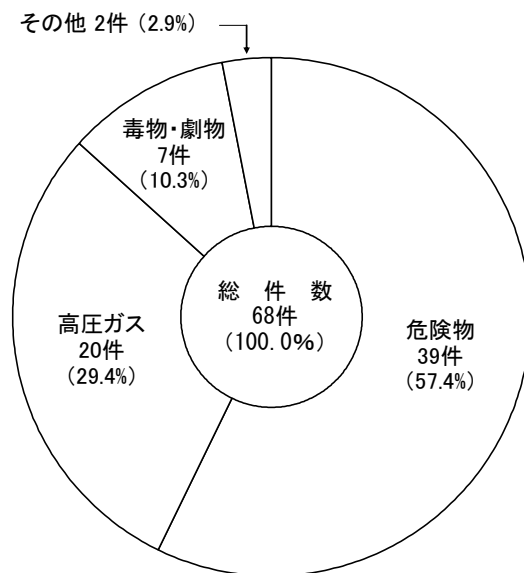
〔図6-1〕 危険物等積載運搬車両の重大事故発生状況の推移



(2) 積載物品別重大事故

積載物品別重大事故発生状況は、図6-2のとおりであり、危険物が39件で57.4%を占めている。

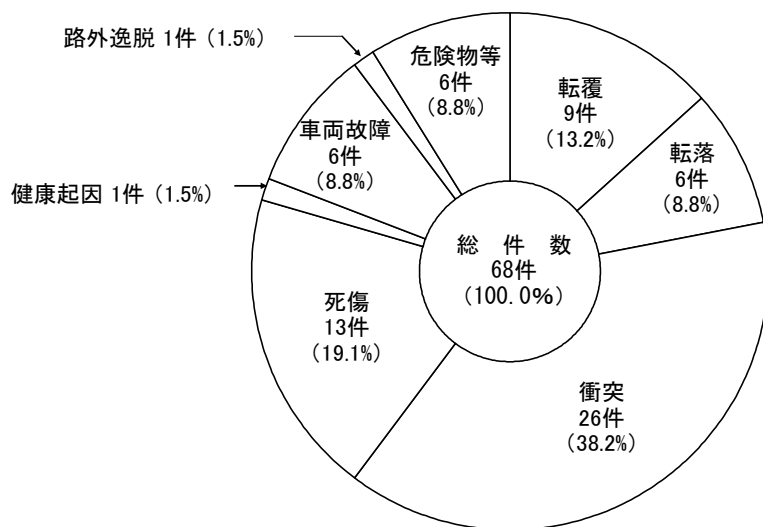
〔図6-2〕 積載危険物等別重大事故発生状況



(3) 事故種別別重大事故

事故種別別重大事故発生状況は、図6-3のとおりであり、衝突が26件と最も多く、次いで死傷13件、転覆9件となっている。

〔図6-3〕 事故種別別重大事故発生状況



7. 高速道路等における重大事故発生状況

平成 18 年中の高速自動車国道及び自動車専用道路等における重大事故発生状況は表 7-1 に示すとおりであり、全業態で 852 件発生し、全重大事故件数の 14.9% を占めている。

〔表 7-1〕 業態別高速道路等における重大事故発生状況

項 目		業態	バス			
			乗合		貸切	
		道路	高速	専用	高速	専用
重大事故件数		(件)	196	46	84	11
死傷状況等	死者数	(人)	0(0)	1(0)	1(1)	1(0)
	重傷者数	(人)	6(2)	3(0)	7(7)	1(0)
	軽傷者数	(人)	13(13)	9(8)	102(97)	0(0)
	計	(人)	19(15)	13(8)	110(105)	2(0)

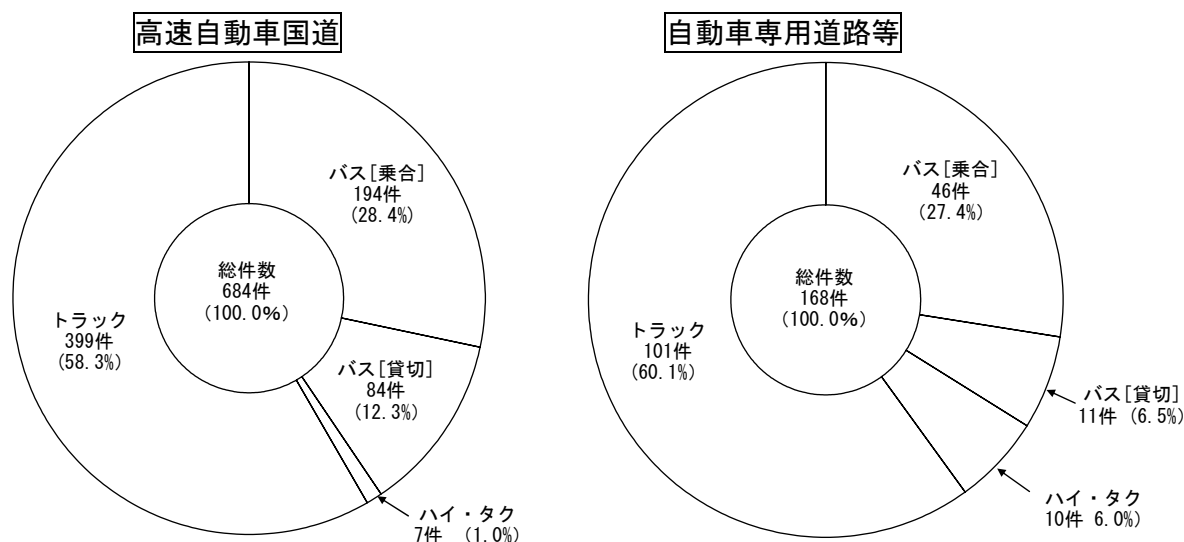
項 目		業態	ハイ・タク		トラック		計		合計
			高速	専用	高速	専用	高速	専用	
重大事故件数		(件)	7	10	399	101	684	168	852
死傷状況等	死者数	(人)	0(0)	3(1)	147	34	148(1)	39(1)	187(2)
	重傷者数	(人)	2(0)	5(2)	165	34	180(9)	43(2)	223(11)
	軽傷者数	(人)	4(3)	6(3)	341	43	460(113)	58(11)	518(124)
	計	(人)	6(3)	14(6)	653	111	788(123)	140(14)	928(137)

(注) 死傷状況等における () 内数値は、乗客が死傷した人数を示す。

(1) 業態別重大事故件数

高速自動車国道及び自動車専用道路等における業態別重大事故件数は図7-1に示すとおりであり、比較的利用率の多いトラック、バスが大部分を占めている。

〔図7-1〕 業態別重大事故件数



(2) 事故種別別重大事故発生状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における事故種別別重大事故発生状況は図7-2に示すとおりであり、高速自動車国道においては314件(45.9%)、自動車専用道路等においては59件(35.1%)と、いずれも車両故障が最も多く発生している。

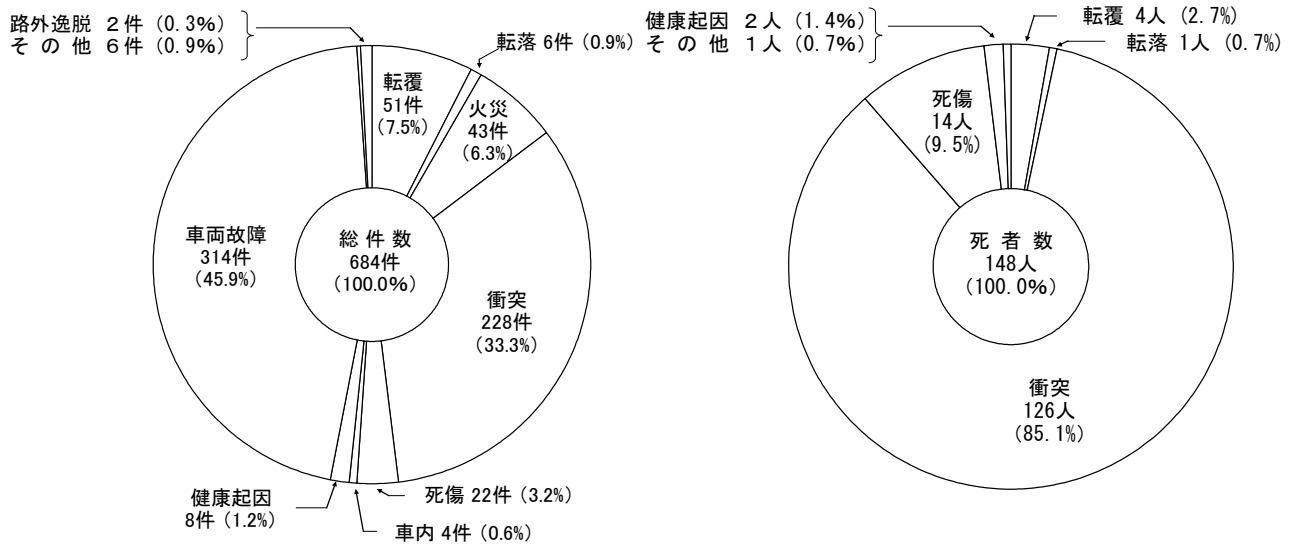
〔表7-2〕 事故種別別重大事故発生状況

項目 事故種別	高速自動車国道				自動車専用道路等			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
転覆	51	4(1)	8(0)	33(7)	26	0(0)	3(0)	10(0)
転落	6	1(0)	1(0)	5(0)	1	0(0)	0(0)	0(0)
火災	43	0(0)	0(0)	2(0)	11	0(0)	0(0)	1(0)
衝突	228	126(0)	155(7)	377(79)	50	25(1)	36(2)	38(3)
死傷	22	14(0)	12(0)	4(2)	13	12(0)	4(0)	0(0)
車内	4	0(0)	2(2)	21(21)	3	0(0)	0(0)	6(6)
健康起因	8	2(0)	1(0)	1(0)	5	2(0)	0(0)	3(2)
車両故障	314	0(0)	0(0)	15(4)	59	0(0)	0(0)	0(0)
路外逸脱	2	0(0)	1(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
危険物等	0	0(0)	0(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
その他	6	1(0)	0(0)	2(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
計	684	148(1)	180(9)	460(113)	168	39(1)	43(2)	58(11)

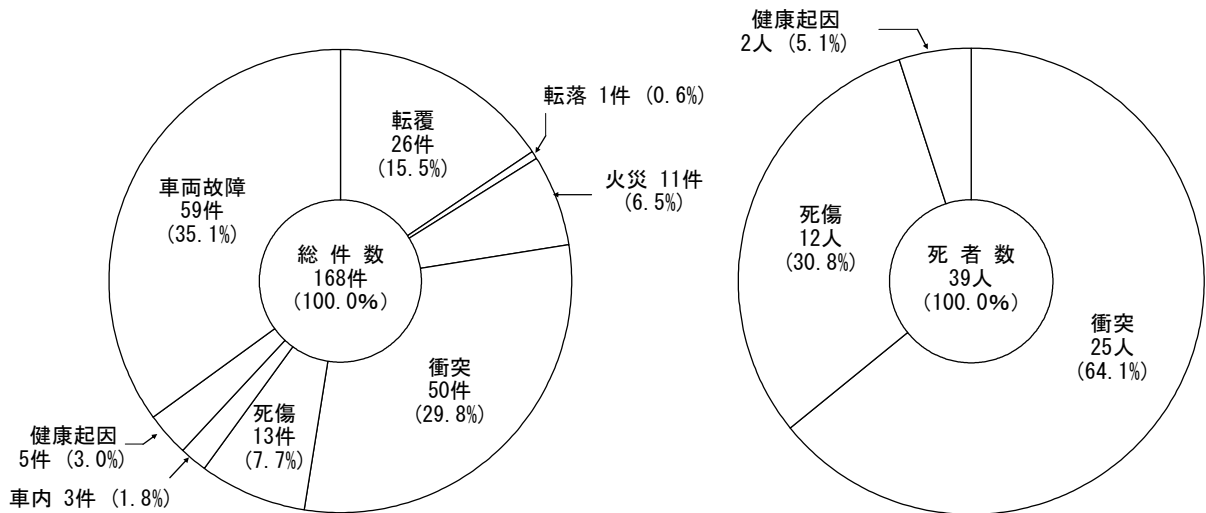
(注) 死傷状況等における()内数値は、乗客が死傷した人数を示す。

〔図7-2〕 事故種別別重大事故発生状況

高速自動車国道



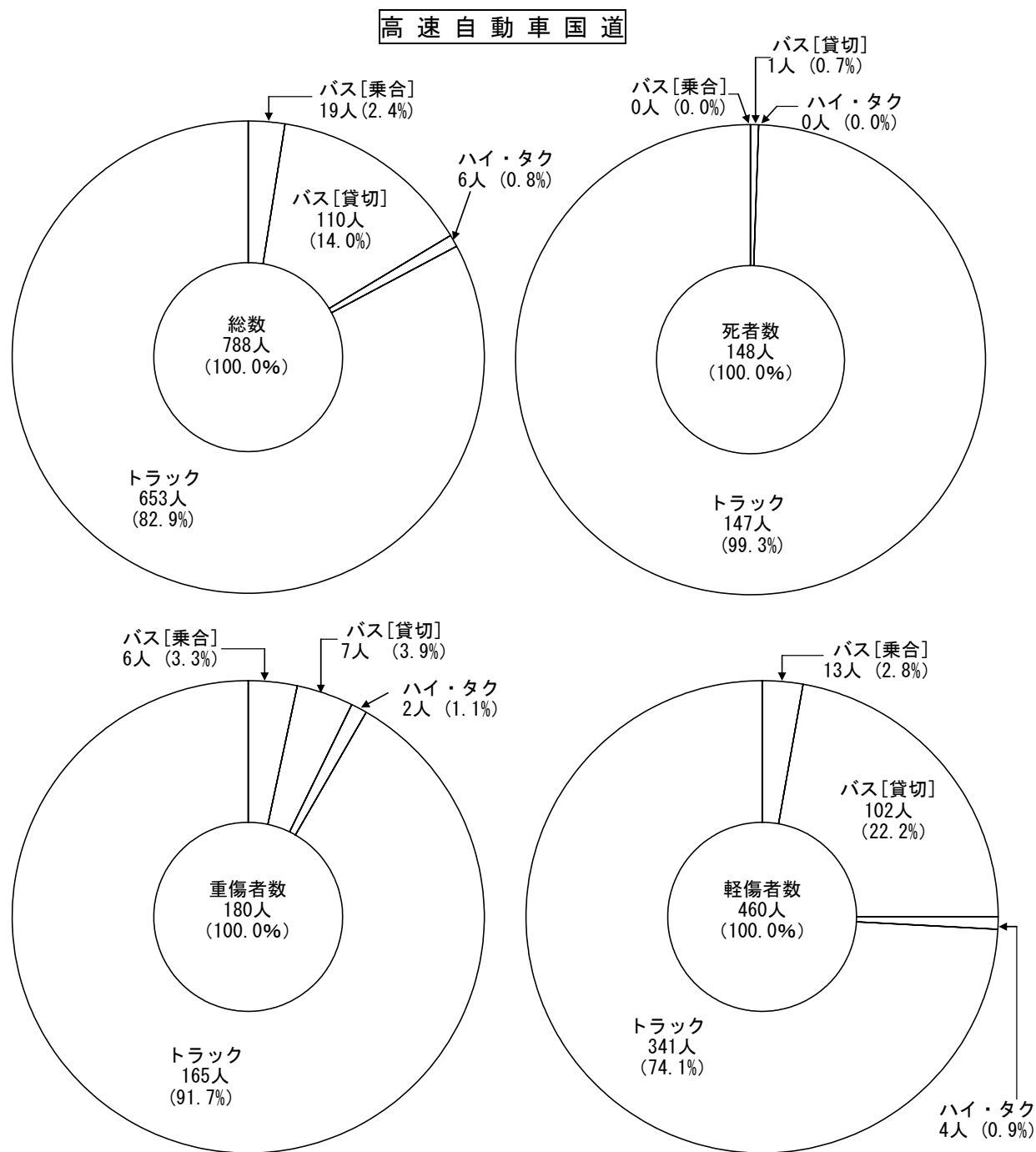
自動車専用道路等



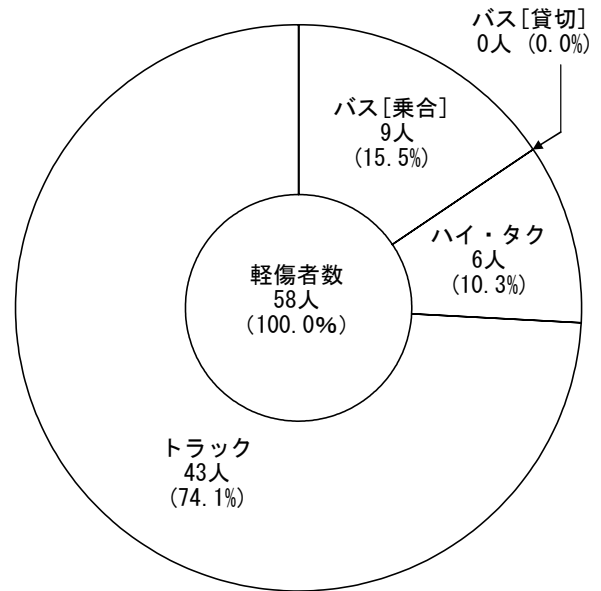
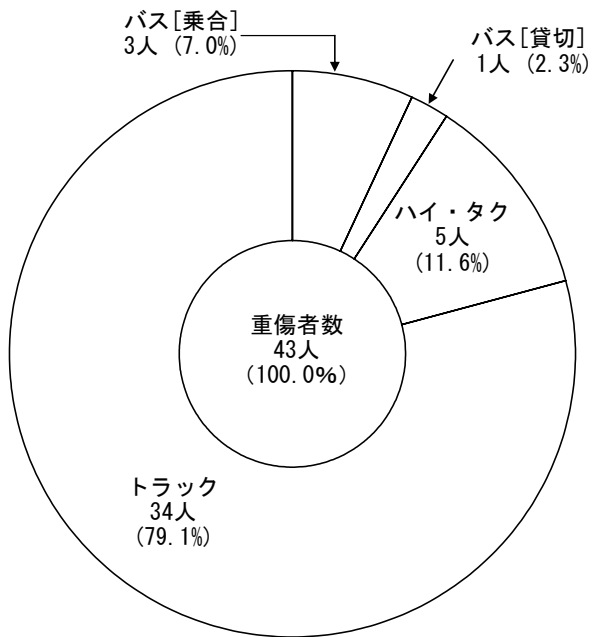
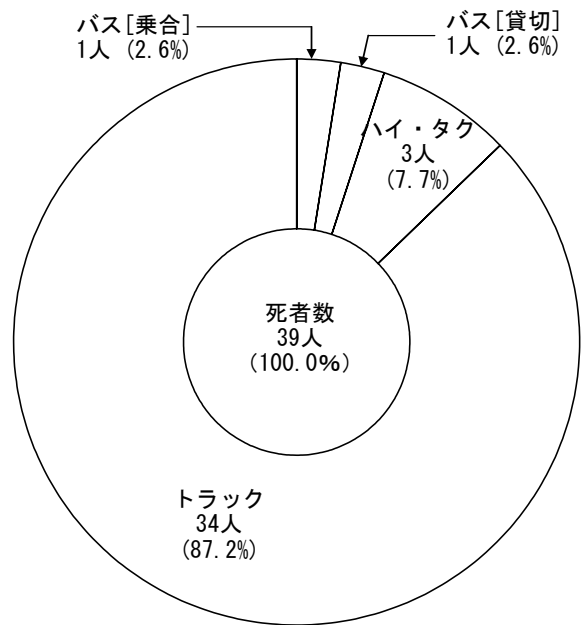
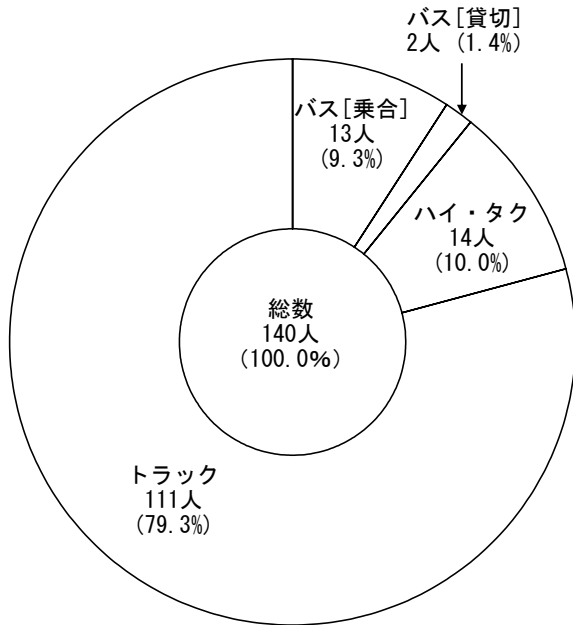
(3) 業態別死傷状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における業態別重大事故の死傷状況は図7-3に示すとおりであり、高速自動車国道及び自動車専用道路等のいずれかの項目においてもトラックが最も多い数値を示している。

〔図7-3〕 業態別死傷状況



自動車専用道路等



(4) 乗務員に起因する重大事故発生状況

(ア) 業態別発生状況

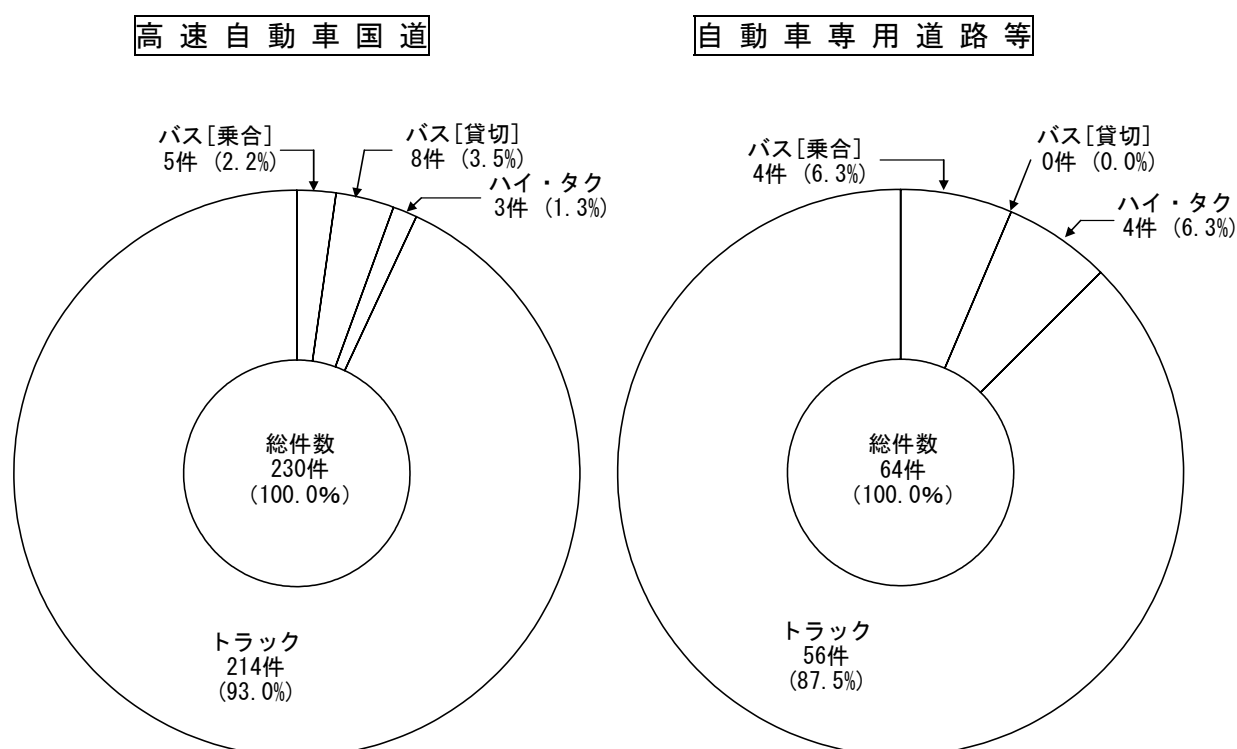
高速自動車国道及び自動車専用道路等における重大事故 852 件のうち、乗務員に起因するものは 294 件 (34.5%) であり、業態別の発生状況は、表 7-3 及び図 7-4 に示すとおり、その多くをトラックが占めている。

〔表 7-3〕 乗務員に起因する業態別重大事故発生状況

項 目		業 態		ハイ・タク	トラック	合計
		乗合	貸切			
重大事故件数 (件)		9	8	7	270	294
死傷状況等	死者数 (人)	1(0)	1(1)	1(0)	101	104(1)
	重傷者数 (人)	2(2)	7(7)	3(0)	151	163(9)
	軽傷者数 (人)	4(4)	96(91)	5(3)	248	353(98)
	計 (人)	7(6)	104(99)	9(3)	500	620(108)

(注) 死傷状況等における () 内数値は、乗客が死傷した人数を示す。

〔図 7-4〕 乗務員に起因する業態別重大事故件数



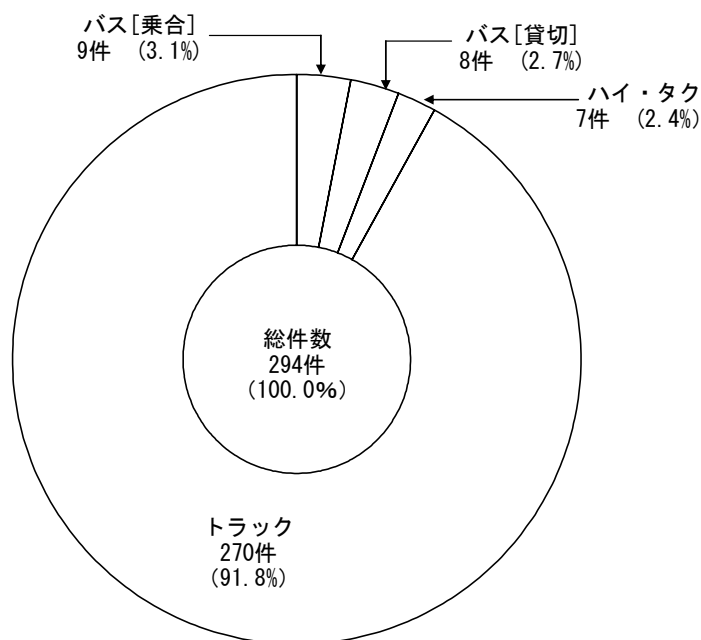
(イ) 事業の種類別発生状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故発生状況を事業の種類別にみると、表7-4及び図7-5に示すとおり、高速自動車国道で214件(93.0%)、自動車専用道路等で56件(87.5%)と、いずれもトラックの件数が最も多い。

[表7-4] 事業の種類別重大事故件数

事業の種類		高速自動車国道	自動車専用道路等	計
バス	乗合	5	4	9
	貸切	8	0	8
ハイタク		3	4	7
トラック		214	56	270
計		230	64	294

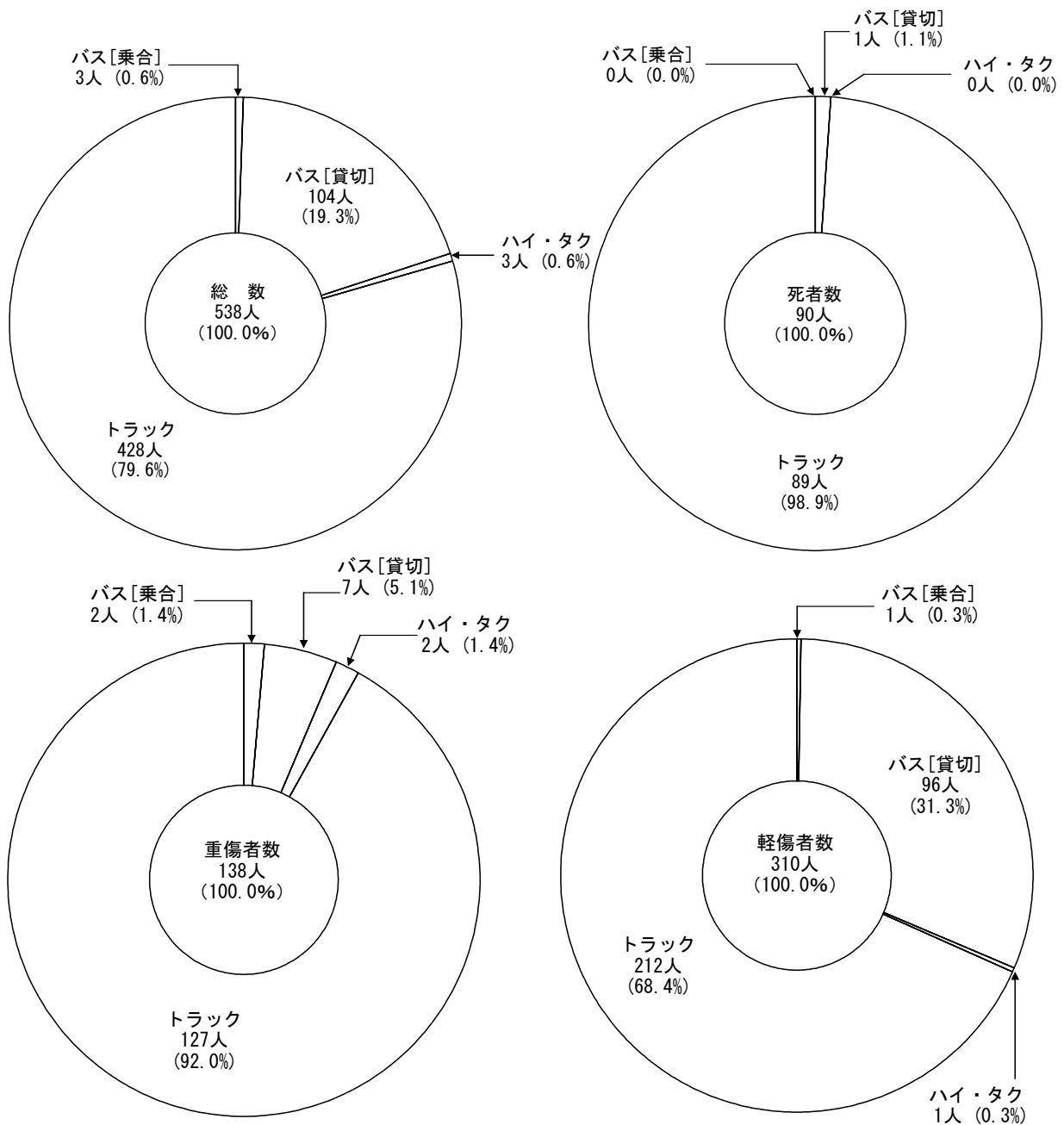
[図7-5] 事業の種類別重大事故件数



〔表 7-5〕 高速自動車国道における事業の種類別死傷者内訳

事業の種類		死者	重傷	軽傷	計
バス	乗合	0	2	1	3
	貸切	1	7	96	104
ハイ・タク		0	2	1	3
トラック		89	127	212	428
計		90	138	310	538

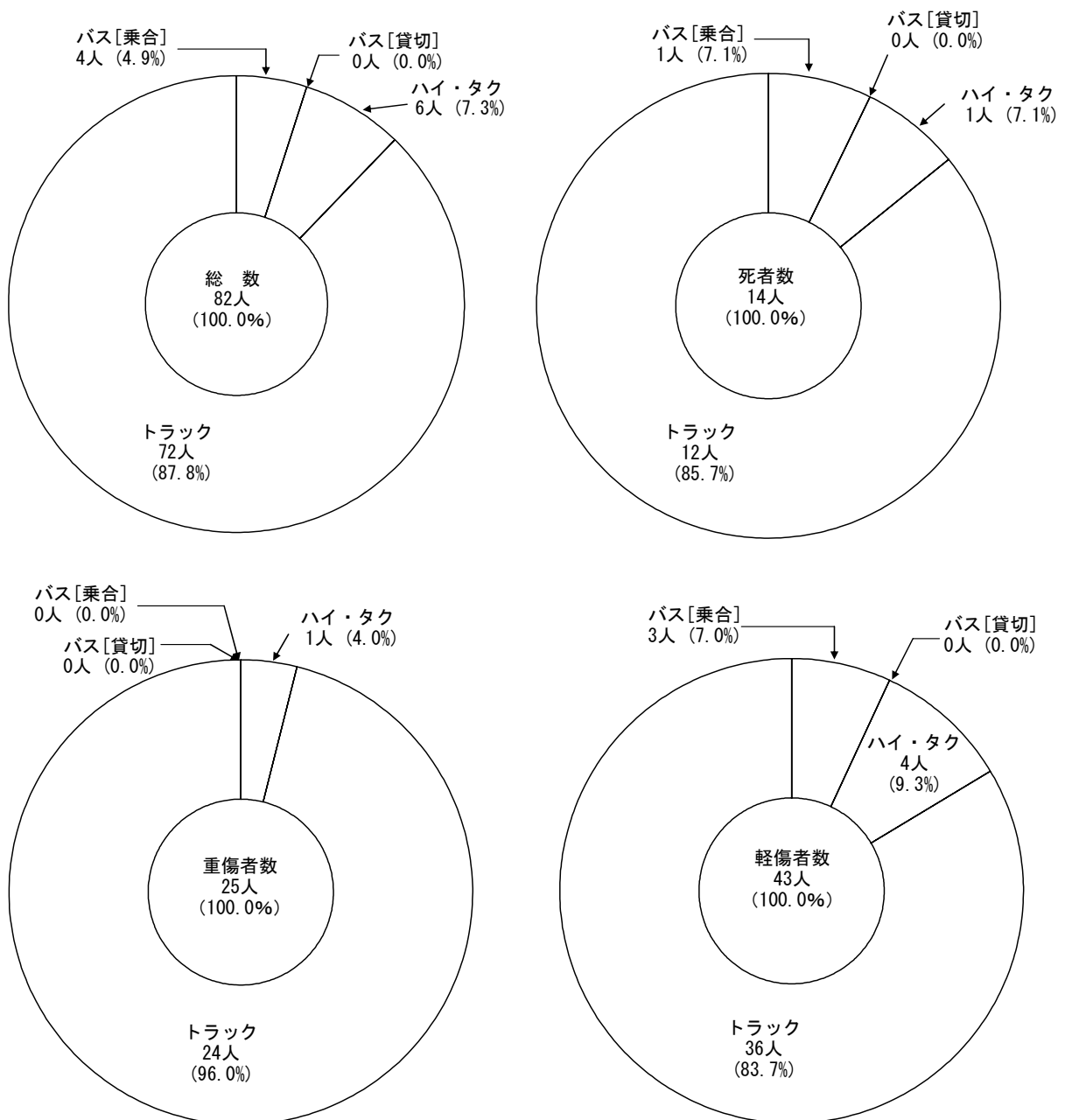
〔図 7-6〕 高速自動車国道における業態別死傷者内訳



〔表7-6〕 自動車専用道路等における事業の種類別死傷者内訳

事業の種類		死者	重傷	軽傷	計
バス	乗合	1	0	3	4
	貸切	0	0	0	0
ハイ・タク		1	1	4	6
トラック		12	24	36	72
計		14	25	43	82

〔図7-7〕 自動車専用道路等における業態別死傷者内訳



(ウ) 事故種別発生状況

高速自動車国道及び自動車専用道路等における乗務員に起因する重大事故発生状況を事故種別にみると、表7-7及び図7-9に示すとおりであり、衝突事故が発生件数及び死傷者についても大部分を占めている。

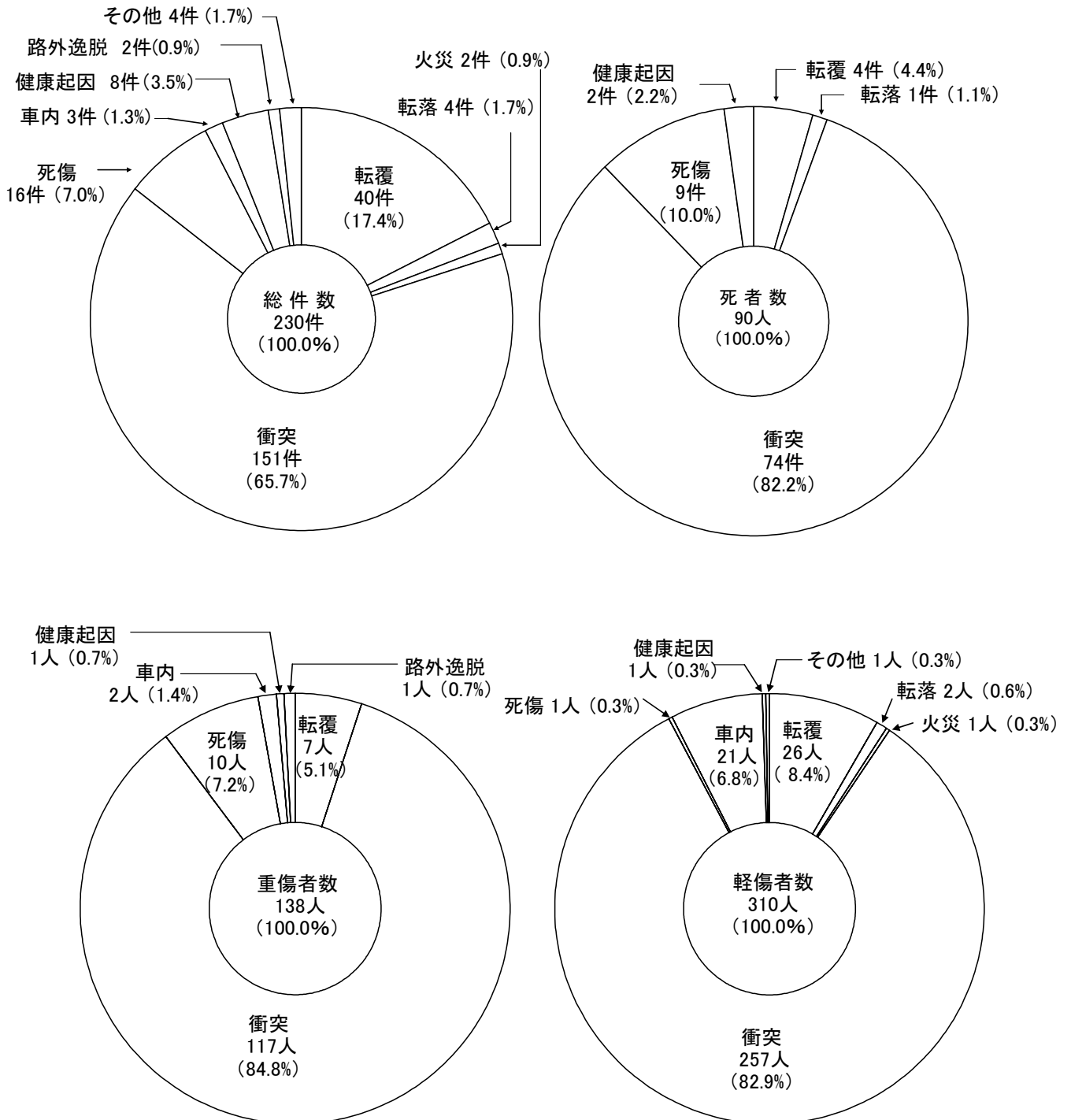
〔表7-7〕 事故種別重大事故発生状況

項目 事故種類	高速自動車国道				自動車専用道路等			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
転覆	40	4(1)	7(0)	26(5)	22	0(0)	3(0)	7(0)
転落	4	1(0)	0(0)	2(0)	1	0(0)	0(0)	0(0)
火災	2	0(0)	0(0)	1(0)	1	0(0)	0(0)	0(0)
衝突	151	74(0)	117(7)	257(67)	30	10(0)	21(0)	30(0)
死傷	16	9(0)	10(0)	1(0)	3	2(0)	1(0)	0(0)
車内	3	0(0)	2(2)	21(21)	2	0(0)	0(0)	3(3)
健康起因	8	2(0)	1(0)	1(0)	5	2(0)	0(0)	3(2)
車両故障	0	0(0)	0(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
路外逸脱	2	0(0)	1(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
危険物等	0	0(0)	0(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
その他	4	0(0)	0(0)	1(0)	0	0(0)	0(0)	0(0)
計	230	90(1)	138(9)	310(93)	64	14(0)	25(0)	43(0)

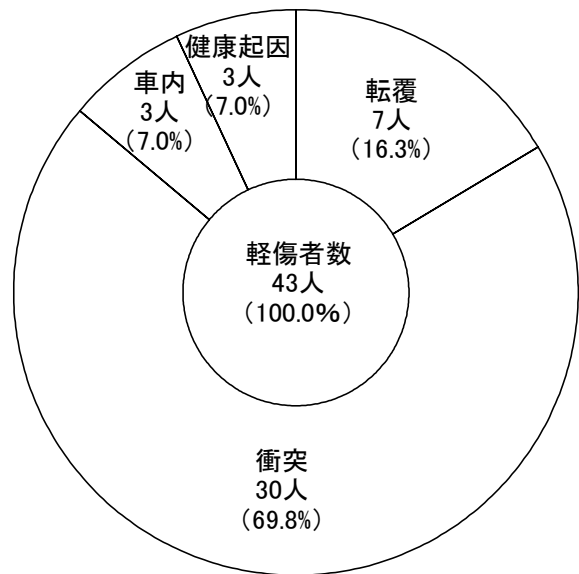
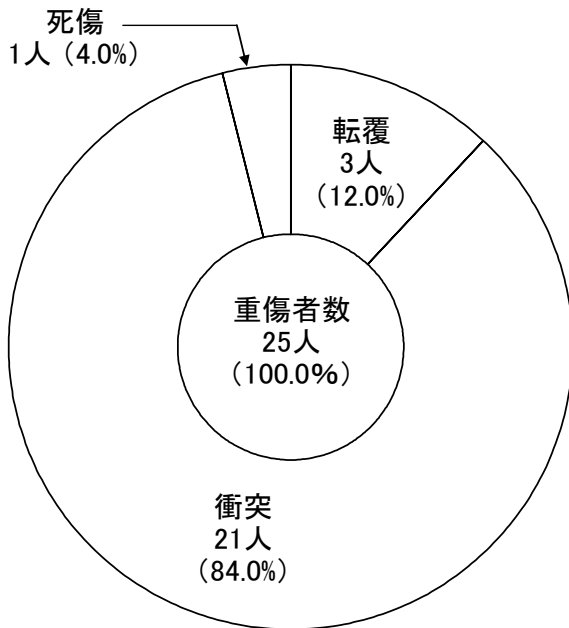
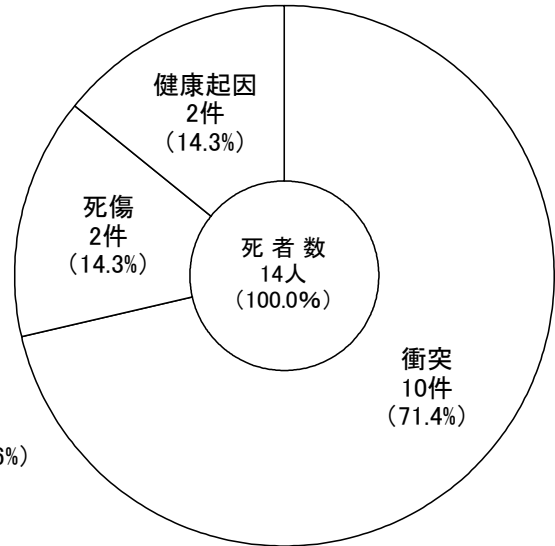
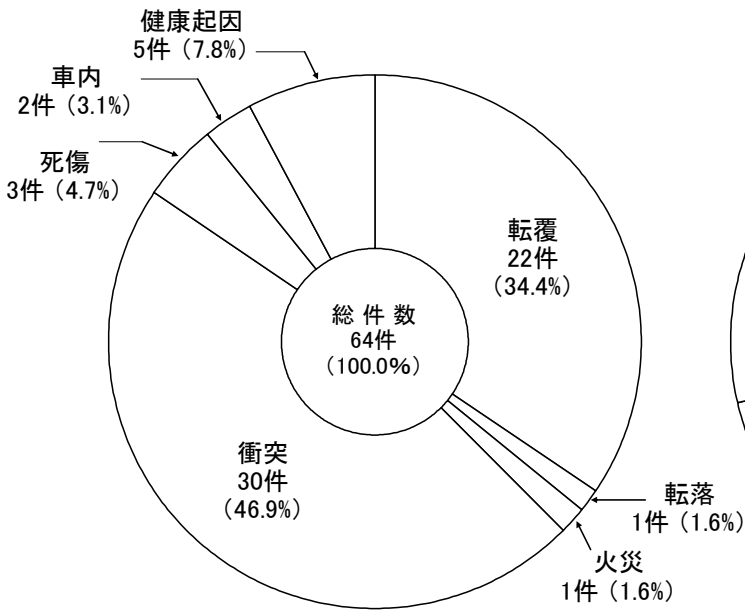
(注) 死傷状況等における()内数値は、乗客が死傷した人数を示す。

〔図7-8〕 事故種類別重大事故発生状況

高速自動車国道



自動車専用道路等



8. 平成18年中の事業用自動車の主な重大事故、事件

(1) 旅客

発生日	場所	事業の種類	事故等の種類	死傷状況		
				死亡	重傷	軽傷
18.12.6	島根県江津市	一般乗合	車内	0	1	0
18.12.10	長崎県長崎市	一般乗合	死傷 (ひき逃げ)	1	0	0
18.6.16	山梨県上野原市	一般貸切	酒気帯び	0	0	0
18.6.21	愛知県小牧市 (東名高速)	一般貸切	衝突	0	0	23
18.7.9	北海道千歳市	一般貸切	転落	0	0	38
18.8.6	兵庫県神戸市 (中国自動車道)	一般貸切	衝突	0	0	29
18.10.29	新潟県十日町市	一般貸切	無免許	0	0	0
18.4.19	東京都江東区	一般乗用	その他	1	0	0
18.5.30	京都府京都市	一般乗用	無免許	0	0	0
18.6.8	神奈川県川崎市	一般乗用	死傷 (ひき逃げ)	0	1	0
18.7.12	栃木県小山市	一般乗用	健康起因	0	1	0
18.7.28	宮崎県宮崎市	一般乗用	衝突 (酒気帯び)	0	0	0

当 時 の 状 況

バス停において客扱いをしていたところ、乗降口に乗客がいたにもかかわらず扉を閉め、腕を挟まれた乗客が約20メートル引きずられたもの。事故に気付いた女性が合図を送ったため車両は停止したが、引きずられた乗客は腕の骨を折るなどの重傷を負った。

当該バス運転者は、車道に倒れていた男性に気付かずにバスで頭を轢き、そのまま現場を離れたもの。この事故により、頭を轢かれた男性が死亡した。

乗客を迎えに行くため回送運行中、運転者が床にあった缶コーヒーをとろうとして脇見をしたため、交差点の信号機に衝突した。その後、警察によるアルコール検査の結果、当該運転者からアルコールが検出された。

貸切バスが東名高速道路小牧ジャンクションにおいて、中央道から合流する際に前方を走行中の大型トレーラーに追突した。

当該バスは、カーブを曲がり終えて直線になったところで道路左側の路肩に脱輪し、3メートル下の土手に転落した。

当該車両の前方を走る車両が、渋滞に気づき急ブレーキを掛けたため、当該車両も急停車しようとしたが止まりきれずに追突した。

当該運転者は、検問をしていた警察官により無免許運転が発覚し逮捕されたもの。運転者は大型二種免許を所有せずに運行していた。

タクシー運転者は乗客と口論となり、その乗客が車体に掴まっていることを知りながら、車両を急発進させて振り落とし、乗客を轢いてそのまま現場を離れたもの。

当該タクシー運転者は、交差点の信号を無視して通過したため警察官の取り締まりを受け、その違反手続きの中で免許失効中であることが確認された。

当該タクシーは赤信号で交差点に進入し、横断していた自転車乗りをはねてそのまま現場を離れたもの。

当該タクシー運転者は、乗客2名を乗せ運行を開始した直後にクモ膜下出血となり、意識不明のまま道路脇の塀に衝突した。

当該タクシーは、駐車中の車両に接触したにもかかわらずそのまま現場を離れ、再び現場に戻ったところで運転者の酒気帯び運転が確認された。

(2) 貨物

発生日	場所	事業の種類	事故等の種類	死傷状況		
				死亡	重傷	軽傷
18.2.13	京都府宇治市	一般貨物	衝突	3	1	7
18.2.22	兵庫県神崎郡 (中国自動車道)	一般貨物	衝突	2	8	3
18.4.2	静岡県御殿場市 (東名高速)	一般貨物	衝突 (酒気帯び)	0	4	10
18.7.25	愛知県名古屋市 (東名高速)	一般貨物	衝突	2	1	1
18.7.31	静岡県静岡市	一般貨物	転覆	1	0	0
18.9.14	長野県下伊那郡 (中央自動車道)	一般貨物	衝突	5	11	
18.9.15	山梨県甲府市	一般貨物	衝突 (酒気帯び)	0	0	2
18.11.8	千葉市中央区	一般貨物	死傷 (酒気帯び・ひき逃げ)	0	1	0
18.11.11	茨城県水戸市	一般貨物	酒気帯び	0	0	0
18.12.5	兵庫県西宮市 (阪神高速)	一般貨物	その他	1	0	1

当 時 の 状 況

京都府の京滋バイパスでタンクローリーが渋滞中の車列に追突し、12台が関係する多重事故となった。なお、後日運送会社社長ら2名が過労運転下命の疑いで逮捕されている。

中国自動車道上り線で、陸上自衛隊のトラックに大型トラックが追突し、はずみで自衛隊のトラックがガードロープを突き破り道路左下に転落した。

東名高速道路下り線で、トラックが渋滞のため停車中の車両に追突し、9台が関係する多重事故となった。運転者はその後の調べでアルコールが検出されたため酒気帯び運転により逮捕された。

東名高速上り名古屋インター付近で渋滞中の車列に大型トラックが追突し、計4台が関係する玉突き事故となった。

交差点を右折しようとした大型トレーラが横転し、歩道で信号待ちをしていた自転車乗りが下敷きになった。

中央道下り線阿智パーキングエリア付近において、大型トラックが単独事故で車線をふさぐかたちで停車したところに後続の車両が次々と追突し、合計17台が関係する多重衝突事故となった。

交差点で乗用車と衝突事故を起こしたトラック運転者が、警察による現場検証の際のアルコール検査においてアルコールが検出されたため酒気帯び運転により逮捕された。

当該運転者は、酒を飲んでトラックを運転し、横断歩道を渡っていた自転車乗りをはねそのまま現場を離れたもの。それから1時間後に現場に戻ったところ、警察により0.15mg/ℓを超えるアルコールが検知され逮捕された。

トラック運転者と運行管理者と一緒に酒を飲み、その帰りに事業用自動車を運転したトラック運転者が、道路脇の電話ボックス等と衝突する事故を起こし逃走を図ったもの。この運転者が酒気帯び運転で逮捕され、一緒に酒を飲んだ運行管理者が酒気帯び運転をほう助したとして逮捕された。

荷台から荷をはみ出して積んでいたトラックが脇見により側壁に接触し、積み荷の一方が高架下に落下して、もう一方が本線上に落下した。その積み荷に後続の軽自動車が発生し、運転者が軽傷を負い、助手席の同乗者が死亡した。

第2編 事業用自動車の重大事故統計

第1部 事業用自動車の重大事故

第2部 高速道路等における重大事故

第3部 危険物等積載車両の重大事故

第4部 重大事故に係る諸統計

※ 本統計には、事業用自動車が第二当事者となった事故（相手方の過失が大きい事故）による報告も含まれています。

第1部 事業用自動車の重大事故

1. 事故種類別、業態別重大事故発生状況の推移

事故の種類 年及び業態	合計			転覆			転落			路外逸脱			火災			踏切		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
バス	419	86	1,121	2	0	17	12	1	100	5	0	18	9	0	0	0	0	0
ハイ・タク	789	113	959	6	0	5	8	3	7	1	0	2	5	0	0	2	2	0
トラック	3,046	1,478	3,029	119	19	80	98	17	62	13	3	8	53	3	11	8	0	49
8年計	4,254	1,677	5,109	127	19	102	118	21	169	19	3	28	67	3	11	10	2	49
バス	467	99	1,268	1	0	18	7	0	111	3	0	24	9	0	1	0	0	0
ハイ・タク	760	131	939	6	1	5	6	1	12	0	0	0	4	0	5	2	0	2
トラック	2,860	1,305	3,116	109	13	98	71	8	54	17	5	8	50	3	10	4	0	21
9年計	4,087	1,535	5,323	116	14	121	84	9	177	20	5	32	63	3	16	6	0	23
バス	420	97	1,130	0	0	0	5	0	15	1	0	1	6	0	0	0	0	0
ハイ・タク	716	129	876	8	0	17	5	1	6	4	1	3	9	0	0	4	1	2
トラック	2,710	1,333	2,725	109	14	80	68	17	40	18	3	13	35	4	5	3	0	7
10年計	3,846	1,559	4,731	117	14	97	78	18	61	23	4	17	50	4	5	7	1	9
バス	395	82	904	1	0	14	7	0	18	3	1	21	11	0	1	0	0	0
ハイ・タク	692	137	853	8	1	14	6	1	5	1	0	1	2	1	0	1	0	0
トラック	2,760	1,318	2,825	143	13	106	94	20	58	23	7	19	45	6	10	10	0	32
11年計	3,847	1,537	4,582	152	14	134	107	21	81	27	8	41	58	7	11	11	0	32
バス	436	77	1,504	4	1	51	4	0	29	2	0	3	15	0	0	0	0	0
ハイ・タク	661	115	801	4	0	8	3	1	3	3	0	2	5	0	2	2	0	0
トラック	2,612	1,301	2,726	150	24	108	92	25	52	9	2	6	53	14	26	7	0	6
12年計	3,709	1,493	5,031	158	25	167	99	26	84	14	2	11	73	14	28	9	0	6
バス	530	70	1,149	0	0	0	9	0	82	1	0	0	25	0	1	0	0	0
ハイ・タク	618	106	737	7	0	10	9	0	21	0	0	0	3	0	1	3	0	2
トラック	2,189	1,177	2,188	151	13	125	86	21	48	3	0	2	53	2	16	10	0	4
13年計	3,337	1,353	4,074	158	13	135	104	21	151	4	0	2	81	2	18	13	0	6
バス	560	79	1,194	1	0	1	7	1	55	3	1	37	15	0	0	0	0	0
ハイ・タク	729	112	835	7	2	7	12	3	6	2	0	4	4	0	1	1	0	0
トラック	2,093	1,132	1,972	127	15	74	74	15	29	16	5	4	56	1	2	3	0	0
14年計	3,382	1,323	4,001	135	17	82	93	19	90	21	6	45	75	1	3	4	0	0
バス	659	84	1,374	3	0	55	11	0	69	0	0	0	14	0	1	1	0	0
ハイ・タク	803	123	951	8	0	14	6	0	7	5	1	5	0	0	0	1	0	0
トラック	2,257	1,125	2,306	125	14	93	80	9	40	6	2	5	60	2	6	9	0	8
15年計	3,719	1,332	4,631	136	14	162	97	9	116	11	3	10	74	2	7	11	0	8
バス	667	72	1,125	3	0	27	4	0	5	2	1	27	28	0	0	0	0	0
ハイ・タク	736	104	848	8	0	9	6	0	8	1	0	1	4	0	0	0	0	0
トラック	2,277	1,073	2,040	151	12	104	72	10	33	9	2	5	104	2	2	4	0	4
16年計	3,680	1,249	4,013	162	12	140	82	10	46	12	3	33	136	2	2	4	0	4
バス	2,369	75	1,347	2	3	41	5	0	22	4	0	1	19	0	1	0	0	0
ハイ・タク	757	108	867	8	0	11	13	0	15	1	0	3	9	1	2	0	0	0
トラック	2,563	1,099	2,268	187	15	146	70	5	40	12	1	4	120	2	12	9	0	12
17年計	5,689	1,282	4,482	197	18	198	88	5	77	17	1	8	148	3	15	9	0	12
バス	2,448	65	1,357	3	1	8	6	0	41	1	0	0	17	0	0	0	0	0
ハイ・タク	759	110	868	7	3	9	5	2	4	5	0	1	4	0	0	1	0	0
トラック	2,528	994	2,247	192	15	101	89	11	43	17	3	7	107	0	5	4	0	4
18年計	5,735	1,169	4,472	202	19	118	100	13	88	23	3	8	128	0	5	5	0	4

衝突			車内			死傷			健康起因			危険物等			車両故障			その他			
件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	
192	53	770	90	0	118	105	30	87										4	2	11	8年
414	49	641	1	0	1	347	58	299										5	1	4	
2,018	1,011	2,474	0	0	0	720	418	333										17	7	12	
2,624	1,113	3,885	91	0	119	1,172	506	719										26	10	27	
245	59	923	89	0	90	108	39	99										5	1	2	9年
409	69	627	2	0	2	322	58	280										9	2	6	
1,928	931	2,565	0	0	0	663	337	352										18	8	8	
2,582	1,059	4,115	91	0	92	1,093	434	731										32	11	16	
211	67	914	91	1	113	101	28	82										5	1	5	10年
374	77	572	4	0	4	303	49	267										5	0	5	
1,817	933	2,251	0	0	0	637	356	306										23	6	23	
2,402	1,077	3,737	95	1	117	1,041	433	655										33	7	33	
195	52	669	86	0	113	87	28	63										5	1	5	11年
376	62	595	1	1	0	289	69	232										8	2	6	
1,832	922	2,301	0	0	0	588	339	279										25	11	20	
2,403	1,036	3,565	87	1	113	964	436	574										38	14	31	
235	52	1,252	84	0	101	83	24	64										9	0	4	12年
365	63	544	3	0	3	272	50	237										4	1	2	
1,711	904	2,247	0	0	0	567	324	271										23	8	10	
2,311	1,019	4,043	87	0	104	922	398	572										36	9	16	
172	41	727	212	0	249	102	29	81	3	0	5	0	0	0	1	0	0	5	0	4	13年
351	52	501	3	0	2	228	49	188	8	5	5	0	0	0	0	0	0	6	0	7	
1,353	808	1,768	0	0	0	503	321	211	5	5	3	1	0	2	6	0	5	18	7	4	
1,876	901	2,996	215	0	251	833	399	480	16	10	13	1	0	2	7	0	5	29	7	15	
173	53	714	235	0	299	103	24	85	12	0	1	0	0	0	7	0	0	4	0	2	14年
358	57	495	8	0	8	308	46	280	16	4	28	0	0	0	1	0	0	12	0	6	
1,289	780	1,612	0	0	0	468	307	190	8	6	9	3	0	1	26	1	6	23	2	45	
1,820	890	2,821	243	0	307	879	377	555	36	10	38	3	0	1	34	1	6	39	2	53	
180	55	775	291	1	353	117	26	99	18	2	13	0	0	0	14	0	0	10	0	9	15年
393	55	577	14	0	17	346	59	315	18	7	9	0	0	0	1	0	0	11	1	7	
1,391	763	1,891	0	0	0	532	323	232	12	8	11	3	0	0	21	1	5	18	3	15	
1,964	873	3,243	305	1	370	995	408	646	48	17	33	3	0	0	36	1	5	39	4	31	
172	43	556	300	0	383	103	25	105	27	3	17	0	0	0	25	0	4	3	0	1	16年
369	42	518	15	0	16	306	51	271	20	11	19	0	0	0	0	0	0	7	0	6	
1,276	716	1,601	0	0	0	541	317	249	13	9	25	4	0	1	94	2	9	9	3	7	
1,817	801	2,675	315	0	399	950	393	625	60	23	61	4	0	1	119	2	13	19	3	14	
201	47	709	364	0	459	116	22	103	22	2	3	0	0	0	1,631	0	6	5	1	2	17年
356	35	528	20	0	23	319	62	268	19	10	11	0	0	0	6	0	0	6	0	6	
1,310	675	1,699	0	0	0	601	372	284	16	13	27	1	0	0	200	2	18	37	14	26	
1,867	757	2,936	384	0	482	1,036	456	655	57	25	41	1	0	0	1,837	2	24	48	15	34	
165	31	659	364	0	482	127	31	121	34	2	31	0	0	0	1,723	0	5	8	0	10	18年
334	45	492	16	0	16	339	48	317	26	12	24	0	0	0	14	0	0	8	0	5	
1,292	612	1,751	0	0	0	604	341	286	17	7	20	6	0	0	172	1	15	28	4	15	
1,791	688	2,902	380	0	498	1,070	420	724	77	21	75	6	0	0	1,909	1	20	44	4	30	

2. 重大事故の原因大別構成の推移

年	原因 業態	車両故障に起因するもの		乗務員に起因するもの		その他の原因に起因するもの(被害者の不注意、道路の不良等)	
		件数	%	件数	%	件数	%
8年	バス	6	1.4	199	47.5	214	51.1
	ハイ・タク	3	0.4	457	57.9	329	41.7
	トラック	31	1.0	1,651	54.2	1,364	44.8
	8年計	40	0.9	2,307	54.2	1,907	44.8
9年	バス	11	2.4	213	45.6	243	52.0
	ハイ・タク	1	0.1	459	60.4	300	39.5
	トラック	26	0.9	1,634	57.1	1,200	42.0
	9年計	38	0.9	2,306	56.4	1,743	42.6
10年	バス	8	1.9	202	48.1	210	50.0
	ハイ・タク	6	0.8	414	57.8	296	41.3
	トラック	29	1.1	1,544	57.0	1,137	42.0
	10年計	43	1.1	2,160	56.2	1,643	42.7
11年	バス	10	2.5	187	47.3	198	50.1
	ハイ・タク	1	0.1	411	59.4	280	40.5
	トラック	27	1.0	1,567	56.8	1,166	42.2
	11年計	38	1.0	2,165	56.3	1,644	42.7
12年	バス	17	3.9	201	46.1	218	50.0
	ハイ・タク	3	0.5	371	56.1	287	43.4
	トラック	41	1.6	1,498	57.4	1,073	41.1
	12年計	61	1.6	2,070	55.8	1,578	42.5
13年	バス	24	4.5	291	54.9	215	40.6
	ハイ・タク	0	0.0	343	55.5	275	44.5
	トラック	27	1.2	1,167	53.3	995	45.5
	13年計	51	1.5	1,801	54.0	1,485	44.5
14年	バス	18	3.2	302	53.9	240	42.9
	ハイ・タク	3	0.4	434	59.5	292	40.1
	トラック	58	2.8	1,141	54.5	894	42.7
	14年計	79	2.3	1,877	55.5	1,426	42.2
15年	バス	18	2.7	400	60.7	241	36.6
	ハイ・タク	1	0.1	552	68.7	250	31.1
	トラック	45	2.0	1,331	59.0	881	39.0
	15年計	64	1.7	2,283	61.4	1,372	36.9
16年	バス	44	6.6	373	55.9	250	37.5
	ハイ・タク	0	0.0	482	65.5	254	34.5
	トラック	149	6.5	1,284	56.4	844	37.1
	16年計	193	5.2	2,139	58.1	1,348	36.6
17年	バス	1,648	69.6	414	17.5	307	13.0
	ハイ・タク	10	1.3	502	66.3	245	32.4
	トラック	275	10.7	1,394	54.4	894	34.9
	17年計	1,933	34.0	2,310	40.6	1,446	25.4
18年	バス	1,739	71.0	463	18.9	246	10.0
	ハイ・タク	17	2.2	514	67.7	228	30.0
	トラック	247	9.8	1,433	56.7	848	33.5
	18年計	2,003	34.9	2,410	42.0	1,322	23.1

3. 業態別重大事故発生状況等

年	業態	件数	死者数	負
				重傷
8年	バス	419	86	328
	ハイ・タク	789	113	720
	トラック	3,046	1,478	1,670
	計	4,254	1,677	2,718
9年	バス	467	99	337
	ハイ・タク	760	131	689
	トラック	2,860	1,305	1,592
	計	4,087	1,535	2,618
10年	バス	420	97	330
	ハイ・タク	716	129	622
	トラック	2,710	1,333	1,453
	計	3,846	1,559	2,405
11年	バス	395	82	267
	ハイ・タク	692	137	623
	トラック	2,760	1,318	1,474
	計	3,847	1,537	2,364
12年	バス	436	77	338
	ハイ・タク	661	115	579
	トラック	2,612	1,301	1,367
	計	3,709	1,493	2,284
13年	バス	530	70	351
	ハイ・タク	618	106	539
	トラック	2,189	1,177	1,080
	計	3,337	1,353	1,970
14年	バス	560	79	392
	ハイ・タク	729	112	633
	トラック	2,093	1,132	988
	計	3,382	1,323	2,013
15年	バス	659	84	424
	ハイ・タク	803	123	670
	トラック	2,257	1,125	1,144
	計	3,719	1,332	2,238
16年	バス	667	72	357
	ハイ・タク	736	104	620
	トラック	2,277	1,073	1,076
	計	3,680	1,249	2,053
17年	バス	2,369	75	444
	ハイ・タク	757	108	640
	トラック	2,563	1,099	1,112
	計	5,689	1,282	2,196
18年	バス	2,448	65	395
	ハイ・タク	759	110	609
	トラック	2,528	994	1,138
	計	5,735	1,169	2,142

(注)1. 事業用自動車数は、国土交通省被けん引車は除かれている。
2. 年間総走行キロは、国土交通省

の推移

傷者数		1,000台当たり			1億走行キロ 当たり			重大事故100件当たり			事業用 自動車数	年間総 走行キロ (1,000km)	
軽 傷	計	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者	死 者	負傷者数				
									重 傷	軽 傷			計
793	1,121	4.4	0.9	11.8	9.3	1.9	24.8	20.5	78.3	189.3	267.5	95,167	4,520,198
239	959	3.1	0.4	3.7	4.5	0.6	5.4	14.3	91.3	30.3	121.5	255,894	17,626,132
1,359	3,029	2.7	1.3	2.7	4.8	2.3	4.8	48.5	54.8	44.6	99.4	1,133,592	63,134,652
2,391	5,109	2.9	1.1	3.4	5.0	2.0	6.0	39.4	63.9	56.2	120.1	1,484,653	85,280,982
931	1,268	4.9	1.0	13.4	10.4	2.2	28.2	21.2	72.2	199.4	271.5	94,959	4,500,144
250	939	3.0	0.5	3.7	4.4	0.8	5.5	17.2	90.7	32.9	123.6	256,250	17,185,136
1,524	3,116	2.4	1.1	2.7	4.5	2.0	4.9	45.6	55.7	53.3	109.0	1,169,994	63,955,667
2,705	5,323	2.7	1.0	3.5	4.8	1.8	6.2	37.6	64.1	66.2	130.2	1,521,203	85,640,947
800	1,130	4.4	1.0	11.8	9.3	2.2	25.1	23.1	78.6	190.5	269.0	95,725	4,494,112
254	876	2.8	0.5	3.4	4.3	0.8	5.2	18.0	86.9	35.5	122.3	258,021	16,773,376
1,272	2,725	2.3	1.1	2.3	4.3	2.1	4.3	49.2	53.6	46.9	100.6	1,185,399	63,225,010
2,326	4,731	2.5	1.0	3.1	4.6	1.8	5.6	40.5	62.5	60.5	123.0	1,539,145	84,492,498
637	904	4.1	0.9	9.4	8.7	1.8	20.0	20.8	67.6	161.3	228.9	96,001	4,514,751
230	853	2.7	0.5	3.3	4.2	0.8	5.2	19.8	90.0	33.2	123.3	257,792	16,444,400
1,351	2,825	2.3	1.1	2.4	4.2	2.0	4.3	47.8	53.4	48.9	102.4	1,187,141	65,641,366
2,218	4,582	2.5	1.0	3.0	4.4	1.8	5.3	40.0	61.5	57.7	119.1	1,540,934	86,600,517
1,166	1,504	4.5	0.8	15.5	9.6	1.7	33.2	17.7	77.5	267.4	345.0	96,908	4,525,733
222	801	2.6	0.4	3.1	4.0	0.7	4.9	17.4	87.6	33.6	121.2	256,845	16,429,964
1,359	2,726	2.2	1.1	2.3	3.8	1.9	3.9	49.8	52.3	52.0	104.4	1,202,813	69,203,737
2,747	5,031	2.4	1.0	3.2	4.1	1.7	5.6	40.3	61.6	74.1	135.6	1,556,566	90,159,434
798	1,149	5.3	0.7	11.6	11.6	1.5	25.1	13.2	66.2	150.6	216.8	99,131	4,574,046
198	737	2.4	0.4	2.9	3.8	0.7	4.6	17.2	87.2	32.0	119.3	256,049	16,091,037
1,108	2,188	1.8	1.0	1.8	3.2	1.7	3.2	53.8	49.3	50.6	100.0	1,220,350	69,344,313
2,104	4,074	2.1	0.9	2.6	3.7	1.5	4.5	40.5	59.0	63.1	122.1	1,575,530	90,009,396
802	1,194	5.6	0.8	11.8	12.1	1.7	25.8	14.1	70.0	143.2	213.2	100,830	4,619,942
202	835	2.8	0.4	3.2	4.5	0.7	5.2	15.4	86.8	27.7	114.5	260,178	16,174,335
984	1,972	1.7	0.9	1.6	3.0	1.6	2.8	54.1	47.2	47.0	94.2	1,215,170	70,652,403
1,988	4,001	2.1	0.8	2.5	3.7	1.4	4.4	39.1	59.5	58.8	118.3	1,576,178	91,446,680
950	1,374	6.5	0.8	13.5	14.1	1.8	29.3	12.7	64.3	144.2	208.5	102,034	4,683,120
281	951	3.0	0.5	3.6	5.0	0.8	5.9	15.3	83.4	35.0	118.4	263,894	16,099,999
1,162	2,306	1.9	0.9	1.9	3.1	1.5	3.2	49.8	50.7	51.5	102.2	1,216,090	72,897,444
2,393	4,631	2.4	0.8	2.9	4.0	1.4	4.9	35.8	60.2	64.3	124.5	1,582,018	93,680,563
768	1,125	6.4	0.7	10.9	14.1	1.5	23.8	10.8	53.5	115.1	168.7	103,633	4,726,792
228	848	2.7	0.4	3.2	4.8	0.7	5.5	14.1	84.2	31.0	115.2	267,674	15,404,983
964	2,040	1.9	0.9	1.7	3.2	1.5	2.8	47.1	47.3	42.3	89.6	1,225,970	71,606,634
1,960	4,013	2.3	0.8	2.5	4.0	1.4	4.4	33.9	55.8	53.3	109.0	1,597,277	91,738,409
903	1,347	22.5	0.7	12.8	49.4	1.6	28.1	3.2	18.7	38.1	56.9	105,150	4,792,775
227	867	2.8	0.4	3.2	5.0	0.7	5.7	14.3	84.5	30.0	114.5	271,291	15,252,520
1,156	2,268	2.1	0.9	1.8	3.6	1.6	3.2	42.9	43.4	45.1	88.5	1,247,886	70,828,793
2,286	4,482	3.5	0.8	2.8	6.3	1.4	4.9	22.5	38.6	40.2	78.8	1,624,327	90,874,088
962	1,357	23.1	0.6	12.8	51.8	1.4	28.7	2.7	16.1	39.3	55.4	106,043	4,722,046
259	868	2.8	0.4	3.2	5.0	0.7	5.7	14.5	80.2	34.1	114.4	273,196	15,199,604
1,109	2,247	2.0	0.8	1.8	3.5	1.4	3.1	39.3	45.0	43.9	88.9	1,259,153	73,103,375
2,330	4,472	3.5	0.7	2.7	6.2	1.3	4.8	20.4	37.3	40.6	78.0	1,638,392	93,025,025

自動車交通局技術安全部管理課調べによる各年6月末日現在の数を示し、トラックには特種(殊)車を含み、

総合政策局情報管理部資料による。

4. 業態別原因別重大事故発生状況

業 態		バス	構成比 (%)	ハイ・効	構成比 (%)	トラック	構成比 (%)	計	構成比 (%)
原 因									
乗 務 員 に 起 因 す る も の	【乗務員の状態】								
	・ 資格要件に関する政令違反（無免許）	0	0.0%	0	0.0%	6	0.4%	6	0.2%
	・ 居眠運転	0	0.0%	3	0.6%	29	2.0%	32	1.3%
	・ 飲酒時の運転	1	0.2%	8	1.6%	48	3.3%	57	2.4%
	・ その他	1	0.2%	3	0.6%	14	1.0%	18	0.7%
	【運転操作】		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	・ 発車時の安全確認の不良又は不履行	127	27.4%	15	2.9%	33	2.3%	175	7.3%
	・ 歩行者に対する不注意	41	8.9%	111	21.6%	208	14.5%	360	14.9%
	・ 安全速度の不履行	6	1.3%	12	2.3%	68	4.7%	86	3.6%
	・ 車間距離不適切	14	3.0%	2	0.4%	40	2.8%	56	2.3%
	・ 漫然運転	10	2.2%	18	3.5%	111	7.7%	139	5.8%
	・ 脇見運転	13	2.8%	24	4.7%	227	15.8%	264	11.0%
	・ 信号無視	3	0.6%	17	3.3%	43	3.0%	63	2.6%
	・ 制動操作不適切	44	9.5%	2	0.4%	18	1.3%	64	2.7%
	・ 左折、右折不適切	31	6.7%	106	20.6%	147	10.3%	284	11.8%
	・ 一時停止又は徐行不履行	1	0.2%	29	5.6%	15	1.0%	45	1.9%
	・ 運転操作粗暴	8	1.7%	5	1.0%	24	1.7%	37	1.5%
	・ 追越不適切	5	1.1%	4	0.8%	44	3.1%	53	2.2%
	・ 悪路における運転操作不適切	8	1.7%	3	0.6%	42	2.9%	53	2.2%
	・ 後退方法不適切	3	0.6%	6	1.2%	15	1.0%	24	1.0%
	・ 最高速度制限の不履行	3	0.6%	10	1.9%	61	4.3%	74	3.1%
	・ 運転者の健康状態	35	7.6%	29	5.6%	19	1.3%	83	3.4%
	・ 駐車操作不適切	4	0.9%	3	0.6%	7	0.5%	14	0.6%
	・ 積載物固縛不良等	0	0.0%	0	0.0%	12	0.8%	12	0.5%
	・ 下り坂運転不注意	0	0.0%	1	0.2%	14	1.0%	15	0.6%
	・ 携帯電話の操作	0	0.0%	0	0.0%	7	0.5%	7	0.3%
	・ 停留所における停車方法の不適切	7	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.3%
	・ 乗降口扉の開閉不適切（ワンマン）	29	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	29	1.2%
・ 乗降口扉の開閉不適切（車掌）	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	
・ その他	68	14.7%	103	20.0%	181	12.6%	352	14.6%	
小 計		463	100.0%	514	100.0%	1,433	100.0%	2,410	100.0%
相 手 側	【歩行者等】	59		110		148		317	
	【他の車両の不注意】	125		105		573		803	
	【その他】	13		9		53		75	
	小 計	197		224		774		1,195	
	旅客	42		2		0		44	
	車両故障	1,739		17		247		2,003	
	道路	0		0		8		8	
	その他	7		2		66		75	
	総 合 計	2,448		759		2,528		5,735	

5. 事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	0	0	3	3	0	0	2
貸切旅客	2	1	0	5	3	0	0	39
乗用旅客(法人)	7	3	2	7	3	2	0	2
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	2	0	2	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	2	0	0	2	3	0	0	1
一般貨物	190	15	23	76	86	11	4	38
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	202	19	25	93	100	13	6	82

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	121	16	99	273	350	0	154	290
貸切旅客	43	14	31	256	13	0	6	31
乗用旅客(法人)	325	42	295	184	16	0	4	12
乗用旅客(個人)	9	3	8	5	0	0	0	0
特定旅客	1	1	0	0	1	0	1	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	30	17	18	14	0	0	0	0
一般貨物	1,258	593	809	907	0	0	0	0
特定貨物	3	2	1	1	0	0	0	0
特定二種	1	0	1	0	0	0	0	0
計	1,791	688	1,262	1,640	380	0	165	333

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1,534	0	0	3	6	0	3	6
貸切旅客	185	0	0	2	2	0	1	0
乗用旅客(法人)	14	0	0	0	8	0	3	2
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	4	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	7	0	0	0	1	1	0	0
一般貨物	165	1	0	15	27	3	6	9
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,909	1	0	20	44	4	13	17

件数のうち、第2条第6号のみに該当するもの 1438 件を含む

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
15	3	3	2	104	0	0	5	4	0	0	4
1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	3	4	4	128	0	0	5	5	0	0	4

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
105	21	83	21	30	2	4	26	0	0	0	0
21	10	11	5	4	0	1	0	0	0	0	0
324	45	272	33	23	12	8	12	0	0	0	0
15	3	12	0	3	0	3	1	0	0	0	0
1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
583	328	260	19	17	7	5	15	6	0	0	0
2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,070	420	646	78	77	21	21	54	6	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
2,162	39	343	624
279	25	50	338
729	104	584	253
30	6	25	6
7	1	2	0
0	0	0	0
65	29	25	18
2,455	961	1,110	1,090
7	4	2	1
1	0	1	0
5,735	1,169	2,142	2,330

6. 事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	0	0	3	2	0	0	2
貸切旅客	2	1	0	5	3	0	0	39
乗用旅客(法人)	5	1	1	4	3	2	0	2
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	2	0	2	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	2	0	0	2	2	0	0	0
一般貨物	156	14	19	58	73	11	2	28
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	166	16	20	72	85	13	4	71

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	35	1	33	60	276	0	122	228
貸切旅客	17	1	18	128	10	0	5	30
乗用旅客(法人)	196	12	185	100	16	0	4	12
乗用旅客(個人)	5	3	2	2	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	17	6	11	10	0	0	0	0
一般貨物	666	231	485	537	0	0	0	0
特定貨物	1	0	1	0	0	0	0	0
特定二種	1	0	1	0	0	0	0	0
計	938	254	736	837	302	0	131	270

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	2	0	0	1
貸切旅客	0	0	0	0	1	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	8	0	3	2
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	21	1	4	7
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	32	1	7	10

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15	3	3	2	4	0	0	1	4	0	0	4
1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	3	4	4	5	0	0	1	5	0	0	4

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
61	15	46	2	30	2	4	26	0	0	0	0
16	6	10	2	4	0	1	0	0	0	0	0
240	30	203	27	23	12	8	12	0	0	0	0
7	1	6	0	3	0	3	1	0	0	0	0
1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
433	221	213	14	17	7	5	15	2	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
775	283	485	45	77	21	21	54	2	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
408	18	205	322
54	8	34	204
497	57	404	160
17	4	13	3
1	0	1	0
0	0	0	0
39	16	17	13
1,391	488	731	666
2	0	2	0
1	0	1	0
2,410	591	1,408	1,368

7. 事故種類別の細目別、業態別重大事故件数

(1) 死傷事故（車両の故障に起因するものを除く）

業態	区分	左側 通行	右側 通行	信号 無視	車道 通行	歩道 通行	横断歩道 歩行	車 の 直前横断	斜横断
乗務員に 起因する	バス	2	0	0	10	0	20	11	1
	ハイ・タク	4	1	2	30	7	66	21	10
	トラック	11	1	4	53	12	135	18	8
	合計	17	2	6	93	19	221	50	19
その他	バス	0	0	7	1	0	2	1	0
	ハイ・タク	0	0	13	4	0	5	8	0
	トラック	1	0	11	16	0	1	14	0
	合計	1	0	31	21	0	8	23	0
計	バス	2	0	7	11	0	22	12	1
	ハイ・タク	4	1	15	34	7	71	29	10
	トラック	12	1	15	69	12	136	32	8
	合計	18	2	37	114	19	229	73	19

(2) 転落事故（車両の故障に起因するものを除く）

業態	落差	0.5m以上 ～10m未満	10m以上 ～30m未満	30m以上 ～50m未満	50m以上	計
バス		6	0	0	0	6
ハイ・タク		5	0	0	0	5
トラック		82	5	2	0	89
合計		93	5	2	0	100

(3) 踏切事故（乗務員に起因するもの）

業態	種類	遮断機付	警報機付	その他	計
バス		0	0	0	0
ハイ・タク		0	1	0	1
トラック		3	1	0	4
合計		3	2	0	5

飛び出し	酩酊	路上作業	路上遊戯	乗降中	安全地帯	自転車運	その他	計
1	2	1	0	2	1	17	10	78
15	7	2	0	0	0	60	22	247
30	3	14	0	0	0	129	32	450
46	12	17	0	2	1	206	64	775
17	1	0	0	0	0	12	8	49
25	5	1	0	0	0	24	7	92
40	4	5	0	0	0	37	25	154
82	10	6	0	0	0	73	40	295
18	3	1	0	2	1	29	18	127
40	12	3	0	0	0	84	29	339
70	7	19	0	0	0	166	57	604
128	22	23	0	2	1	279	104	1,070

(4) 衝突事故 (乗務員に起因するもの)

業態	状態	正面衝突	側面衝突	追突	接触	物件衝突	計
	バス		12	12	13	11	4
ハイ・タク		28	117	20	24	12	201
トラック		117	165	318	48	37	685
合計		157	294	351	83	53	938

(5) バス等の車内事故

車内	急ブレーキ	不安定姿勢	バウンド	足をすべらす	カーブ	その他
		150	120	8	5	7
車外	開扉	降車時におされる	その他			
	15	1	11			
合計						380

第2部 高速道路等における重大事故

1. 高速自動車国道における事故種類別、事業種類別重大事故発生状況

事業種類	事故種類	転 覆				転 落			
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客		1	1	0	5	0	0	0	0
乗用旅客(法人)		1	0	0	3	0	0	0	0
乗用旅客(個人)		0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物		49	3	8	25	6	1	1	5
特定貨物		0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		51	4	8	33	6	1	1	5

事業種類	事故種類	衝 突				車 内			
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		3	0	2	8	2	0	2	1
貸切旅客		6	0	7	75	2	0	0	20
乗用旅客(法人)		2	0	2	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)		0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		10	6	8	3	0	0	0	0
一般貨物		207	120	136	290	0	0	0	0
特定貨物		0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		228	126	155	377	4	0	2	21

事業種類	事故種類	車 両 故 障				そ の 他			
		件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客		180	0	0	2	1	0	0	0
貸切旅客		71	0	0	2	0	0	0	0
乗用旅客(法人)		3	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)		0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客		0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合		4	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物		56	0	0	11	5	1	0	2
特定貨物		0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種		0	0	0	0	0	0	0	0
計		314	0	0	15	6	1	0	2

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	0	33	0	0	2	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	0	43	0	0	2	0	0	0	0

死 傷				健康起因				危険物等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	13	10	2	4	2	1	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	14	12	4	8	2	1	1	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
194	0	6	13
84	1	7	102
7	0	2	4
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
17	7	8	3
382	140	157	338
0	0	0	0
0	0	0	0
684	148	180	460

2. 高速自動車国道における

事故種類別、事業種類別重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	1	1	0	5	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	39	3	7	21	4	1	0	2
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40	4	7	26	4	1	0	2

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	2	0	2	1
貸切旅客	5	0	7	71	1	0	0	20
乗用旅客(法人)	2	0	2	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	8	4	6	2	0	0	0	0
一般貨物	136	70	102	183	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	151	74	117	257	3	0	2	21

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	1	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	3	0	0	1
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	4	0	0	1

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0

死 傷				健 康 起 因				危 険 物 等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	9	10	1	4	2	1	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	9	10	1	8	2	1	1	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
5	0	2	1
8	1	7	96
3	0	2	1
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
8	4	6	2
206	85	121	210
0	0	0	0
0	0	0	0
230	90	138	310

3. 自動車専用道路等における

事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	1	0	0	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	25	0	3	9	1	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	0	3	10	1	0	0	0

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	1	0	2	3	3	0	0	6
貸切旅客	2	1	1	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	5	2	4	3	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	1	0	0	0	0	0
一般貨物	41	22	28	32	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	50	25	36	38	3	0	0	6

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	39	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	9	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	1	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	9	0	0	0	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	59	0	0	0	0	0	0	0

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	10	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0

死 傷				健 康 起 因				危 険 物 等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	12	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	12	4	0	5	2	0	3	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
46	1	3	9
11	1	1	0
10	3	5	6
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
2	0	1	0
98	34	33	43
1	0	0	0
0	0	0	0
168	39	43	58

4. 自動車専用道路等における

事故種類別、事業種類別、重大事故発生状況（乗務員に起因するもの）

事故種類 事業種類	転 覆				転 落			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	1	0	0	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	21	0	3	6	1	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	0	3	7	1	0	0	0

事故種類 事業種類	衝 突				車 内			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	2	0	0	3
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	1	0	1	1	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	1	0	1	0	0	0	0	0
一般貨物	28	10	19	29	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	10	21	30	2	0	0	3

事故種類 事業種類	車 両 故 障				そ の 他			
	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
乗合旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
貸切旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(法人)	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用旅客(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0
特定旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
無償旅客	0	0	0	0	0	0	0	0
特別積合	0	0	0	0	0	0	0	0
一般貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定貨物	0	0	0	0	0	0	0	0
特定二種	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

路外逸脱				火 災				踏 切			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

死 傷				健 康 起 因				危 険 物 等			
件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷	件数	死者	重傷	軽傷
0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	2	1	0	5	2	0	3	0	0	0	0

合 計			
件数	死者	重傷	軽傷
4	1	0	3
0	0	0	0
4	1	1	4
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
1	0	1	0
55	12	23	36
0	0	0	0
0	0	0	0
64	14	25	43

第3部 危険物等積載車両の重大事故

積載危険物等別、事故原因別、事故種別、重大事故発生状況

業態	事故種類	積 載 危 険					
		危険物	毒劇物	火薬	高压ガス	可燃物	核
高速自動車国道	転覆	3	0	0	0	0	0
	転落	0	1	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	1	0	0	0	0	0
	車内傷	0	0	0	0	0	0
	死傷	1	0	0	0	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	0	0	0	0	0
	車両故障	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
合計		5	1	0	0	0	0
自動車専用道路等	転覆	0	1	0	0	0	0
	転落	0	0	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	1	0	0	0	0	0
	車内傷	0	0	0	0	0	0
	死傷	1	0	0	0	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	0	0	0	0	0	0
	車両故障	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
合計		3	1	0	0	0	0
その他の道路	転覆	3	0	0	2	0	0
	転落	5	0	0	0	0	0
	路外逸脱	1	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	10	3	0	10	0	0
	車内傷	0	0	0	0	0	0
	死傷	5	0	0	4	0	0
	健康起因	0	0	0	0	0	0
	危険物等	3	1	0	1	0	0
	車両故障	2	0	0	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
合計		29	4	0	19	0	0

物 等			事 故 原 因			
R I	その他	計	乗務員	車両故障	その他	計
0	0	3	3	0	0	3
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	1	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	6	5	0	1	6
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	1	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	4	1	2	1	4
0	0	5	5	0	0	5
0	0	5	5	0	0	5
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	1	24	5	0	19	24
0	0	0	0	0	0	0
0	1	10	8	0	2	10
0	0	0	0	0	0	0
0	0	5	2	0	3	5
0	0	4	0	4	0	4
0	0	0	0	0	0	0
0	2	54	26	4	24	54

業態	事故種類	区分	積 載 危 険				
		危険物	毒劇物	火薬	高压ガス	可燃物	核
その他の場所	転覆	0	0	0	0	0	0
	転落	0	0	0	0	0	0
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	0	0	0	0	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	0	0	0	1	0	0
	健康起因	1	0	0	0	0	0
	危険物等	0	1	0	0	0	0
	車両故障	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	2	1	0	1	0	0
合計	転覆	6	1	0	2	0	0
	転落	5	1	0	0	0	0
	路外逸脱	1	0	0	0	0	0
	火災	0	0	0	0	0	0
	踏切	0	0	0	0	0	0
	衝突	12	3	0	10	0	0
	車内	0	0	0	0	0	0
	死傷	7	0	0	5	0	0
	健康起因	1	0	0	0	0	0
	危険物等	3	2	0	1	0	0
	車両故障	4	0	0	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	39	7	0	20	0	0
	構成比	57.4	10.3	0.0	29.4	0.0	0.0

物 等			事 故 原 因			
R I	その他	計	乗務員	車両故障	その他	計
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	0	1
0	0	1	1	0	0	1
0	0	1	0	0	1	1
0	0	1	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	4	2	1	1	4
0	0	9	9	0	0	9
0	0	6	6	0	0	6
0	0	1	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	1	26	6	1	19	26
0	0	0	0	0	0	0
0	1	13	9	0	4	13
0	0	1	1	0	0	1
0	0	6	2	0	4	6
0	0	6	0	6	0	6
0	0	0	0	0	0	0
0	2	68	34	7	27	68
0.0	2.9	100.0	50.0	10.3	39.7	100.0

第4部 重大事故に係る諸統計

1. 車両故障に係る事故件数等

(1) 車両故障箇所

業態	区分	車 両 故					
		原動機(速度抑制装置除)	速度抑制装置	動力伝達装置	車輪(タイヤ除)	タイヤ	車軸
バス		361	2	353	6	61	8
ハイ・タク		6	0	2	1	0	0
トラック		40	1	28	44	24	22
計		407	3	383	51	85	30

業態	区分	車 両 故					
		連結装置	乗車装置	物品積載装置	窓ガラス	騒音防止装置	ばい煙等発散防止装置
バス		0	29	0	0	4	5
ハイ・タク		0	0	0	0	0	0
トラック		0	0	1	0	1	1
計		0	29	1	0	5	6

業態	区分	車 両 故 障 箇 所			
		内圧容器 付属装置含	運行	その他	計
バス		47	1	141	1,739
ハイ・タク		0	0	3	17
トラック		1	0	13	247
計		48	1	157	2,003

(2) 損害状況

業態	区分	損 害 状 況			
		件 数	死 者	重 傷	軽 傷
バス		1,739	0	0	6
ハイ・タク		17	0	0	0
トラック		247	3	2	18
計		2,003	3	2	24

障 箇 所					
操縦装置	制動装置	緩衝装置	燃料装置	電気装置	車枠 車体
42	101	40	79	401	17
1	0	0	2	2	0
4	36	10	5	14	1
47	137	50	86	417	18

障 箇 所					
灯火装置 指示装置	反射器	警音器	視野を確保 する装置	計器 (速度計等)	消火器
8	0	2	19	12	0
0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
9	0	2	19	12	0

2. 重大事故の発生件数の推移

年	項目 件数 (件)	業 態			死 者 (人)	負傷者 (人)
		バ ス	ハイ・タク	トラック		
昭和24	482	-	-	-	-	-
25	465	-	-	-	-	-
26	693	-	-	-	440	2,020
27	1,114	-	-	-	496	2,275
28	1,118	-	-	-	440	2,579
29	1,101	-	-	-	500	2,862
30	900	427	179	294	408	2,744
31	1,889	663	555	671	722	3,816
32	2,275	798	686	791	735	4,265
33	3,689	1,129	1,606	954	995	5,194
34	4,275	1,327	1,529	1,419	1,217	6,631
35	4,876	1,511	1,581	1,784	1,372	7,204
36	5,362	1,781	1,740	1,841	1,519	8,686
37	5,971	1,936	2,010	2,025	1,559	9,335
38	8,031	2,196	2,773	3,062	1,924	12,131
39	9,982	2,374	3,520	4,088	2,366	13,507
40	10,228	2,353	3,880	3,995	2,254	13,612
41	9,530	2,043	3,717	3,770	2,268	14,270
42	10,934	2,042	4,471	4,421	2,287	17,415
43	11,021	1,860	5,053	4,108	2,307	18,293
44	9,314	1,591	4,326	3,397	2,122	15,965
45	8,058	1,544	3,348	3,166	2,226	15,132
46	7,458	1,389	3,179	2,890	2,024	13,271
47	6,349	1,134	2,573	2,642	1,997	11,437
48	5,628	1,075	2,187	2,366	1,442	9,582
49	5,080	1,022	1,889	2,169	1,422	8,967
50	4,767	920	1,660	2,187	1,439	8,074
51	4,909	902	1,748	2,259	1,325	8,075
52	4,805	876	1,643	2,286	1,322	8,112

項目 年	件数 (件)	業 態			死 者 (人)	負傷者 (人)
		バ ス	ハイ・タク	トラック		
昭和53	4,630	842	1,551	2,237	1,346	7,699
54	4,941	739	1,732	2,470	1,393	7,586
55	5,359	756	1,968	2,635	1,286	7,893
56	5,535	764	2,094	2,677	1,384	8,463
57	5,595	757	2,082	2,756	1,450	8,643
58	5,324	710	1,895	2,719	1,390	7,650
59	5,187	746	1,654	2,787	1,512	7,594
60	4,872	668	1,510	2,694	1,486	7,101
61	5,191	642	1,628	2,921	1,572	6,997
62	4,860	552	1,342	2,966	1,637	6,894
63	4,736	530	1,265	2,941	1,939	6,311
平成元	4,668	529	1,204	2,935	1,830	6,135
2	4,393	473	1,056	2,864	1,848	6,014
3	4,555	463	1,012	3,080	1,808	5,803
4	4,712	555	1,055	3,102	1,835	5,888
5	4,576	494	1,017	3,065	1,795	5,565
6	4,390	460	954	2,976	1,687	5,450
7	4,441	492	914	3,035	1,754	5,685
8	4,254	419	789	3,046	1,677	5,109
9	4,087	467	760	2,860	1,535	5,323
10	3,846	420	716	2,710	1,559	4,731
11	3,847	395	692	2,760	1,537	4,582
12	3,709	436	661	2,612	1,493	5,031
13	3,337	530	618	2,189	1,353	4,074
14	3,382	560	729	2,093	1,323	4,001
15	3,719	659	803	2,257	1,332	4,631
16	3,680	667	736	2,277	1,249	4,013
17	5,689	2,369	757	2,563	1,282	4,482
18	5,735	2,448	759	2,528	1,169	4,472

(注) 負傷者には、重傷者及び軽傷者を含む。

3. 重大事故の原因大別構成の推移

年	項目 件数 (件)	乗務員に起因するもの		車両故障に起因するもの		その他の原因に起因するもの (被害者の不注意、 道路の不良)	
		件数	%	件数	%	件数	%
昭和24	482	190	39.4%	107	22.2%	185	38.4%
25	465	203	43.7%	79	17.0%	183	39.4%
26	693	286	41.3%	105	15.2%	302	43.6%
27	1,114	484	43.4%	123	11.0%	507	45.5%
28	1,118	529	47.3%	132	11.8%	457	40.9%
29	1,101	565	51.3%	104	9.4%	432	39.2%
30	900	574	63.8%	79	8.8%	247	27.4%
31	1,889	1,196	63.3%	119	6.3%	574	30.4%
32	2,275	1,611	70.8%	101	4.4%	563	24.7%
33	3,689	2,755	74.7%	156	4.2%	778	21.1%
34	4,275	2,881	67.4%	113	2.6%	1,281	30.0%
35	4,876	3,552	72.8%	112	2.3%	1,212	24.9%
36	5,362	3,749	69.9%	106	2.0%	1,507	28.1%
37	5,971	4,357	73.0%	115	1.9%	1,499	25.1%
38	8,031	5,339	66.5%	118	1.5%	2,574	32.1%
39	9,982	6,125	61.4%	110	1.1%	3,747	37.5%
40	10,228	6,698	65.5%	146	1.4%	3,384	33.1%
41	9,530	6,141	64.4%	126	1.3%	3,263	34.2%
42	10,934	7,033	64.3%	102	0.9%	3,799	34.7%
43	11,021	6,893	62.5%	91	0.8%	4,037	36.6%
44	9,314	5,539	59.5%	72	0.8%	3,703	39.8%
45	8,058	4,609	57.2%	56	0.7%	3,393	42.1%
46	7,458	4,340	58.2%	45	0.6%	3,073	41.2%
47	6,349	3,536	55.7%	38	0.6%	2,775	43.7%
48	5,628	2,952	52.5%	30	0.5%	2,646	47.0%
49	5,080	2,758	54.3%	22	0.4%	2,300	45.3%
50	4,767	2,580	54.1%	22	0.5%	2,165	45.4%
51	4,909	2,772	56.5%	28	0.6%	2,109	43.0%
52	4,805	2,776	57.8%	33	0.7%	1,996	41.5%

年	項目 件数 (件)	乗務員に起因するもの		車両故障に起因するもの		その他の原因に起因するもの (被害者の不注意、 道路の不良)	
		件数	%	件数	%	件数	%
昭和53	4,630	2,698	58.3%	33	0.7%	1,899	41.0%
54	4,941	2,806	56.8%	41	0.8%	2,094	42.4%
55	5,359	2,969	55.4%	40	0.7%	2,350	43.9%
56	5,535	2,983	53.9%	36	0.7%	2,516	45.5%
57	5,595	2,987	53.4%	31	0.6%	2,577	46.1%
58	5,324	2,788	52.4%	26	0.5%	2,510	47.1%
59	5,187	2,759	53.2%	40	0.8%	2,388	46.0%
60	4,872	2,565	52.6%	24	0.5%	2,283	46.9%
61	5,191	2,744	52.9%	32	0.6%	2,415	46.5%
62	4,860	2,635	54.2%	40	0.8%	2,185	45.0%
63	4,736	2,564	54.1%	34	0.7%	2,138	45.1%
平成元	4,668	2,403	51.5%	28	0.6%	2,237	47.9%
2	4,393	2,294	52.2%	21	0.5%	2,078	47.3%
3	4,555	2,407	52.8%	32	0.7%	2,116	46.5%
4	4,712	2,475	52.5%	22	0.5%	2,215	47.0%
5	4,576	2,433	53.2%	16	0.3%	2,127	46.5%
6	4,390	2,360	53.8%	36	0.8%	1,994	45.4%
7	4,441	2,452	55.2%	34	0.8%	1,955	44.0%
8	4,254	2,307	54.2%	40	0.9%	1,907	44.8%
9	4,087	2,306	56.4%	38	0.9%	1,743	42.6%
10	3,846	2,160	56.2%	43	1.1%	1,643	42.7%
11	3,847	2,165	56.3%	38	1.0%	1,644	42.7%
12	3,709	2,070	55.8%	61	1.6%	1,578	42.5%
13	3,337	1,801	54.0%	51	1.5%	1,485	44.5%
14	3,382	1,877	55.5%	79	2.3%	1,426	42.2%
15	3,719	2,283	61.4%	64	1.7%	1,372	36.9%
16	3,680	2,139	58.1%	193	5.2%	1,348	36.6%
17	5,689	2,310	40.6%	1,933	34.0%	1,446	25.4%
18	5,735	2,410	42.0%	2,003	34.9%	1,322	23.1%

第 3 編 その他統計資料

第 1 部 交 通 事 故 等 の 推 移

第 2 部 当 事 者 別 事 故 件 数

第 3 部 運 行 管 理 者

本統計には、事業用自動車が第二当事者となった事故（相手方の過失が大きい事故）による報告も含まれています。

第1部 交通事故等の推移

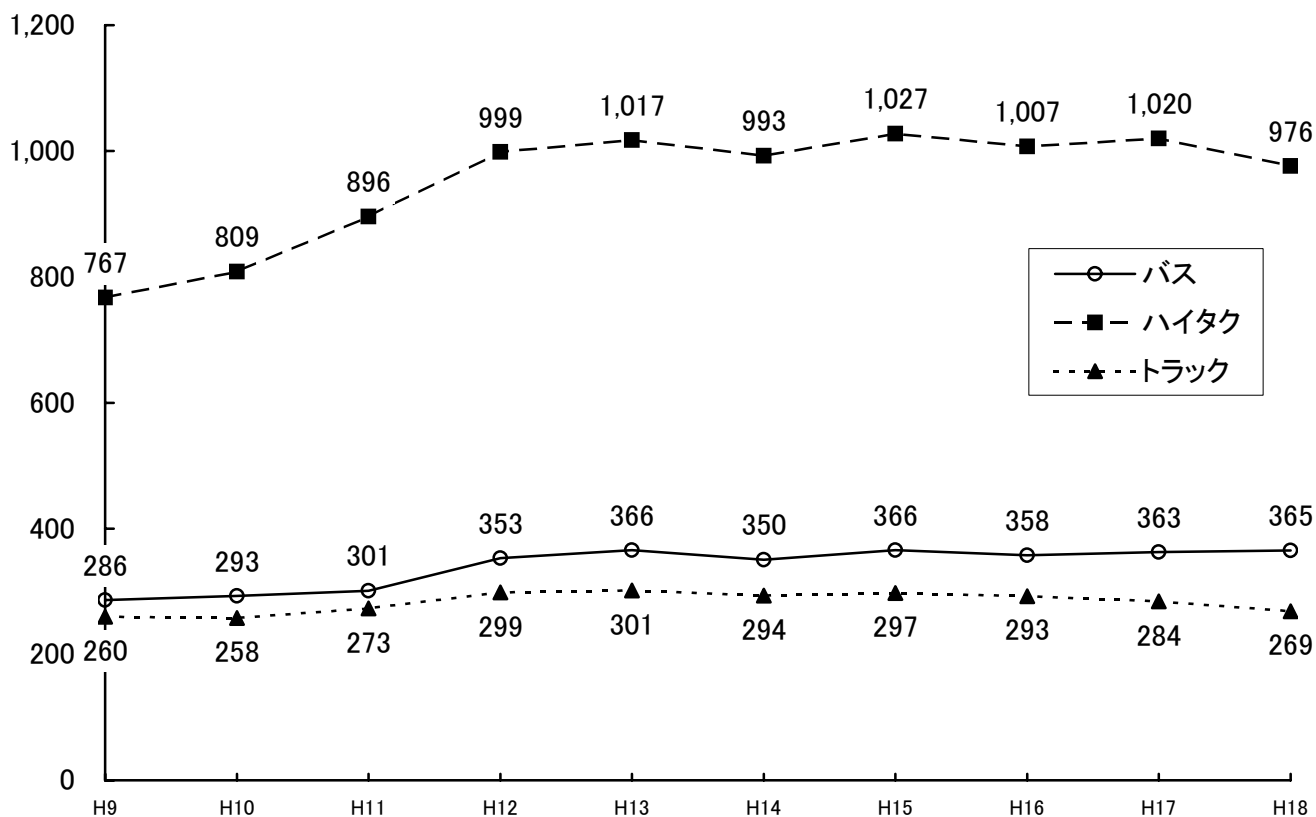
1. 交通事故及び自動車事故の推移

年	項目	全交通事故			自動車事故件数 (第1当事者)	自動車台数	1,000台当 たりの自 動車事故 件数	自動車事故 の全交通事 故件数に対 する比率
		件数 (件)	死者数 (人)	傷者数 (人)				
平成元		661,363	11,086	814,832	555,363	57,592,922	9.6	84.0%
2		643,097	11,227	790,295	544,699	60,195,336	9.0	84.7%
3		662,388	11,105	810,245	564,056	62,411,391	9.0	85.2%
4		695,345	11,451	844,003	592,843	64,140,712	9.2	85.3%
5		724,675	10,942	878,633	624,737	65,733,026	9.5	86.2%
6		729,457	10,649	881,723	632,645	67,464,667	9.4	86.7%
7		761,789	10,679	922,677	665,172	69,290,769	9.6	87.3%
8		771,084	9,942	942,203	677,775	71,221,801	9.5	87.9%
9		780,399	9,640	958,925	688,687	72,605,673	9.5	88.2%
10		803,878	9,211	990,675	713,835	73,402,697	9.7	88.8%
11		850,363	9,006	1,050,397	757,475	74,283,881	10.2	89.1%
12		931,934	9,066	1,155,697	822,736	75,186,086	10.9	88.3%
13		947,169	8,747	1,180,955	838,753	75,902,283	11.1	88.6%
14		936,721	8,326	1,167,855	826,476	76,460,018	10.8	88.2%
15		947,993	7,702	1,181,431	839,002	76,664,989	10.9	88.5%
16		952,191	7,358	1,183,120	840,064	77,085,244	10.9	88.2%
17		933,828	6,871	1,156,633	824,657	78,092,874	10.6	88.3%
18		886,864	6,352	1,098,199	784,757	78,280,672	10.0	88.5%

※ 「交通事故統計年報:(財)交通事故総合分析センター」による。

2. 車両数あたりの事故件数

(1) 1万台あたりの全事故件数推移

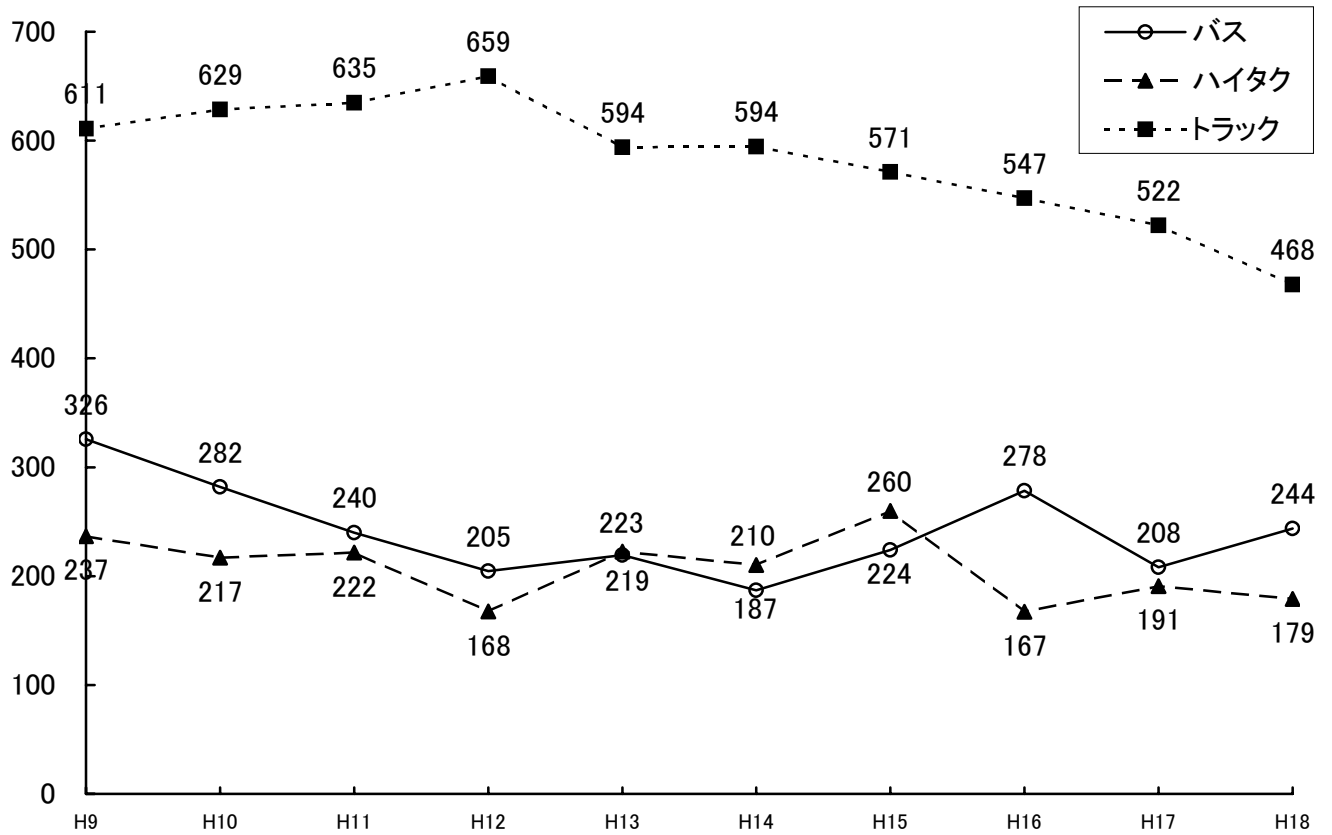


		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
全事故件数	バス	2,724	2,805	2,886	3,452	3,666	3,559	3,758	3,724	3,833	3,897
	ハイタク	19,776	20,872	23,042	25,624	26,052	25,970	27,285	27,104	27,794	26,704
	トラック	28,453	28,086	29,721	32,953	33,291	32,160	32,490	32,401	31,988	30,311
車両数	バス	95,165	95,805	95,870	97,797	100,259	101,566	102,734	104,165	105,662	106,688
	ハイタク	257,872	258,151	257,275	256,601	256,114	261,658	265,593	269,121	272,523	273,593
	トラック	1,093,642	1,088,127	1,088,803	1,102,808	1,104,406	1,095,199	1,092,283	1,107,519	1,124,539	1,128,540
1万台あたり 全事故件数	バス	286	293	301	353	366	350	366	358	363	365
	ハイタク	767	809	896	999	1,017	993	1,027	1,007	1,020	976
	トラック	260	258	273	299	301	294	297	293	284	269

※1 事故件数は、「交通事故統計年報:(財)交通事故総合分析センター」による。

※2 車両数は、「保有車両数(平成18年12月末):自動車交通局管理課」による。

(2) 100万台あたりの死亡事故件数推移



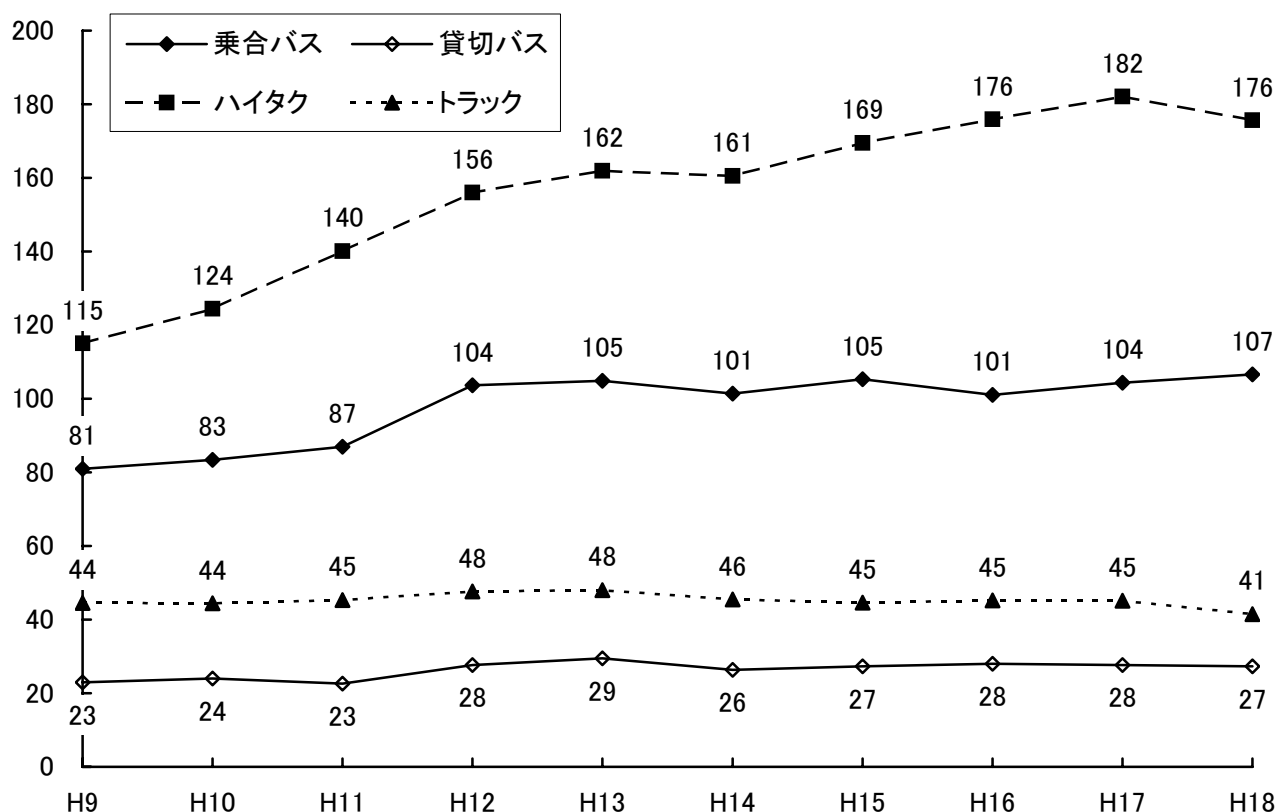
		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
死亡事故件数	バス	31	27	23	20	22	19	23	29	22	26
	ハイタク	61	56	57	43	57	55	69	45	52	49
	トラック	668	684	691	727	656	651	624	606	587	528
車両数	バス	95,165	95,805	95,870	97,797	100,259	101,566	102,734	104,165	105,662	106,688
	ハイタク	257,872	258,151	257,275	256,601	256,114	261,658	265,593	269,121	272,523	273,593
	トラック	1,093,642	1,088,127	1,088,803	1,102,808	1,104,406	1,095,199	1,092,283	1,107,519	1,124,539	1,128,540
死百 万 事 故 あ た り の 件 数	バス	326	282	240	205	219	187	224	278	208	244
	ハイタク	237	217	222	168	223	210	260	167	191	179
	トラック	611	629	635	659	594	594	571	547	522	468

※1 事故件数は、「交通事故統計年報:(財)交通事故総合分析センター」による。

※2 車両数は、「保有車両数(平成18年12月末):自動車交通局管理課」による。

3. 走行距離あたりの事故件数

(1) 1億キロあたりの全事故件数推移

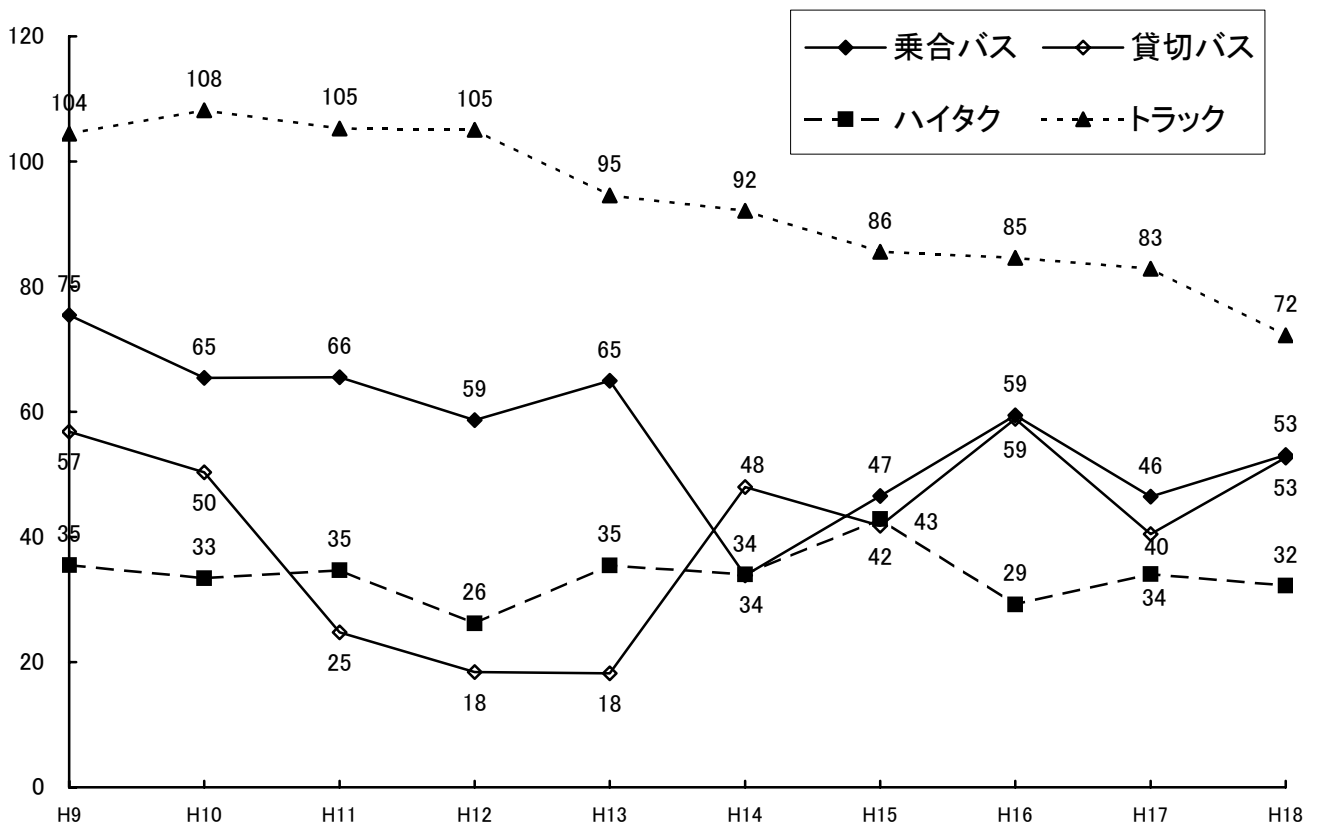


		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
全事故件数	乗合バス	2,361	2,423	2,521	3,002	3,067	2,994	3,169	3,059	3,146	3,213
	貸切バス	363	382	365	450	486	439	457	475	478	467
	バス(計)	2,724	2,805	2,886	3,452	3,666	3,559	3,758	3,724	3,833	3,897
	ハイタク	19,776	20,872	23,042	25,624	26,052	25,970	27,285	27,104	27,794	26,704
	トラック	28,453	28,086	29,721	32,953	33,291	32,160	32,490	32,401	31,988	30,311
距離(千キロ)	乗合バス	2,916,750	2,904,569	2,900,487	2,896,959	2,924,444	2,951,699	3,008,903	3,028,566	3,015,339	3,013,347
	貸切バス	1,583,394	1,589,543	1,614,264	1,628,838	1,649,602	1,668,243	1,674,217	1,698,226	1,729,257	1,708,699
	バス(計)	4,500,144	4,494,112	4,514,751	4,525,797	4,574,046	4,619,942	4,683,120	4,726,792	4,744,596	4,722,046
	ハイタク	17,185,136	16,773,376	16,444,400	16,429,964	16,091,037	16,174,335	16,099,999	15,404,983	15,262,520	15,199,604
	トラック	63,955,667	63,225,010	65,641,366	69,203,737	69,344,313	70,652,403	72,897,444	71,606,634	70,828,793	73,103,375
1億キロあたり	乗合バス	81	83	87	104	105	101	105	101	104	107
	貸切バス	23	24	23	28	29	26	27	28	28	27
	バス(計)	61	62	64	76	80	77	80	79	81	83
	ハイタク	115	124	140	156	162	161	169	176	182	176
	トラック	44	44	45	48	48	46	45	45	45	41

※1 事故件数は、「交通事故統計年報(財)交通事故総合分析センター」による。

※2 距離は、「陸運統計要覧(平成18年版):総合政策局情報管理部」による。

(2) 100億キロあたりの死亡事故件数推移



		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
死亡事故件数	乗合バス	22	19	19	17	19	10	14	18	14	16
	貸切バス	9	8	4	3	3	8	7	10	7	9
	バス(計)	31	27	23	20	22	19	23	29	22	26
	ハイタク	61	56	57	43	57	55	69	45	52	49
	トラック	668	684	691	727	656	651	624	606	587	528
距離(千キロ)	乗合バス	2,916,750	2,904,569	2,900,487	2,896,959	2,924,444	2,951,699	3,008,903	3,028,566	3,015,339	3,013,347
	貸切バス	1,583,394	1,589,543	1,614,264	1,628,838	1,649,602	1,668,243	1,674,217	1,698,226	1,729,257	1,708,699
	バス(計)	4,500,144	4,494,112	4,514,751	4,525,797	4,574,046	4,619,942	4,683,120	4,726,792	4,744,596	4,722,046
	ハイタク	17,185,136	16,773,376	16,444,400	16,429,964	16,091,037	16,174,335	16,099,999	15,404,983	15,262,520	15,199,604
	トラック	63,955,667	63,225,010	65,641,366	69,203,737	69,344,313	70,652,403	72,897,444	71,606,634	70,828,793	73,103,375
百億キロあたり死亡事故件数	乗合バス	75	65	66	59	65	34	47	59	46	53
	貸切バス	57	50	25	18	18	48	42	59	40	53
	バス(計)	69	60	51	44	48	41	49	61	46	55
	ハイタク	35	33	35	26	35	34	43	29	34	32
	トラック	104	108	105	105	95	92	86	85	83	72

※1 事故件数は、「交通事故統計年報:(財)交通事故総合分析センター」による。

※2 距離は、「陸運統計要覧(平成18年版):総合政策局情報管理部」による。

4. 法令違反別の事故件数

平成18年発生

違反項目	事業用					全事故件数		
	バス	ハイタク	トラック	合計	構成率	合計	構成率	
信号無視	45	714	1,118	1,877	2.9%	29,255	3.3%	
通行区分違反	12	41	195	248	0.4%	6,142	0.7%	
最高速度違反	5	35	303	343	0.5%	4,366	0.5%	
横断・転回等	8	223	211	442	0.7%	7,077	0.8%	
追越し禁止	17	39	201	257	0.4%	2,387	0.3%	
踏切不停止	0	0	0	0	0.0%	73	0.0%	
右折違反	10	87	101	198	0.3%	3,352	0.4%	
左折違反	5	129	207	341	0.5%	5,669	0.6%	
優先通行妨害	16	317	249	582	0.9%	15,338	1.7%	
交差点安全進行	102	2,273	1,237	3,612	5.5%	45,335	5.1%	
歩行者妨害等	61	800	671	1,532	2.3%	15,458	1.7%	
徐行違反	16	387	243	646	1.0%	14,159	1.6%	
一時不停止	8	854	505	1,367	2.1%	43,753	4.9%	
整備不良	1	1	18	20	0.0%	189	0.0%	
酒酔い運転	0	1	4	5	0.0%	434	0.0%	
過 労 等	薬物運転	0	0	1	1	0.0%	35	0.0%
	過労運転	0	3	25	28	0.0%	559	0.1%
安全 運転 義務 違反	運転操作	892	1,464	1,843	4,199	78.0%	64,842	73.2%
	漫然運転	69	711	2,892	3,672		56,785	
	脇見運転	264	2,940	8,175	11,379		141,891	
	動静不注視	592	2,495	5,484	8,571		94,348	
	安全不確認	1,176	11,138	8,922	21,236		268,496	
	安全速度	86	185	435	706		11,767	
	その他	322	468	581	1,371		11,396	
その他の違反	183	1,391	1,290	2,864	4.4%	22,151	2.5%	
不明	7	8	29	44	0.1%	948	0.1%	
歩行者等						3,309	0.4%	
当事者不明						17,350	2.0%	
合計	3,897	26,704	34,940	65,541	100.0%	886,864	100.0%	

※交通事故統計年報：(財)交通事故総合分析センターによる。

※ トラックについては、軽貨物による事故件数4,629件を含む

第2部 当事者別事故件数

1. 第1当事者別交通事故件数

区分 当事者種別		件数	構成率	対前年比		自動車等 登録台数	自動車等1万台 当たり台数	
				増減数	増減率			
自 家 用	乗 用	バス	105	0.0	13	14.1	24,388	43.1
		マイクロ	754	0.1	△ 1	△ 0.1	100,605	74.9
		普通乗用	435,416	49.1	△ 32,134	△ 6.9	42,139,807	103.3
		軽乗用	149,639	16.9	4,307	3.0	15,108,217	99.0
		計	585,914	66.1	△ 27,815	△ 4.5	57,373,017	102.1
	貨 物	政令大型	1,279	0.1	△ 52	△ 3.9	5,920,912	114.8
		大型貨物	1,023	0.1	△ 227	△ 18.2		
		トレーラ	338	0.0	△ 35	△ 9.4		
		普通貨物	65,346	7.4	△ 5,140	△ 7.3		
		軽貨物	64,493	7.3	△ 3,797	△ 5.6		
		計*	132,479	14.9	△ 9,251	△ 6.5		
計*	718,393	81.0	△ 37,066	△ 4.9	63,293,929	103.3		
事 業 用	乗 用	バス	3,359	0.4	76	2.3	85,375	393.4
		マイクロ	538	0.1	△ 12	△ 2.2	21,313	252.4
		普通乗用	26,704	3.0	△ 1,090	△ 3.9	273,593	976.0
		計	30,601	3.5	△ 1,026	△ 3.2	380,281	804.7
	貨 物	政令大型	5,946	0.7	△ 219	△ 3.6	1,128,540	268.6
		大型貨物	3,667	0.4	△ 509	△ 12.2		
		トレーラ	2,132	0.2	△ 26	△ 1.2		
		普通貨物	18,566	2.1	△ 923	△ 4.7		
		軽貨物	4,629	0.5	△ 165	△ 3.4		
		計*	34,940	3.9	△ 1,842	△ 5.0		
	計*	65,541	7.4	△ 2,868	△ 4.2	1,508,821	403.7	
ミニカー	72	0.0	19	35.8	—	—		
特 殊 車	農耕作業用	174	0.0	△ 19	△ 9.8	2,593,798	2.9	
	大型	329	0.0	9	2.8			
	小型	248	0.0	25	11.2			
	計	751	0.1	15	2.0			
★軽貨物自動車	69,122	7.8	△ 3,962	△ 5.4	9,603,692	72.0		
特種用途車	—	—	—	—	1,280,432	—		
自動車計	784,757	88.5	△ 39,900	△ 4.8	78,280,672	100.2		
二 輪 車	自 二 輪	小型二輪	6,031	0.7	△ 461	△ 7.1	1,474,381	40.9
		軽二輪	6,815	0.8	△ 339	△ 4.7	1,964,429	34.7
		二種原付	6,124	0.7	△ 110	△ 1.8	1,378,714	44.4
		計	18,970	2.1	△ 910	△ 4.6	4,817,524	39.4
	原付(原付一種)	35,183	4.0	△ 3,844	△ 9.8	8,345,225	42.2	
計	54,153	6.1	△ 4,754	△ 8.1	13,162,749	41.1		
自動車等計	838,910	94.6	△ 44,654	△ 5.1	91,443,421	91.7		
自 転 車 等	自転車	27,122	3.1	△ 692	△ 2.5	—	—	
	駆動補助機付自転車	128	0.0	△ 21	△ 14.1			
小計	27,250	3.1	△ 713	△ 2.5	—	—		
その他の車両	47	0.0	△ 1	△ 2.1	—	—		
歩行者	3,309	0.4	△ 406	△ 10.9	—	—		
当事者不明	17,348	2.0	△ 1,190	△ 6.4	—	—		
合計	886,864	100.0	△ 46,964	△ 5.0	—	—		

注1 特種用途車の事故件数は、当事者種別毎に乗用、貨物に振り分けて計上している。

2 軽自動車のうち貨物自動車の登録台数は自家用、事業用の区別ができないため、★軽貨物自動車欄に計上した。

ただし、交通事故件数は再掲である。

また、自家用、事業用及び貨物計欄の自動車等1万台当たりの件数は軽貨物自動車を除いた数値である。(*の欄)

3 自動車等登録台数は、国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報(平成18年12月末現在)」による。

ただし、原付二種、原付一種、小特及びミニカーは総務省資料(平成18年4月1日現在)による。

また、ミニカーは原付車に分類した。

出典：(財)交通事故総合分析センター「交通事故統計(平成18年版)」

2. 第1当事者別死亡事故件数

区分 当事者種別		件数	構成率	対前年比		自動車等 登録台数	自動車等1万台 当たり台数	
				増減数	増減率			
自家用	乗用	バス	1	0.0	0	0.0	24,388	0.41
		マイクロ	8	0.1	3	60.0	100,605	0.80
		普通乗用	2,255	36.7	△ 226	△ 9.1	42,139,807	0.54
		軽乗用	800	13.0	△ 32	△ 3.8	15,108,217	0.53
		計	3,064	49.8	△ 255	△ 7.7	57,373,017	0.53
	貨物	政令大型	28	0.5	△ 18	△ 39.1	5,920,912	0.84
		大型貨物	17	0.3	1	6.3		
		トレーラ	5	0.1	2	66.7		
		普通貨物	449	7.3	△ 38	△ 7.8		
		軽貨物	674	11.0	△ 64	△ 8.7		
		計*	1,173	19.1	△ 117	△ 9.1		
	計*	4,237	68.9	△ 372	△ 8.1	63,293,929	0.56	
	事業用	乗用	バス	18	0.3	0	0.0	85,375
マイクロ			8	0.1	4	100.0	21,313	3.75
普通乗用			49	0.8	△ 3	△ 5.8	273,593	1.79
計			75	1.2	1	1.4	380,281	1.97
貨物		政令大型	206	3.4	△ 17	△ 7.6	1,128,540	4.68
		大型貨物	43	0.7	△ 11	△ 20.4		
		トレーラ	58	0.9	△ 4	△ 6.5		
		普通貨物	221	3.6	△ 27	△ 10.9		
		軽貨物	31	0.5	△ 6	△ 16.2		
		計*	559	9.1	△ 65	△ 10.4		
計*	634	10.3	△ 64	△ 9.2	1,508,821	4.00		
ミニカー	1	0.0	1	—	—	—		
特殊車	農耕作業用	22	0.4	△ 1	△ 4.3	2,593,798	0.13	
	大型	10	0.2	1	11.1			
	小型	2	0.0	0	0.0			
	計	34	0.6	0	0.0			
★軽貨物自動車	705	11.5	△ 70	△ 9.0	9,603,692	0.73		
特種用途車	—	—	—	—	1,280,432	—		
自動車計	4,906	79.8	△ 435	△ 8.1	78,280,672	0.63		
二輪車	自	小型二輪	193	3.1	3	1.6	1,474,381	1.31
		軽二輪	117	1.9	△ 3	△ 2.5	1,964,429	0.60
		二種原付	92	1.5	13	16.5	1,378,714	0.67
	計	402	6.5	13	3.3	4,817,524	0.83	
	原付(原付一種)	360	5.9	△ 20	△ 5.3	8,345,225	0.43	
	計	762	12.4	△ 7	△ 0.9	13,162,749	0.58	
自動車等計	5,668	92.2	△ 442	△ 7.2	91,443,421	0.62		
自転車等	自転車	250	4.1	7	2.9	—	—	
	駆動補助機付自転車	10	0.2	△ 1	△ 9.1			
小計	260	4.2	6	2.4	—	—		
その他の車両	2	0	1	100	—	—		
歩行者	185	3.0	△ 36	△ 16.3	—	—		
当事者不明	32	0.5	△ 7	△ 17.9	—	—		
合計	6,147	100.0	△ 478	△ 7.2	—	—		

注1 特種用途車の事故件数は、当事者種別毎に乗用、貨物に振り分けて計上している。

2 軽自動車のうち貨物自動車の登録台数は自家用、事業用の区別ができないため、★軽貨物自動車欄に計上した。

ただし、交通事故件数は再掲である。

また、自家用、事業用及び貨物計欄の自動車等1万台当たりの件数は軽貨物自動車を除いた数値である。(※の欄)

3 自動車等登録台数は、国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報(平成18年12月末現在)」による。

ただし、原付二種、原付一種、小特及びミニカーは総務省資料(平成18年4月1日現在)による。

また、ミニカーは原付車に分類した。

出典：(財)交通事故総合分析センター「交通事故統計(平成18年版)」

第3部 運行管理者

1. 運行管理者数及び運行管理者の研修受講者数

平成19年3月末現在

		パ ス		ハ イ ・ タ ク		ト ラ ッ ク		合 計	
		運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数	運行管 理者数	研修受 講者数
北 海 道	札幌	406	492	607	591	2,904	2,631	3,917	3,714
	室蘭	100		80		801		981	
	函館	65	60	84	102	533	378	682	540
	帯広	49	78	79		560		688	
	釧路	53	123	78	127	564	906	695	1,111
	北見	46		45	165	476	928	567	1,216
	旭川	136	124	857	1,117				
	計	855	753	1,097	985	6,695	4,843	8,647	6,581
東 北	青森	190	179	217	203	1,369	1,027	1,776	1,409
	岩手	144	230	302	285	1,241	1,022	1,687	1,537
	宮城	313	351	448	453	2,452	1,994	3,213	2,798
	秋田	148	102	204	151	990	711	1,342	964
	山形	91	77	153	148	967	744	1,211	969
	福島	239	206	258	219	2,068	1,386	2,565	1,811
	計	1,125	1,145	1,582	1,459	9,087	6,884	11,794	9,488
北 陸 信 越	新潟	276	192	472	303	2,103	1,776	2,851	2,271
	長野	416	309	350	307	1,668	1,376	2,434	1,992
	富山	95	104	155	95	1,300	829	1,550	1,028
	石川	147	148	153	156	1,641	880	1,941	1,184
	計	934	753	1,130	861	6,712	4,861	8,776	6,475
関 東	東京	1,010	1,697	2,227	3,569	11,332	7,843	14,569	13,109
	神奈川	652	609	663	663	6,183	4,023	7,498	5,295
	埼玉	547	633	554	542	6,442	3,965	7,543	5,140
	群馬	144	220	174	181	2,131	1,564	2,449	1,965
	千葉	733	698	661	674	5,123	3,530	6,517	4,902
	茨城	432	524	365	339	3,660	2,669	4,457	3,532
	栃木	215	301	269	251	2,170	1,417	2,654	1,969
	山梨	141	138	156	155	860	622	1,157	915
	計	3,874	4,820	5,069	6,374	37,901	25,633	46,844	36,827
中 部	愛知	348	478	675	572	7,200	3,643	8,223	4,693
	静岡	394	387	450	331	3,779	2,139	4,623	2,857
	岐阜	157	197	190	168	1,666	1,082	2,013	1,447
	三重	159	158	161	154	1,638	1,237	1,958	1,549
	福井	183	92	109	70	848	476	1,140	638
	計	1,241	1,312	1,585	1,295	15,131	8,577	17,957	11,184

		バス		ハイ・タク		トラック		合計	
		運行管理者数	研修受講者数	運行管理者数	研修受講者数	運行管理者数	研修受講者数	運行管理者数	研修受講者数
近畿	大阪	679	636	925	1,081	8,792	4,599	10,396	6,316
	京都	338	185	405	283	2,069	1,252	2,812	1,720
	兵庫	413	434	593	410	4,036	2,250	5,042	3,094
	滋賀	109	119	76	87	1,189	785	1,374	991
	奈良	112	73	144	106	972	558	1,228	737
	和歌山	179	100	147	115	994	520	1,320	735
	計	1,830	1,547	2,290	2,082	18,052	9,964	22,172	13,593
中国	広島	473	500	526	411	3,104	1,732	4,103	2,643
	鳥取	80	99	81	35	630	399	791	533
	島根	116	78	123	178	671	590	910	846
	岡山	267	324	237	203	2,399	1,431	2,903	1,958
	山口	133	201	190	133	1,364	933	1,687	1,267
	計	1,069	1,202	1,157	960	8,168	5,085	10,394	7,247
四国	徳島	132	104	112	111	638	461	882	676
	香川	91	91	178	155	1,071	983	1,340	1,229
	愛媛	109	128	213	178	1,367	939	1,689	1,245
	高知	61	82	127	127	669	542	857	751
	計	393	405	630	571	3,745	2,925	4,768	3,901
九州	福岡	419	540	1,123	705	4,542	2,836	6,084	4,081
	佐賀	64	38	145	107	966	722	1,175	867
	長崎	163	161	289	276	1,078	702	1,530	1,139
	熊本	163	137	332	225	1,617	1,057	2,112	1,419
	大分	92	98	213	150	936	620	1,241	868
	宮崎	133	113	191	172	934	643	1,258	928
	鹿児島	241	165	363	230	1,661	1,071	2,265	1,466
	計	1,275	1,252	2,656	1,865	11,734	7,651	15,665	10,768
沖縄	178	157	282	353	637	623	1,097	1,133	
合計	12,774	13,346	17,478	16,805	117,862	77,046	148,114	107,197	

※ トラックには特定第二種貨物利用運送事業者の運行管理者数を含む

2. 運行管理者数の推移

